

講義科目名称： 安全学

授業コード： 100100A

英文科目名称： Safety Science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
橘 幸子			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(保健医療学部)	010001L2POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	安全及び医療安全の基礎知識を理解し、医療安全を確保するための手法を身に付けることを目標とする。		
授業の概要	安全の基本概念を学び、安全及び医療安全に関する基本的素養を身に付ける。事例から学び、事故分析、ヒューマンファクター、リスクマネジメント、リスクコミュニケーション、安全システム、安全文化について教授する。		
授業計画	第1回	授業の進め方、成績の付け方等について 安全学・医療安全の歴史、医療現場と危険性 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第2回	安全学の基本概念 前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第3回	リスク表現と安全目標、安全品質 前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第4回	事故はなぜ起こるのか、どう防ぐのか、 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第5回	事故はなぜ起こるのか、どう防ぐのか、 前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第6回	医療安全の基本 1 前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第7回	医療安全の基本 2 前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第8回	個人としての医療安全 前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第9回	事故防止の考え方 前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第10回	職種連携およびチームによる医療安全 前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第11回	医療機関・地域および国の医療安全 事前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第12回	医療安全とコミュニケーション	

	事前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第13回 組織としての医療安全 事前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第14回 事故事例からの学び1 事前回の復習と小テスト 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第15回 事故事例からの学び2 これまでのまとめ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）
テキスト	山内豊明・荒井有美：医療安全（改訂第2版）、南江堂、2024年
参考書・参考資料等	ジェームズ・リーズン著、高野研一・佐相邦英訳：組織事故、日科技連、2005年出版 リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン、2018年、診療と治療者、2018年 古田一雄・長崎晋也：安全学入門、日科技連、2023年 篠原一彦：医療のための安全学入門（第2版）、丸善株式会社、2023年 川村治子：看護の統合と実践2、医療安全（第5版）、医学書院、2025年 小澤かおり他：看護の統合系実践、看護実践マネジメント／医療安全（第5版）、メヂカルフレンド社、2025年 （公財）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本、株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	講義終了時筆記試験 80% 小テスト 20%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。 「講義での学び」の質問に適宜回答し、知識をフィードバックする。
備考	

講義科目名称： 教育原理

授業コード： 500600A

英文科目名称： Principle of Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】 理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
趙 雪梅			
講義	養護教諭対象科目	010002L1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	学校と社会、子どもの発達と教育をふまえて学校教師の役割を学ぶ		
授業の概要	この授業では以下のことを学び検討する。①歴史的ルーツをたどることによる教育に関するイメージの形成 ②社会変動の中の教育と教育の国際化 ③子どもの発達と教育について、子どもの学びと学校教育について、今の子どもを取り巻く状況 ④その上で、学校・教師（養護教諭も含めて）の役割を学ぶ。		
授業計画	第1回 教育の歴史 西洋 事前学習：図書館で西洋史を調べる。（2時間） 事後学習：プリントやノートを用いて、習得した知識を整理する。（2時間） 第2回 教育の歴史 日本 事前学習：図書館で日本史を調べる。（2時間） 事後学習：プリントやノートを用いて、習得した知識を整理する。（2時間） 第3回 教育思想の名人からの学び 事前学習：教育思想家について調べる。（2時間） 事後学習：プリントやノートを用いて、習得した知識を整理する。（2時間） 第4回 社会変動と教育 事前学習：社会変動について調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、教育の社会性を深く理解する。（2時間） 第5回 教育の国際化 事前学習：国際化の意味について調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、教育における国際化の重要性を深く理解する。（2時間） 第6回 小括と討議 事前学習：これまでの学習内容から興味関心があるところを考える。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間） 第7回 子どもの発達 事前学習：人間形成とは何かを考える。（2時間） 事後学習：学習内容によって、現代社会における子どもの成長を深く理解する。（2時間） 第8回 発達と教育と学習 事前学習：特別支援教育について調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、発達・教育・学習の関連性を深く理解する。（2時間） 第9回 教科学習と学力 事前学習：学力の意味を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、大学の学習から育成する学力を深く理解する。（2時間） 第10回 「教える」と「学び」 効果的な方法 事前学習：「学び」の角度から、教え方を考える。（2時間） 事後学習：学習内容によって、自分らしい方法を整理する。（2時間） 第11回 小括と討議 事前学習：これまでの学習内容から興味関心があるところを考える。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間） 第12回 現在の子どもを取り巻く状況 事例研究 その1 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間） 第13回 現在の子どもを取り巻く状況 事例研究 その2 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間） 第14回 学校・教師（養護教諭も含む）の役割 事前学習：自分の学校時代を思い起こし、学校・教師のことを考える。（2時間） 事後学習：学習内容によって、学校・教師の役割を深く整理する。（2時間） 第15回 小括と討議 事前学習：これまでの学習内容から興味関心があるところを考える。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）		
テキスト	特に定めずその都度資料を提供		
参考書・参考資料等	堀尾輝久『教育入門』岩波新書54 安彦忠彦・藤井千春・田中博之『よくわかる教育学原論』ミネルヴァ書房		
学生に対する評価	通常の小テスト（50％）とレポート（50％）で評価する 評価基準：教育課程の理解と具体的な展開の理解がなされたかどうか、発表とレポートの内容より評価する。		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。		

講義科目名称： 教育方法論

授業コード： 501100A

英文科目名称： Educational Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】 理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
趙 雪梅			
講義	養護教諭対象科目	010003L1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	教育方法の歴史的展開や動向を理解し、教育実践の位置づけを理解する。グループでの検討を通じて、レポートをまとめ、実践的に活用できることに対する認識を深める。		
授業の概要	学習の方法および技術についての基礎的な理論や考え方を調べ、意味を理解する。事例を通して、指導技術を理解する。ディスカッションやグループワークを行い、教育方法に関する議論を展開する。		
授業計画	第1回	オリエンテーション（講義の内容や流れの確認） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第2回	教育方法の歴史的展開と基礎理論（古代・中世） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第3回	教育方法の歴史的展開と基礎理論（古代・中世） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第4回	教育方法の歴史的展開と基礎理論における演習（古代・中世） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第5回	教育方法の歴史的展開と基礎理論（中世・近代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第6回	教育方法の歴史的展開と基礎理論（中世・近代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第7回	教育方法の歴史的展開と基礎理論における演習（中世・近代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第8回	小括と討議 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第9回	教育方法の歴史的展開と基礎理論（近代・現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第10回	教育方法の歴史的展開と基礎理論（近代・現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第11回	教育方法の歴史的展開と基礎理論における演習（近代・現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第12回	教育方法の歴史的展開と基礎理論（現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第13回	教育方法の歴史的展開と基礎理論（現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第14回	教育方法の歴史的展開と基礎理論における演習（現代） 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
	第15回	小括と討議 事前学習：課題によって、資料を調べる。（2時間） 事後学習：学習内容によって、習得した知識を整理する。（2時間）	
テキスト	特に定めずその都度資料を提供		
参考書・参考資料等	佐藤学 『教育の方法』左右社、2010年		
学生に対する評価	通常の小テスト（50％）とレポート（50％）で評価する。 評価基準：教育課程の理解と具体的な展開の理解がなされたかどうか、発表とレポートの内容より評価する。		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する		

備考	
----	--

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】言語【選択】理学, 作業, 看護
担当教員			
塩見 格一			
講義		010004LIP0SN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	記述統計学と推測統計学の理解とそれらの応用ができるまでを目標とする。		
授業の概要	日常的に出合う多くのデータを読み解き意味のある命題を導出するための統計的な手法を身につけるために、統計学における基礎的な概念や手法を、それぞれ幾つかの課題を例として分析することで理解を図る。		
授業計画	第1回	講義内容、授業の進め方、成績の付け方等についての説明 事前学習： 統計学の授業においては、毎回、アクティブ・アカデミーを利用して、授業で使用するデータを *.csv あるいは *.xlsx 形式で事前に配布します。各人においてこの配布されたデータをダウンロードして、エクセル等の表計算ソフトウェアにより開き、折れ線グラフや散布図の生成が可能であることを確認し、また以下のキーワードについて、その意味を参考資料等により調べてノートにまとめておくことが必要です。（2時間） キーワード： 保健統計、統計データ、質的データ、量的データ 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第2回	記述統計学・推測統計学の概略説明と統計学の全体像説明 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 記述統計学、推測統計学、フィッシャーの統計学、ナイチンゲールの業績 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第3回	データの分類、データの図示、度数分布表、ヒストグラム 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 度数分布表、ヒストグラム、階級幅、階級値 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第4回	最頻値、中央値、平均値 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 標本データ、平均値、中央値、最頻値、四分位数、四分位区間、外れ値 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第5回	範囲、分散、標準偏差、歪度、尖度 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 範囲、分散、標準偏差、歪度、尖度、標本標準偏差、不偏標準偏差、自由度 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第6回	正規分布とその応用 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 正規分布、標準正規分布、累積正規分布、誤差関数、カール・フリードリッヒ・ガウス（人名） 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第7回	t分布、χ^2分布、F分布、2項分布、ポアソン分布 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： t分布、χ^2分布、F分布、2項分布、ポアソン分布、ヤコブ・ベルヌーイ（人名）、シメオン・ドニ・ポアソン（人名） 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第8回	母集団、標本、標本平均の分布、母集団と標本の関係、中心極限定理 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 母集団、標本、標本平均の分布、中心極限定理、 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第9回	母集団の母数の区間推定 事前学習： 配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 標準誤差、区間推定、95%信頼区間、下限値、上限値 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	

	第10回 仮説検定とは、仮説検定の手順、帰無仮説、対立仮説、有意水準 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード：仮説検定、帰無仮説、対立仮説、有意水準、危険率、検出力、第1種過誤、第2種過誤、P値 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第11回 両側検定、片側検定、Z検定、t検定 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード：両側検定、片側検定、Z検定、t検定 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第12回 母平均の検定、2つの母平均の差の検定 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード：母平均の検定、母平均の差の検定、母相関係数、母比率、同等性試験、非劣性試験 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第13回 分散分析とは、一元配置分散分析 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード：分散分析、一元配置分散分析、二元配置分散分析、主成分分析 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第14回 相関図、相関係数、回帰直線、順位相関係数 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード：相関図、相関係数、回帰直線、順位相関係数、回帰分析、ロジスティック回帰分析 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第15回 ベイズ統計、21世紀の統計学 事前学習：配布されたデータの内容を確認し、以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード：ベイズの定理、ベイズ統計、ベイズ推定、コンピュータ・シミュレーション 事後学習：講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々の学習資料を作成・追加する。（2時間） 定期試験
テキスト	縣俊彦著：やさしい保健統計学（改訂第5版増補）南江堂
参考書・参考資料等	倉田博史 監修：東京大学の先生伝授 文系のためのめっちゃやさしい 統計 NEWTON PRESS 倉田博史 監修：東京大学の先生伝授 文系のためのめっちゃやさしい 確率 NEWTON PRESS
学生に対する評価	定期試験（筆記試験100%）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	9時から18時、講義終了後にも適宜対応する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】 理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
塩見 格一			
講義		010005L1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	情報処理の基礎知識を理解し、文書作成からプレゼンテーションまでの情報処理技術、及び表計算ソフトによる統計等データ処理に係る情報処理技術を身に付けることを目標とする。 1) コンピュータのハードウェアとソフトウェア等システム構成を理解し、情報表現・情報処理・情報検索等を実施する技術を身につける。 2) 一般的な情報技術として、具体的にオフィス・アプリケーションの統合的な用法を習得する。 3) 情報倫理とリテラシーを理解し、インターネット・アプリケーションを利用して、日常的な様々な問題を解決するインターネットの応用技術を習得する。 4) 生成 AI を利用してレポート等の過不足を補い、インターネット上の偽情報を見破り「その都度の時点において正しいと考えられる情報」の取りまとめを行えるようになる。
授業の概要	医療分野では広くコンピュータが使われ、基本的な情報処理技術は全ての医療従事者に必要不可欠なものとなっている。そこで本授業では、社会に普及している情報処理基盤の利用に要する技術的な知識を、これを支える知識として情報科学の発展の経緯から将来的な展望までを基本的な概念の理解と共に身につけられるように、実践的な課題を処理して学習する。
授業計画	第1回 コンピュータのハードウェアとソフトウェアについて説明できる 情報科学の授業では、実際にパソコンを使用して課題を解きます。 インターネットに Wi-Fi 接続できるように調整したパソコンを準備する必要があります。 事前学習： 課題は事前にアクティブ・アカデミーにより配布致しますので、配布された課題やデータの内容を確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： コンピュータの起源と発展の歴史、ハードウェア、ソフトウェア、アラン・チューリング（人名）、ジョン・ノイマン（人名） 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第2回 高度情報化社会で使われる情報表現・情報処理・情報検索の技術、インターネットや情報倫理について説明できる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 情報表現・情報処理・情報検索の技術、インターネットの仕組みと応用、情報倫理 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第3回 ワープロソフトWordを使った基礎的情報表現ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： Word 画面構成、文書の作成、表の作成、文書の編集、文書の保存・印刷 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第4回 ワープロソフトWordを使った応用的情報表現ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 図形を使った文書作成、長文の作成、文書の校閲、Excel データの利用、便利な機能 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第5回 表計算ソフトExcelを使った基礎的情報処理ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： Excel の画面構成、表作成、表内計算、ソート、検索・抽出、グラフ作成、保存・印刷 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第6回 表計算ソフトExcelを使った応用的情報処理ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： 関数の利用、データベースの活用、ピボットテーブル、便利な機能 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第7回 プレゼンテーションソフトPowerPointを使った基礎的プレゼンテーション資料の作成ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。（2時間） キーワード： PowerPoint の画面構成、文字入力、表作成、グラフ作成、図形作成、画像挿入、保存・印刷 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間） 第8回 プレゼンテーションソフトPowerPointを使った応用的プレゼンテーションができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し、また以下のキーワードについて調べてノートにま

	とめます。(2時間) キーワード： 画像の加工, Word・Excelデータの利用, 原稿作成, プレゼンテーションの校閲, スライドショー 事後学習： 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個人の学習資料を作成・追加する。(2時間) インターネットと AI の基礎的活用ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し, また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： インターネットの歴史, インターネット・ブラウザ, ホームページの検索・利用, YouTube, SNS 事後学習： 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個人の学習資料を作成・追加する。(2時間) インターネットと AI の応用的活用ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し, また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： メディカルオンラインを使った医学文献検索, 翻訳機能 事後学習： 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 表計算ソフトExcelを使って、基礎的統計計算ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し, また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 平均値, 中央値, 最頻値, 分散, 標準偏差, 変動係数, 歪度, 尖度, 度数分布表作成, ヒストグラム作成 事後学習： 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 表計算ソフトExcelを使って、相関分析と回帰分析ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し, また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 散布図, 相関係数, 相関分析, 回帰直線, 決定係数, 回帰分析 事後学習： 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 表計算ソフトExcelを使って、2項分布、ポアソン分布、正規分布を求めることができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し, また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 2項分布, ポアソン分布, 正規分布 事後学習： 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 表計算ソフトExcelを使って、母平均の推定ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し, また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 推測統計学とは, 母集団, 標本, 標本平均の分布, 母集団と標本の関係, 中心極限定理, 信頼度, 区間推定 事後学習： 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 表計算ソフトExcelを使って、仮説検定ができる 事前学習： 配布された課題やデータを確認し, また以下のキーワードについて調べてノートにまとめます。(2時間) キーワード： 仮説検定とは, 仮説検定の手順, 帰無仮説と対立仮説, 有意水準, 両側検定, 片側検定, Z検定, t検定 事後学習： 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 定期試験
テキスト	杉本 くみ子, 大澤 栄子 著：30時間でアカデミック Office2021 実教出版
参考書・参考資料等	小舘香椎子他著：教養のコンピュータサイエンス 情報科学入門 第3版, 丸善, 2020年出版 小林健一郎他著：教養情報科学概論—ユビキタス時代の情報活用—, 共立出版, 2006年出版 菅民郎著：「Excelで学ぶ統計解析入門 - Excel2019/2016 対応版, Ohmsha, 2020年出版」
学生に対する評価	定期試験(筆記試験50%), 課題50%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	9時から18時, 講義終了後にも適宜対応する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
塩見 格一			
講義		010006L1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	人間工学は、使い易い機器や安全で快適な生活環境等を実現し、更に、技術をより人に優しくし、機械をより使い易くし、より快適な生活環境の実現を目的とする学問である。従って、人間工学は、その地域に、またその時々の人間の生活に密着したものでなければならず、本授業では、日常生活における人間工学的な成果を理解するために知識を獲得し、日常生活において経常的に人間工学的な眼差しを持ち続ける姿勢を身につける。		
授業の概要	人間工学は、人に優しい技術、使いやすい機器、生活しやすい環境を創るために生まれてきた学問であり、いろいろな分野で広く応用されている。現代はコンピュータ技術、情報科学、システム工学などの進歩によって人間と機械との境界がなくなり、人間と機械・機器・システムの関係が変化してきている。人間と機械の関わり、人間の運動特性と心理・感性、人間工学の応用とヒューマンインターフェース、医療技術と人間工学などについて、具体例に基づいて学ぶ。		
授業計画	第1回	人間工学の目的とその意義、歴史的な人間工学の成果 事前学習： 人間工学の授業では毎回の講義の前に、アクティブ・アカデミーによる当日の資料を配布します。 ・配布資料には、章毎に、また適宜キーワードが示されていますから、キーワードについて調べてノートにまとめて下さい。（2時間） キーワード： 人間工学と安全工学、原子力事故、航空宇宙事故、20世紀の重大事故、21世紀の重大事故 ・また、YouTube などの動画資料も示すこともありますから、その場合はその動画を見て下さい。 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第2回	人間工学の枠組みと周辺の学術分野との関係 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。（2時間） キーワード： 航空機のcockpitや自動車の運転席の発展の歴史とその発展に寄与した科学と工学 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第3回	日常生活における快適性の向上を具体的に実現した人間工学的成果 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。（2時間） キーワード： 日常生活における必需品の変遷の歴史、筆記具の歴史、計算機や計量器の歴史、情報処理機器の歴史 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第4回	産業環境・社会基盤の効率化と安全性向上を両立させる人間工学の役割 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。（2時間） キーワード： 社会基盤の構成要素、産業革命と情報革命の類似点と相違点、文化的な差異による人命に対する考え方 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第5回	「使い易い」という事柄の科学的・工学的な理解 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。（2時間） キーワード： キッチン・ツールは使い易いか？、家電製品、情報処理機器、自転車や自動車 ・使い易いという事はどのようなことか考察します。 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第6回	人体の形状と機能を考慮した作業目的に対する合理的作業環境と作業姿勢 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。（2時間） キーワード： オートクチュール、プレタポルテ、ユニバーサル・デザイン、ロナルド・メイス（人名） 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第7回	人体の生理機能、またその概日周期や高齢化等による変化 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。（2時間） キーワード： 身体と精神の健全性、自律神経の働き、高齢化 ・高齢化により低下する機能や失われる機能は如何に代替・支援されるべきか？ 事後学習： 講義で説明した内容を確認して、またデータ処理の結果を、ノートに追加して、個々人の学習資料を作成・追加する。（2時間）	
	第8回	ストレス（精神負担と生体負担）の概念と、その計測手法 事前学習： アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノート	

	第9回 にまとめて下さい。(2時間) キーワード: 疲労とストレス, 汎適応症候群, 心身症, 神経症, ハンス・セリエ (人名) 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 疲労とストレスの関係, また健全性を維持するための手法 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 疲労やストレスの計測, 疲労指標, 自律神経系における反応, 過労死, 上畑鉄之丞 (人名) 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 第10回 スリップや躓きの防止等, 生活環境の危険を排除する人間工学の役割と成果 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 転倒・転落事故の防止, 家庭内での事故防止, 風呂場とトイレ, 屋外での事故防止, 交通事故の防止 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 第11回 事故や高齢化により低下した身体機能の補完技術における人間工学的な考え方 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 認知機能, 事故の認知, 錯覚, 誤解, 能力の不足・欠如, ・・, 知的機能の補完技術としての AI ・個々人の必要性に対応した技術支援が必要ですが, ユニバーサル・デザインの考え方などを踏まえて, 集約・共通化は可能でしょうか? 「何をする場合も AI を呼び出して, リクエストして, 自分では直接的な操作などは一切行わないで済ませることは可能になるのでしょうか?」 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 第12回 具体的事故例から考えるヒューマンファクターとヒューマンエラーの関係 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: (家電製品やガス器具などの) 誤操作, 自動車の運転における誤操作 ・誤操作はなぜ起こるのか? なぜ繰り返されるのか? 自動車の運転における誤操作は技術により防げるか? 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 第13回 生活環境や作業環境におけるリスクアセスメント 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 理想的な生活環境, 未来社会における生活必需品, QOL, ドナルド・ノーマン (人名) ・人間らしい生活に必要な最小限なモノと社会環境基盤の関係を検討・考察しましょう。 ・生きることと, 生き活きと生きることについて考察しましょう。 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 第14回 未知の事態への対応とその準備として人間工学において為すべき事柄 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 太古の衣食住, 文明黎明期の衣食住, 中世社会の衣食住, ルネッサンス期の衣食住, 近代・現代の衣食住, 未来の衣食住 ・中世からルネッサンス期の衣食住については, キリスト教社会, イスラム教社会, 中華儒教社会, 日本の平安時代から江戸時代, などなどと区別して考える必要がありますが, それぞれの社会においても上流階級と中下流階級では全く異なる生活をしていたのかも知れません。想像力を働かせて, 個々人は何のために, 何を求めて現世を生きていたのか? 考えてみましょう。 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 第15回 人の幸福の実現のための人間工学と人間工学の可能性を広げる周辺科学 事前学習: アクティブ・アカデミーにより配布する資料に示すキーワードについて調べてノートにまとめて下さい。(2時間) キーワード: 人間工学, 安全工学, 社会基盤, 海洋開発, 宇宙開発 ・人間工学, また安全工学が将来において果たすべき役割について検討・考察して下さい。 ・前回第14階の課題への解答を思い起こしながら考えて下さい。人類は失敗を繰り返して今日を築いて来ましたが, 失敗の拡大再生産を繰り返さないための工学としての役割は常にあった筈で, これからもある筈です。 事後学習: 講義で説明した内容を確認して, またデータ処理の結果を, ノートに追加して, 個々人の学習資料を作成・追加する。(2時間) 定期試験
テキスト	特になし, 毎回資料を配布する。
参考書・参考資料等	福田収一著「デザイン工学」(財)放送大学教育振興会 D.A.ノーマン著「誰のためのデザイン? 増補・改訂版」新曜社。
学生に対する評価	定期試験(筆記試験100%)
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	9時から18時 講義終了後にも適宜対応する。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】言語【選択】理学, 作業, 看護
担当教員			
青井 利哉			
講義	A T対象科目		010101LIPOSNA
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	人の心を科学的に扱うことができるのかについて学ぶとともに、自分自身や他者、日常における様々な問題について心理学的視点から捉えることができるようになる。		
授業の概要	現代の心理学は、人間についての科学的で総合的な理解を目標に、心の働きと行動について研究する学問である。治療やケアの対象となる人間の心理や行動を追究し、多面的に理解するための心理学の基礎(知覚や感覚、学習、記憶、情動や動機付け、思考や言語、発達、性格)を学ぶ。 また心理学を学習することで、自己理解や自己統制を助け人間形成にも役立てる。心理学の基礎知識、方法論を学習し、自他の理解について、心理学的なアプローチがあることを学習する。		
授業計画	第1回	心理学の歴史と広がり II-3-① いわゆる近代心理学が成立した年としては1879年があげられる。エビングハウスが1908年に出版した心理学要論の冒頭には、「心理学の過去は長いが歴史は短い」と書かれてあるが、その意味について概説する。	
	第2回	事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 心理学の研究法 実験法、質問紙法、面接法、観察法、心理検査法といった基本的な研究法の実証的論理を把握する。	
	第3回	事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 人間行動を心理学で説明するための基礎を理解する 心理学は「行動の科学」などと言われている。心理学には研究の領域によってさまざまな分野に分かれている。実験心理学、認知心理学、学習心理学、社会心理学、臨床心理学などのそれぞれの領域では人の行動をどのように説明しようとするのか概説する。	
	第4回	事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 感覚と知覚 感覚は、感覚器官を経由して外部世界や身体内部に関する情報を受容する過程のことで、知覚は感覚器官からの情報を過去の学習・経験によって活用したりすると考えられているが、具体的にどうということなのか説明する。	
	第5回	事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 学習（1）古典的条件づけ、オペラント条件づけ、学習理論 III-3-③ 学習というと学校の勉強という印象が強いが、心理学では、私たちが経験を通して身に付けたものを学習と捉える。学習（1）では、古典的条件づけにみられる基本的な学習を学ぶ。	
	第6回	事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 学習（2）技能学習、社会的学習 III-6-② 技能を獲得するとはどういうことなのだろうか。自転車に乗れた経験や、楽器がうまくなりたくて猛練習した経験など、学習（2）では、特に動作や技術の習得についての学習を説明する。	
	第7回	事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 演繹的推論、帰納的推論、思考について 思考が果たす機能には、直面している問題を解決したり、対処したりするという特徴がある。例えば、「全ての人は死ぬ、ソクラテスは人である」から導かれる答えは何だろう。推論に見られる人の思考のあり方について説明する。	
	第8回	事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 感情、動機づけ II-3-②, II-3-③ 人のさまざまな行動の背景には、行動を起こそうとする心の働きがある。行動を起こそうとする心の働きを動機づけと言い、行動を起こそうとする心の働きと、行動を起こした結果には、感情の揺れ動きが大きくかかわっている。	

	事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 記憶の特徴（感覚記憶、短期記憶、長期記憶） 心理学で扱う記憶を、感覚記憶、短期記憶、長期記憶に分類して説明する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 記憶と忘却 忘却とは何か、なぜ忘却が起きるのか、さまざまな説を紹介しながら説明する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） パーソナリティやパーソナリティを調べる諸方法、個人差について III-6-① パーソナリティとは、人格・個性・性格と同義で、特に個人の全体的な特性の総体を言うが、私たちのパーソナリティをどのように調べるのか、具体的な検査を紹介しながら説明する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 欲求不満とストレス ストレスが引き起こす心理的な反応について説明する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 発達の特徴（発達段階、発達課題） III-10-⑥ 人の成長過程においては、個人差はあるものの、多くの人に共通して見られる発達段階ごとの特徴がある。種々の発達段階や発達理論を紹介するので、自分自身の発達と照らし合わせて聞いて欲しい。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 他者を知ること（対人認知、印象形成） 周りにいる他者について、その人がどんな人か推測したり、他者の内面についてさまざまに思いめぐらせることは誰しもが行うことである。人がどのように他者の印象を形成するのか説明する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 心理アセスメント III-6-①, III-10-⑥ アセスメントには、評価や査定という意味がある。心理療法などの臨床心理学的援助の過程において、面接や心理検査などの技法を用いて行うかわりのことである。なぜ心理アセスメントが必要なのか、事例を紹介しながら説明する。 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 定期試験
テキスト	適宜プリントを配布する。
参考書・参考資料等	松川順子 編：「心・理・学」、ナカニシヤ出版、2009年 鈴木常元、谷口泰富、有光興起、他6名：心理学、新曜社、2014年 リファレンスブック 公益財団法人 日本スポーツ協会 発行
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日、水曜日の午後 研究棟2階教員室
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナ養成「共通科目」読替

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】 理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
高木 祐介			
講義		010102L1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	生命倫理学の視点から、「生命」、「ヒト」、「死」、「性」、「幸福」、「医療」、「研究」等について考察し、社会で顕在化する関連事象について、多義的に解釈できるようになることを目指します。		
授業の概要	テレビや新聞等を毎日眺めると、実に多くの生命倫理に関するニュースがあることに気づきます。皆さんは、どのように感じ取っているのでしょうか。自身の価値観で、あるいは、感情のままに考えている方、いるかと思います。皆さんは、将来、医療従事者になる可能性が高い大学生です。「生命」や「ヒトが生きている」、「性」や「死」等に関して、広く深い見聞が求められます。また、医療現場における多種多様な人々との対応の中で、これらに係る考え方が基礎となって解決されることもあるかと思います。そういったことから、皆さんがこれから培っていく考え方に、生命倫理学の視点を入れ、生命に係る様々な事象に対して多義的な解釈ができるようになって欲しいと思っています。本講義では、以上のような考えを基に、生命倫理学の基礎とそれに係る社会的事象、関連する学問分野（社会学、法学、心理学、等）について、皆さんと共に考えていきます。		
授業計画	第1回	ガイダンス、ヒトとは何か？生命とは何か？ 事前学習：シラバスを熟読しましょう。ヒト科の生物の意思伝達方法や子育て等も調べましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）	
	第2回	ヒトの理想の生き方とは何か？（1） 事前学習：自己の理想の生き方について、考えてください。人生設計図をつくることもよいです。（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）	
	第3回	ヒトの理想の生き方とは何か？（2） 事前学習：前回講義で学習した内容を整理し、延命や多様性に係る様々な問題を調べてみましょう。（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）	
	第4回	ヒトの死について、生命倫理学の視点から考える（1） 事前学習：自殺、他殺、死刑制度、人体実験について、関係する歴史・社会問題を調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で議論した内容も振り返りましょう（2時間）	
	第5回	ヒトの死について、生命倫理学の視点から考える（2） 事前学習：緩和ケア、リビング・ウィル、尊厳死、安楽死について、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で議論した内容も振り返りましょう（2時間）	
	第6回	ヒトの死について、生命倫理学の視点から考える（3） 事前学習：人工妊娠中絶について、様々な視点から調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で議論した内容も振り返りましょう（2時間）	
	第7回	ヒトの死について、生命倫理学の視点から考える（4） 事前学習：宗教上の問題、呪術療法、戦争、をテーマとした種々の問題を調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で議論した内容も振り返りましょう（2時間）	
	第8回	ヒトが摂取するものについて、生命倫理学の視点から考える 事前学習：人工的に細胞を培養してつくられた食物について、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）	
	第9回	医療における自己決定権と説明責任を考える（1） 事前学習：医療過誤や医療従事者の法的責任について、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）	
	第10回	医療における自己決定権と説明責任を考える（2） 事前学習：前回授業で作成したノートを整理し、復習しましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）	
	第11回	医学研究における不正を考える 事前学習：捏造、盗用、改竄について、その読み方と意味、それらに係る事件を調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間）	
	第12回	育児・介護に係る倫理的課題（1）	

	事前学習：赤ちゃんポスト、児童虐待、子どもの権利について、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間） 第13回 育児・介護に係る倫理的課題（2） 事前学習：認知症、高齢者虐待、ターミナルケアについて、調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間） 第14回 育児・介護に係る倫理的課題（3） 事前学習：障がい者虐待、ノーマライゼーション、ユニバーサル・デザインを調べてみましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、講義内容を理解しましょう。講義で演習した問題も復習しましょう（2時間） 第15回 小テスト、まとめ 事前学習：これまでにノートに記したことを整理し、学習した内容を振り返りましょう（2時間） 事後学習：ノートを整理し、全講義内容を理解しましょう。（2時間） 定期試験 実施しません
テキスト	適宜資料等を配布します。
参考書・参考資料等	講義中に適宜紹介する。
学生に対する評価	小テスト 50 %、課題（小レポートや発表、参加度、等）50 %とします。その他、講義態度等にて、適宜、加 点、あるいは、減点し、総合して評価します。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義終了時に対応する。
備考	

講義科目名称： 英語 I（社会と文化）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】 理学, 作業, 言語
担当教員			
浅井 純子			
演習		010103S1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	高校で学んだ基礎的知識を補強しつつ、基礎レベルの英文読解力・聴解力・英文作成能力・英会話力の充実にを図ることを目的とする。		
授業の概要	日常的な文化・社会・国際問題などや学生が関心を寄せることができる身近な話題を題材にして、語彙力の増加と基本的な構文の再確認及び英文の反復練習に重点をおきながら、上記の四つの英語コミュニケーション能力をバランスよく身につけられる学習を行う。またポスタープレゼンテーションを通してプレゼンテーションの基礎を学ぶ。		
授業計画	Week 1	Introduction オリエンテーションを行った後、英語で自己紹介をする 事前学習（2時間）テキスト p. 2-3 を学習する 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 2	Unit 7 Which one is cheaper? Unit 7 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う 事前学習（2時間）この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 3	Unit 7 Which one is cheaper? Unit 7 を用いてリーディング・ライティング活動を行う 事前学習（2時間）この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 4	Unit 8 They're very friendly. Unit 8 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う 事前学習（2時間）この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 5	Unit 8 They're very friendly. Unit 8 を用いてリーディング・ライティング活動を行う 事前学習（2時間）この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 6	Unit 9 You can visit the zoo. Unit 9 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う 事前学習（2時間）この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 7	Unit 9 You can visit the zoo. Unit 9 を用いてリーディング・ライティング活動を行う 事前学習（2時間）この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 8	まとめのテスト Week 1～Week 7 までの総まとめを行った後、まとめのテストを実施する 事前学習（2時間）まとめのテストの試験勉強をする 事後学習（2時間）まとめのテストの結果を見直し、理解不十分な点について改善を行う	
	Week 9	Unit 10 Is there a coffee shop? Unit 10 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う ポスター発表の準備を開始する。 事前学習（2時間）この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 10	Unit 10 Is there a coffee shop? Unit 10 を用いてリーディング・ライティング活動を行う ポスター作成のグループワークをする。 事前学習（2時間）この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 11	Unit 11 I had a good time. Unit 11 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う ポスター作成のグループワークをする。 事前学習（2時間）この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する	
	Week 12	Unit 11 I had a good time. Unit 11 を用いてリーディング・ライティング活動を行う ポスター作成のグループワークをする。 事前学習（2時間）この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする	

	Week 13 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Unit 12 I'm going to go by car. Unit 12 を用いて語彙学習およびリスニング・スピーキング活動を行う プレゼンテーションの基礎を学習する。 事前学習（2時間）この章で扱う新しい語彙を確認し、リスニング・スピーキング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 14 Unit 12 I'm going to go by car. Unit 12 を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーションの基礎を学習する。 事前学習（2時間）この章で行うリーディング・ライティング活動のための準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 15 Class summary and presentation グループごとにポスターのプレゼンテーションを行う 事前学習（2時間）プレゼンテーションの準備をする 事後学習（2時間）プレゼンテーションの評価を見直す 定期試験 行わない
テキスト	Smart Choice Fourth Edition Multi-pack 1B Oxford University Press (2020) ISBN 978-0-19-406097-4
参考書・参考資料等	英和・和英辞典が必要
学生に対する評価	小テスト・授業中のアクティビティへの積極的な参加 30%、 まとめのテスト 30% ポスター発表 40%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義終了時、または研究室が「在室」表示であって面談可能な時に、質問等を受け付けます
備考	本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします

講義科目名称： 英語Ⅱ（健康と医療）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】作業、言語
担当教員			
Lorraine Sakka			
演習		010104S1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	看護とリハビリテーションの領域における医療英語の読解・聴解・英文作成・英会話の四分野の基本的英語コミュニケーション能力の育成を目的とする。		
授業の概要	平易な英文で書かれた医療関係の情報の収集方法の習得と、英文記事などを読解するために、かつ簡単な英文を作成するために基礎的な医療英語の語彙・用語と文章表現を学習する。臨床現場で簡単な会話もできるように、医療英会話の基本的表現の聴解と運用の学習を行う。またポスタープレゼンテーションを通してプレゼンテーションの基礎を学ぶ		
授業計画	第1回	Introduction 授業のオリエンテーション 宿題：自己紹介ポスター 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第2回	自己紹介ポスター グループで紹介（English・英語で） 自己紹介発表 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第3回	Unit 1: Is this your first visit to this hospital? (pages 2-6) 会話リスニング・練習 Vocabulary 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第4回	Unit 2: What's the matter with you?とUnit 3: I'm going to take a blood sample 会話リスニング・練習 Vocabulary・pronunciation（体の部位・症状など） 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第5回	Unit 4: Let me explain our daily routine 会話リスニング・練習 Vocabulary・pronunciation（英語で時間） 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第6回	Unit 5: I'm going to ask you about your lifestyle habits 会話リスニング・練習 Vocabulary・pronunciation mini lecture: 患者さんの文化の患者の文化的差異に注意を払うこと 宿題: poster Japanese foods that are safe for cultures with religious 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第7回	まとめのテスト Week 2～Week 6 までの総まとめを行った後、まとめのテストを実施する Unit 8: How would you describe the pain? 会話リスニング・練習 Vocabulary・pronunciation（体の部位・症状など） 筋肉と骨の単語と発音 宿題: pronunciation homework 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第8回	Unit 9 How much can you move your legs? 会話リスニング・練習 Vocabulary・pronunciation 動きの指示英語で簡単発音など 宿題: poster—筋肉又は骨のための体操 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第9回	Poster presentation/demonstration 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第10回	Unit 10 Let's start practicing getting into the wheelchair 会話リスニング・練習 Vocabulary・pronunciation リハビリのための家で使うリハビリテーション用具 宿題: リハビリ道具プレゼンテーション 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします	
	第11回	Presentation day	
	第12回	本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします Unit 11: Let's make the walks longer 会話リスニング・練習 Vocabulary・pronunciation 筋肉と骨の単語と発音	

	第13回 宿題：pronunciation homework 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします Unit 13: Are you Ms. Brown? 会話リスニング・練習 Vocabulary・pronunciation（体の部位・症状など） 筋肉と骨の単語と発音 第14回 宿題：pronunciation homework 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします Unit 14・Unit 15 第15回 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします Presentation又は期末テスト 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします
テキスト	Care for All: Effective Patient Communication for Healthcare Workers（医療従事者のためのやさしい英語コミュニケーション） Hiroaki Tanaka/Kaoru Masago ISBN:978-4-7919-7319-4 成美堂
参考書・参考資料等	英和・和英辞典が必要
学生に対する評価	小テスト又は宿題など 40 % 授業中のアクティビティへの積極的な参加 40 % まとめのテスト 20 %
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義終了時、または研究室が「在室」表示であって面談可能な時に、質問等を受け付けます
備考	本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします

講義科目名称： 英語Ⅲ（総合演習）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2	【選択】 理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
浅井 純子			
演習		010105S2POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の学習を基にして、医療領域での総合的でより高度な英文読解力・聴解力・英文作成能力・英語によるプレゼンテーション能力の獲得を目指す。		
授業の概要	福祉・文化・社会・国際分野における様々な時事情報に関して、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」より難度の高い英文の読解・記述・聴解を通して、語彙の増加を促進しつつ、英語で思考する習慣を身につけ意思疎通もできるようになる学習を行う。		
授業計画	Week 1 Introduction オリエンテーションを行った後、英語で自己紹介をする 事前学習（2時間）自己紹介の準備をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 2 Visit to the clinic 1 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 3 Visit to the clinic 2 復習テスト1 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 4 Injury and pain 1 復習テスト2 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング活動を行う 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 5 Injury and pain 2 復習テスト3 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション1の準備をする 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 6 Medical examination 1 復習テスト4 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う プレゼンテーション1の準備をする 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 7 Medical examination 2 復習テスト5 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション1の準備をする 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 8 Presentation 1 プレゼンテーション1を行う 事前学習（2時間）プレゼンテーション1の準備をする 事後学習（2時間）プレゼンテーションの評価結果を見直し、次回のプレゼンテーションに向けて改善を行う Week 9 Lifestyle-related disease 1 復習テスト6 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う プレゼンテーション2の準備を開始する 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 10 Lifestyle-related disease 2 復習テスト7 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション2の準備をする 事前学習（2時間）プリントの予習をする 事後学習（2時間）授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Week 11 Dietary restrictions 1 復習テスト8 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う プレゼンテーション2の準備をする		

	Week 12 事前学習 (2時間) プリントの予習をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Dietary restrictions 2 復習テスト9 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション2の準備をする Week 13 事前学習 (2時間) プリントの予習をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Dementia 1 復習テスト10 配布資料を用いて語彙学習・リスニング・スピーキング 活動を行う プレゼンテーション2の準備をする Week 14 事前学習 (2時間) プリントの予習をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Dementia 2 復習テスト11 配布資料を用いてリーディング・ライティング活動を行う プレゼンテーション2の準備をする Week 15 事前学習 (2時間) プリントの予習をする 事後学習 (2時間) 授業で学習したことを見直し、疑問点があれば次週の授業で質問する Presentation 2 プレゼンテーション2を行う 事前学習 (2時間) プレゼンテーション2に向けてリハーサルを行う 事後学習 (2時間) プレゼンテーションの評価を見直す 定期試験 行わない
テキスト	プリント配布
参考書・参考資料等	英和・和英辞典が必要
学生に対する評価	小テスト 20% 授業中のアクティビティへの積極的な参加 10% プレゼンテーション1 30% プレゼンテーション2 40%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義終了時、または研究室が「在室」表示であって面談可能な時に、質問等を受け付けます
備考	必修科目である「英語Ⅰ」と「英語Ⅱ」に加えて、この選択科目「英語Ⅲ」を受講することにより、英語力の強化に努めましょう 本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします

講義科目名称： 英会話（医療系英会話）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】 理学, 作業, 言語
担当教員			
浅井 純子			
演習		010106S1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	「英語Ⅱ」と同時進行的に、日常生活と医療現場における英語によるコミュニケーション運用能力の充実と発展を図る。		
授業の概要	日常英会話と臨床英会話の基本的及び発展的表現を反復練習して身につけ、それらをロールプレイングやドラマパフォーマンスなどの様々な英語運用方法を通して、日常や国際的な場で遭遇する外国人の患者や医療従事者との意思疎通が臆せずにできる英語コミュニケーション能力を修得する。		
授業計画	Week 1	オリエンテーションと第1章 Hospital Departments 授業のオリエンテーションを行った後、(第1章) Hospital Departmentsを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う 【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する 【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する	
	Week 2	第1章 Hospital Departments (第1章) Hospital Departmentsを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う 【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う 【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する	
	Week 3	第3章 Parts of the Body (第3章) Parts of the Bodyを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う 【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する 【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する	
	Week 4	第3章 Parts of the Body (第3章) Parts of the Bodyを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う 【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う 【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する	
	Week 5	第5章 Daily Routine (第5章) Daily Routineを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う 【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する 【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する	
	Week 6	第5章 Daily Routine (第5章) Daily Routineを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う 【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う 【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する	
	Week 7	まとめのテスト1 Week 1-6 の総まとめとして、まとめのテスト1を行う 【事前学習：2時間】これまでに学習した箇所を再度復習し、まとめのテストに向けての準備を行う 【事後学習：2時間】まとめのテスト1の結果を見直し、理解不十分な点について改善を行う	
	Week 8	第7章 Locations of Hospital Objects (第7章) Locations of Hospital Objectsを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う 【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する 【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する	
	Week 9	第7章 Locations of Hospital Objects (第7章) Locations of Hospital Objectsを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う 【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う 【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する	
	Week 10	第8章 Hospital Directions and Instructions (第8章) Hospital Directions and Instructionsを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う 【事前学習：2時間】医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する 【事後学習：2時間】予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する	
	Week 11	第8章 Hospital Directions and Instructions (第8章) Hospital Directions and Instructionsを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う 【事前学習：2時間】この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う	

	Week 12 【事後学習：2時間】 予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する 第10章 Chatting with a Patient (第10章) Chatting with a Patientを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う 【事前学習：2時間】 医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する 【事後学習：2時間】 予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する Week 13 第10章 Chatting with a Patient (第10章) Chatting with a Patientを用いて、ロールプレイングと表現活動を行う 【事前学習：2時間】 この章を用いて行うロールプレイングと表現活動のための準備を行う 【事後学習：2時間】 予習と学習活動を振り返り、不十分であった部分を改善する Week 14 第12章 Hospital Procedures (第12章) Hospital Proceduresを用いて、リスニングと医療用語の学習活動を行う 【事前学習：2時間】 医療用語の発音・意味・用法を確認し、この章でリスニングの対象となるダイアログについて、前もってその意味を把握する 【事後学習：2時間】 予習と学習活動を振り返り、誤解していた部分と理解が不十分であった部分について再学習する Week 15 まとめのテスト2 Week 8-14 の総まとめとして、まとめのテスト2を行う 【事前学習：2時間】 これまでに学習した箇所を再度復習し、まとめのテストに向けての準備を行う 【事後学習：2時間】 まとめのテスト2の結果を見直し、理解不十分な点について改善を行う 定期試験 行わない
テキスト	Vital Signs 南雲堂 (2018) ISBN 978-4-523-17868-2
参考書・参考資料等	英和辞典・和英辞典が授業中に必要
学生に対する評価	小テスト 20% 授業中のアクティビティへの積極的な参加 10% まとめのテスト1 30% まとめのテスト2 40%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義終了時、または研究室が「在室」表示であって面談可能な時に、質問等を受け付けます。
備考	本講義（2単位）の予習・復習時間は各2時間を標準とします

講義科目名称： スポーツ医学

授業コード：

英文科目名称： Sports Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2	【選択】理学、作業、言語、看護
担当教員			
林 浩嗣・小俣 直人			
講義	AT&初級障がい者スポーツ指導員 対象科目(理学・作業・言語)	010107L2POSNA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	スポーツ指導者がスポーツ医学に関する知識を持つことの重要性について理解を深め、スポーツ活動と健康（QOL）との関わりについて学ぶ。スポーツ活動中に多いケガや病気について、その発生の原因や症状について理解し、スポーツ指導者としての対応の仕方について学ぶ。スポーツと精神医学の関わりや、精神障害者スポーツについて学ぶ。		
授業の概要	（オムニバス方式／全15回） （林 浩嗣／全12回） スポーツに関する医学的知識、アンチ・ドーピング、障がい者とスポーツについて学ぶ。 （小俣 直人／全3回） スポーツと精神医学の関わりや、精神障害者スポーツについて学ぶ。		
授業計画	第1回	スポーツと健康 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第2回	アスリートの健康管理 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第3回	アスリートの内科的障害と対策 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第4回	女性アスリートの障害と対策 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第5回	スポーツによる精神障害と対策 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第6回	外傷・障害の予防 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第7回	コンディショニングの手法 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第8回	救急処置（救急蘇生法） （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第9回	救急処置（外科的応急処置） （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第10回	アンチ・ドーピング（総論） （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第11回	アンチ・ドーピング（各論） （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第12回	障がい者とスポーツ （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）	
	第13回	スポーツにおける精神医学の役割 （担当：小俣 直人） 事前学習：上記に該当する内容をテキストや参考書で事前学習しておくこと（2時間）	

	第14回 事後学習：テキストや参考書、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 精神医学におけるスポーツの役割 （担当：小俣 直人） 事前学習：上記に該当する内容をテキストや参考書で事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキストや参考書、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第15回 精神障害者スポーツ （担当：小俣 直人） 事前学習：上記に該当する内容をテキストや参考書で事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキストや参考書、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）
テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会：Reference Book、2019
参考書・参考資料等	①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第3巻 スポーツ外傷・障害の基礎知識、文光堂、2019 ②公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第4巻 健康管理とスポーツ医学、文光堂、2019 ③公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第6巻 予防とコンディショニング、文光堂、2019 ④公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第8巻 救急処置、文光堂、2019 ⑤（公財）日本障がい者スポーツ協会（編），障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）、（株）ぎょうせい、2020 ⑥日本スポーツ精神医学会：スポーツ精神医学、診断と治療社
学生に対する評価	筆記試験：林 浩嗣80%、小俣 直人20%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	【実務経験について】 林 浩嗣：福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。 小俣直人：精神科病棟や精神科外来で勤務した経験を基に、当講義を進める。 精神科医での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

講義科目名称： スポーツ栄養学

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	【選択】理学、作業、言語、看護
担当教員			
鳴瀬 碧			
講義	AT、養護	010111L2POSNAH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	正しい食習慣が健康的なスポーツライフをマネジメントする上での第一歩であることを学習する。 ・競技者に対する栄養指導の重要性を理解し、スポーツにおける栄養摂取の役割及び関係する栄養素などについての知識及び実践方法を身につける。		
授業の概要	健康保護、健康増進、さらにはスポーツ活動・運動を支える栄養摂取についての基本的な知識を得るとともに、日々の食事を規則正しく摂取することが健康的なスポーツライフをマネジメントするための第一歩であることを学習する。また、水分補給の重要性についても学習する。 競技者に対する栄養指導の大切さを理解させるとともに、スポーツにおける栄養の役割と関係する栄養素との関連についての知識を高める。競技者の望ましい食事及びトレーニングの目的にあった食事の取り方について理解を深める。		
授業計画	第1回	1 五大栄養素の役割と特徴 P239 1) 糖質 2) 脂質 3) たんぱく質 事前学習：教科書に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第2回	1 五大栄養素の役割と特徴 P241、 2 アスリートの栄養摂取の考え方 P243 （五大栄養素の役割と特徴） 4) ミネラル 5) ビタミン （アスリートの栄養摂取の考え方） 1) スポーツ栄養に関する国際的な見解 、その他 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第3回	2 アスリートの栄養摂取の考え方 P244 2) 食事摂取基準 3) スポーツ栄養マネジメント 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第4回	3 サプリメント摂取に関する注意点 P245 1) サプリメントの特徴と関連情報 2) サプリメントとドーピング問題 3) サプリメントと健康問題 4) どんな時に活用するか 5) 使用時に必ず確認する項目 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第5回	4 基本の食事 P247 1) 日常的な食事の基本 2) 食品群別摂取の考え方 3) 補食について 4) 外食と中食のポイント 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第6回	5 水分補給 P249 1) アセスメント 2) 水分補給の目安量 3) クーリング 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第7回	6 栄養食事計画の立案 p251 1) 減量 2) 増量 3) 貧血予防 4) 試合前・試合後の食事 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第8回	6 栄養食事計画の立案、P256 まとめ 5) 遠征時の食事 6) 疲労骨折予防 7) 疲労回復・夏バテ 8) 女性アスリート	

	事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 定期試験
テキスト	・配布資料
参考書・参考資料等	・リファレンスブック（公益財団法人 日本スポーツ協会 発行）P239～261 ・随時紹介
学生に対する評価	筆記試験90%，講義中の提出物10%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	

講義科目名称： 体育 I

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】言語【選択】理学, 作業, 看護
担当教員			
片岡 雅彦			
講義	養護教諭対象科目	010109LIP0SNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1. 健康についての多様な考え方について説明できる。 2. 体力および、体力トレーニングの基礎理論を説明できる。 3. 新体力測定の目的、実施方法、評価を理解するとともに、効果的な運動プログラムを説明、紹介ができる。		
授業の概要	身体発育発達と機能について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を教授する。また、生涯にわたる心身の健康の保持増進や豊かなスポーツライフの理解を深める。		
授業計画	第1回	オリエンテーション、健康水準、平均寿命、健康のとらえ方、自己実現、ヘルスプロモーションについて説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第2回	生活習慣病とその予防について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第3回	運動の意義、運動習慣、休養・睡眠の意義について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第4回	健康を阻害する喫煙、飲酒、薬物乱用について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第5回	心の健康について説明できる 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第6回	技能と体力とは何か。また、技能と体力を高めるための注意点を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第7回	体力づくりのためのトレーニングの基礎理論を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第8回	文部科学省 新体力テストを基本とした測定方法、効果判定方法。レポート作成 自己体力診断が評価できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
テキスト	なし		
参考書・参考資料等	必要に応じて資料を配布する		
学生に対する評価	受講態度（意欲・積極性）30％ 毎回の記録およびレポート70％		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。		
備考			

講義科目名称： 体育Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】言語【選択】理学, 作業, 看護
担当教員			
片岡 雅彦			
実技	養護教諭対象科目	010110P1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	健康・体力に対する認識を深め、運動・スポーツの健康的意義を理解する。スポーツの意義を理解し、健康の保持増進とともに、体力の向上、人間関係の形成、さらにはスポーツの普及や振興について、実際にスポーツの体験を通して修得する。		
授業の概要	スポーツの意義を理解し、健康の保持増進とともに、体力の向上、人間関係の形成、さらにはスポーツの普及や振興について、実際にスポーツの体験を通して学ぶ。また実際に各種スポーツを体験することにより、スポーツの楽しさを理解する。		
授業計画	第1・2回 オリエンテーション ・授業の進め方、評価に関することを説明後体育館へ移動 体力測定（新体力測定） 第3・4・5回 バドミントン ・スキル向上課題練習と簡易ゲーム（ダブルス） ・バドミントンの概要説明とスキル向上課題提示・スキルテスト 第6・7・8回 バレーボール ・スキル向上課題練習とバレーボール種目の概要説明とスキル向上課題提示 ・スキル向上練習とゲーム・スキルテスト 第9・10回 フットサルまたはサッカー ・フットサル、サッカー種目の概要説明とスキル向上課題提示 ・スキル向上練習と簡易ゲーム・スキルテスト 第11・12回 ソフトボール ・スキル向上課題練習とゲーム・スキルテスト 第13・14回 ショートテニス ・ショートテニスの概要説明とスキル向上課題提示・ダブルスゲーム 第15回 スキルテスト 定期試験 授業内に実施		
テキスト	なし		
参考書・参考資料等	必要に応じて資料を配布する		
学生に対する評価	スキルテスト70%、受講態度（意欲・積極性）30%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	トレーニングウェア、シューズ等着用のこと 講義中および終了時に適宜返答する。		
備考			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
堀 秀昭			
講義		010201LIP0SN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	学生を取り巻く環境は時代とともに変化している。大学生生活を円滑に進めるために、様々な知識やスキルを身につける必要がある。入学後のオリエンテーションを含めて授業を構成する。		
授業の概要	新入生を対象とした必修科目であり、大学での4年間の学生生活をより実り豊かなものとするために必要とされるさまざまな知識やスキルを身につけることを目的としている。 内容としては、課題を遂行する事で知識の定着を図り、今後の勉学のモチベーションの向上を図る。そして、授業を行う中での図書の活用方法を教授し、スムーズな学業への移行を支援する。 また、患者接遇マナー、キャンパスハラスメントに対する対処法、学生を取り巻く課題としての消費者問題への対処法やアルコール依存、薬物依存などを防ぐための対処法、そして通学における車社会への対応、交通安全等に関する講義等を行い、4年間の学生生活への支援を行う。		
授業計画	第1回 大学における教育方針、授業の進め方（全体オリエンテーション①） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、福井医療大学の教育方針の理解を深める（2時間） 第2回 大学の組織及び学則について（全体オリエンテーション②） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、福井医療大学の組織の理解を深める（2時間） 第3回 大学教育における単位履修及の進め方（全体オリエンテーション③） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、単位履修について理解を深める（2時間） 第4回 大学教育における学生生活の進め方（全体オリエンテーション④） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、学生生活の進め方の理解を深める（2時間） 第5回 学科専攻における授業概要についての説明（学科専攻別①） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業概要の理解を深める（2時間） 第6回 学科専攻における学生として資質向上（グループによる自己啓発）（学科専攻別②） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、自己研鑽について理解を深める（2時間） 第7回 大学におけるリスク管理1（交通安全について） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、交通安全の理解を深める（2時間） 第8回 大学におけるリスク管理2（性犯罪防止について） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、性犯罪防止の理解を深める（2時間） 第9回 大学におけるリスク管理3（キャンパスハラスメントについて） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、キャンパスハラスメントの理解を深める（2時間） 第10回 大学におけるリスク管理4（消費者問題、悪徳商法とは） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、消費者問題の理解を深める（2時間） 第11回 大学におけるリスク管理5（薬物乱用防止について） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、薬物乱用の理解を深める（2時間） 第12回 大学におけるリスク管理6（防災時の対応） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、防災時の理解を深める（2時間） 第13回 大学教育における図書利用、文献等の利用について 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、福井医療大学の図書館利用の理解を深める（2時間） 第14回 社会人マナーに関して 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、社会人マナーの理解を深める（2時間） 第15回 奨学金制度に関して 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、奨学金の理解を深める（2時間）		
テキスト	配布資料		

参考書・参考資料等	
学生に対する評価	レポート100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	各講義終了後
備考	担当教員は、リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
堀 秀昭・野村 友美・中島 裕也・村田 里佳・青井 利哉			
講義		010202L1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1、専門職としてのアイデンティティを確立する。 2、チーム医療を確立するために、それぞれの専門職を理解する。 3、臨床・臨地実習において、臨床から学生に求められるものを理解する。 4、専門職としての報告書を作成することができる。 5、グループワーク（k-J法）を理解する
授業の概要	専門職としてのアイデンティティの確立は、4年後の国家試験に向けて重要な学修のテーマである。専門職としてどうあるべきか、専門職として必要なことは何か、互いを尊重しながら、グループワークを通して確立する。 また、専門職として働くうえでチーム医療について理解することは大切である。チーム医療とは、対象者の多様な諸問題（ニーズ）に応じて、多数の専門家がそれぞれの専門的視点から対象者の障がいをアセスメントし、綿密に連携をとり、一つの方向に向けて治療を推進していく統一的な活動をいう。そのためには、それぞれの仕事内容を理解することが重要である。 最後にそれぞれの課程で臨床・臨地実習が行われているが、臨床の指導者からは、専門職として学生に求めているものがある。それらについてグループワークを通して理解を深め、プレゼンテーションする。また臨床においては、報告書の作成も必須であり、報告書の基本について学修する。
授業計画	第1回 オリエンテーション 授業の進め方の説明（グループワークを通して 専門職としての意識を高める） グループワークを通して、他者と協力して課題に取り組む力が身につける。 グループの協力関係を確立するために、課題に取り組む。 グループの作成（10名程度）PTOTSTNSをそれぞれ配置 自己分析（専門職アイデンティティ、コミュニケーション能力等） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第2回 グループワーク1（専門職に必要なこと） グループワークを通して、専門職として必要なものについて考える。また抽出されたキーワードをエクセルに入力する。司会者を決定し、グループワークを進める。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第3回 グループワーク1（専門職に必要なこと） 専門職として必要なことを、情意領域、認知領域、精神運動領域に分類し、ポスターを作成する。書記3名、発表者1名を決定し、グループワークを進める。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第4回 グループワーク1（専門職に必要なこと） グループワークの成果を発表する。発表時には、それらのことを獲得するための4年間のスケジュールを含めて発表する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第5回 グループワーク1（専門職に必要なこと） グループワークの成果を発表する。発表時には、それらのことを獲得するための4年間のスケジュールを含めて発表する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第6回 グループワーク1（専門職に必要なこと） 各学科・専攻で、10名程度のグループを作成し、それぞれの専門職について調べる。また司会者、書記3名、発表者を決定する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第7回 専門職として必要な能力をプレゼンテーションする 専門職に必要な能力に関して、パワーポイントを使用して発表する 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第8回 専門職として必要な能力をプレゼンテーションする 専門職に必要な能力に関して、パワーポイントを使用して発表する 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第9回 グループワーク2（専門職の仕事内容） グループワークを通して、専門職の仕事内容について考える。また抽出されたキーワードをエクセルに入力する。司会者を決定し、グループワークを進める。グループの作成（10名程度）再度グループ作成PTOTSTNSをそれぞれ配置 グループワークを通して、専門職として必要なものについて考える。また抽出されたキーワードをエクセルに入力する。司会者を決定し、グループワークを進める。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間）

	第10回 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） グループワーク2（専門職の仕事内容） 各学科・専攻で、10名程度のグループを作成し、それぞれの専門職について調べる。また司会者、書記3名、発表者を決定する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第11回 グループワーク2（専門職の仕事内容） キーワードを分類し、臨床から学生に求められるのもまとめる。まとめ方に関しては、グループで話し合い、プレゼンテーションの資料を作成する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第12回 グループワーク2（専門職の仕事内容） キーワードを分類し、臨床から学生に求められるのもまとめる。まとめ方に関しては、グループで話し合い、プレゼンテーションの資料を作成する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第13回 専門職の仕事内容をプレゼンテーションする グループワークの成果を発表する。発表時には、それらのことを獲得するための4年間のスケジュールを含めて発表する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第14回 専門職の仕事内容をプレゼンテーションする グループワークの成果を発表する。発表時には、それらのことを獲得するための4年間のスケジュールを含めて発表する。 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間） 第15回 講評・まとめ 自己分析（専門職アイデンティティ等） 事前学習：講義内容について、事前に調べておく（2時間） 事後学習：講義内容を振り返り、授業の理解を深める（2時間）
テキスト	配布資料
参考書・参考資料等	なし
学生に対する評価	グループワークの参加状況、発表内容を総合的に判断して評価する。 評価 1、積極的な参加態度を示すことができた 2、プレゼンテーションを工夫して行うことができた（分かり易く説明した。多少曖昧な、分かり辛い表現をした。） 3、報告を時間内に行うことができた（制限時間の1～30秒以内に抑える、制限時間の1分以上前に終了、または延長30秒以上）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	それぞれ理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師としての実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。 総合病院での臨床経験及び病院管理業務の経験を踏まえ、当講義を進める。

講義科目名称： 人間関係論

授業コード： 101100A

英文科目名称： Human Relations

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
青井 利哉			
講義		010203L1POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	医療に従事する職業には、その基礎に人間関係がある。この授業では人間関係の基礎的な考え方、基礎的な技術について教授する。人間関係の諸相を理解することで、より良い人間関係を構築するための基礎的な知識やスキルを修得し、それを日常の行動に応用できることが目標である。		
授業の概要	日常生活において経験する人間関係の諸相を、心理学的視点より明らかにし、人間関係のプロセスやメカニズムについて理解を深める。さらに医療従事者と患者、さらには医療職種間におけるコミュニケーションについて、講義を通して学ぶ。		
授業計画	第1回	人間関係の基本的視点について理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第2回	自分とは何か、他者とは何かについてその関係性を理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第3回	他者とのコミュニケーションはどのように成立するのかについて理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第4回	生涯発達の視点から人間関係を理解する 乳幼児期～学童期 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第5回	生涯発達の視点から人間関係を理解する 青年期～老年期 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第6回	人間関係の諸相を理解する 家族関係 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第7回	人間関係の諸相を理解する 夫婦関係 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第8回	人間関係の諸相を理解する 親子関係 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第9回	人間関係の諸相を理解する 職場関係 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第10回	支配と服従の人間関係について理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第11回	攻撃と対立の人間関係について理解する 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第12回	対人関係の問題について理解する 児童虐待とDV 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第13回	人間関係の改善について理解する ストレスへの対処 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間）	
	第14回	対人援助における人間関係について理解する① 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間）	

	第15回 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間） 対人援助における人間関係について理解する② 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間） 定期試験
テキスト	適宜プリントを配布する。
参考書・参考資料等	服部祥子（著）：人を育む人間関係論, 医学書院, 2003 石川ひろの（著）：人間関係論 第3版（系統看護学講座 基礎分野）, 医学書院, 2018
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日、水曜日の午後 研究棟2階教員室
備考	

講義科目名称： 日本国憲法

授業コード： 102500A

英文科目名称： Japanese Constitution

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】 理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
横井 正信			
講義	養護教諭対象科目	010204L1POSNH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	日本国憲法に関する基本的な知識を習得し理解することを目的とする。		
授業の概要	第二次世界大戦後に国民主権、平和主義、基本的人権の保障を柱として日本国憲法が制定された歴史を踏まえ、私たちの生活と権利を守る日本国憲法の基本的人権の精神を学ぶとともに、判例の紹介などを通じて日本国憲法を実際の生活に活かすことを目指す。同時に、憲法は国家の行動を規律するという役割もあることから、国家のあり方を監視することによって国民の権利を守る存在としての日本国憲法の歴史的・現代的意義を学ぶ。		
授業計画	第1回	オリエンテーション 大日本帝国憲法の特徴と日本国憲法制定の経緯 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第2回	国民主権と象徴天皇制 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第3回	平和主義と憲法9条 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第4回	基本的人権の原理と限界 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第5回	包括的基本権と法の下の平等 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第6回	精神的自由権（内心の自由） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第7回	精神的自由権（表現の自由） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第8回	婚姻の自由と家族制度 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第9回	経済的自由権・人身の自由 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第10回	社会権 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第11回	参政権と選挙制度 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第12回	国民代表と国会 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第13回	議院内閣制 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第14回	裁判所と違憲審査権 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間）	

	第15回 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 地方自治 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 定期試験
テキスト	特になし（授業要約等の資料で代替）。
参考書・参考資料等	授業のなかで随時紹介する。
学生に対する評価	定期試験（筆記試験60%）、レポート40%（第1回授業時に評価方法について詳細な説明を行うので、必ず聞いておくこと）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義の前後に対応する
備考	

講義科目名称： コーチング論

授業コード： 103000A

英文科目名称： Coaching Theory

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
長谷川 優樹			
講義	AT&初級障がい者スポーツ指導員対象科目(保健医療学部)	010205L1POSNA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	コーチングとは、他者が存在して初めて行われる活動であり、人間関係づくりが基盤となる。近年のスポーツコーチングにおいては、競技における専門的知識に限らず、コミュニケーション能力や人間力の高さがより重視される。本講義は、コーチングの資質向上とともに、人間力向上を目指すものである。		
授業の概要	コーチングの手法はコーチの人間観によってもパフォーマンスが左右される。人間が持つ本来の力をいかに発揮させるがコーチングの姿である。 講義では、理論とトレンドな情報、映像を交え、時には従来の精神主義、根性主義的なコーチングと現在のコーチングとの比較を試みながら、あるべきコーチングのあり方、効果的なコーチング手法を講義し時にはロールプレイを行い実践者としての理解を深めていきたい。 毎回レポートの提出を行い、コーチング理解の進捗状況を見極めながら講義を進める。		
授業計画	第1回	コーチの成り立ち・コーチの哲学について理解し、説明することができる。Ⅰ-2-① 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第2回	コーチの役割、求められるコーチ像について理解することができる。Ⅰ-2-② Ⅰ-2-③ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第3回	「プレーヤーズ・センタード・コーチング」について理解し、説明することができる。Ⅲ-2-① Ⅱ-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第4回	理想的なコーチング（選手の自主・主体性）について理解し、実践できる。Ⅰ-6-② Ⅱ-2-① 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第5回	コミュニケーションスキル（バーバル・ノンバーバルコミュニケーション）を理解し、実践できる。Ⅱ-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第6回	コミュニケーションスキル（受容と共感、聞くスキルと伝えるスキル）を理解し、実践できる。Ⅰ-2-④ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第7回	全国障害者スポーツ大会の概要から、スポーツ参加への動機付けを理解することができる。Ⅰ-2-④ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第8回	障がい者スポーツ推進の取り組みを理解、説明することができる。Ⅱ-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第9回	障がい者スポーツ指導者としての必要なコミュニケーションスキルを理解することができる。Ⅱ-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第10回	コーチと保護者の関わり方について考えることができる。Ⅱ-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第11回	望ましいコーチングのあり方について考える Ⅰ-6-① Ⅲ-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第12回	コーチとしての学びについて考えることができる。Ⅰ-6-① 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	

	間) 第13回 効果的なミーティングを理解し、実践できる。Ⅱ-2-② 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間) 第14回 一貫指導体制システムを説明できる。協働について考える。Ⅲ-2-③ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間) 第15回 まとめ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく(2時間) 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う(2時間) 定期試験
テキスト	・リファレンスブック 公益財団法人 日本スポーツ協会 発行 ・スポーツ心理学(日本スポーツ心理学会編) ・配布資料
参考書・参考資料等	・レイナー・マートン スポーツ・コーチング学, 西村書店 ・ロビン・S. ビーリー コーチングに役立つ実力発揮のメンタルトレーニング, 大修館書店 ・(公財)日本障がい者スポーツ協会(編), 障がいのある人のスポーツ指導教本, 株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	筆記試験80%, 毎講義終了前のレポート20%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	メール時による質問、問い合わせ可能。積極的なコミュニケーションを図りたい。(アドレス samegee108@gmail.com)
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替 【実務経験について】 競技力向上や教育を目的としたスポーツ心理学の研究活動及び現場で6000時間以上のメンタルトレーニング(応用スポーツ心理学)の指導実践経験を積み、日本スポーツ心理学会認定：スポーツメンタルトレーニング指導士の資格を有する。その知識と経験を基に当講義を進める。

講義科目名称： 解剖学総論

授業コード： 200100A

英文科目名称： Introduction to Anatomy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
飯野 哲			
講義		020301LIP0S	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1. 医療に従事するに当たり必要な解剖学用語を理解し表現できるようにする。 2. 人体構造の基本となる細胞や組織、器官の形態について解剖学的な視点から理解する。 3. 人体諸器官がどのような関連性を持つかを理解し、人体全体の構造を把握する。		
授業の概要	人間を対象としその障害を治療する仕事においては、人体の構造と機能を理解することが重要である。解剖学の学習は、人体の構造と機能の理解には欠かすことができないものであり、各部の名称を理解し記憶することが基本となる。解剖学専門用語の理解のみならず、骨学、筋学、靱帯学、神経学、呼吸循環学、内臓学における基本事項を理解することを目的とする。 また、諸構造を構成する細胞や組織についても学び、機能との関連についての理解を深めるように努める。		
授業計画	第1回	解剖学の基本用語および細胞構造 (テキスト P. 1～P. 38) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)	
	第2回	組織と器官の基本構造 (テキスト P. 39～P. 62) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)	
	第3回	皮膚と腺の構造 (テキスト P. 69～P. 84) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)	
	第4回	骨格系の概要 (テキスト P. 85～P. 99) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)	
	第5回	筋系の概要 (テキスト P. 189～P. 203) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)	
	第6回	神経系の概要 (テキスト P. 261～P. 274) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)	
	第7回	脳と脊髄、末梢神経 (テキスト P. 277～P. 359) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)	
	第8回	視覚器・聴覚器・内分泌系 (テキスト P. 361～P. 401) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)	
	第9回	心臓 (テキスト P. 417～P. 431) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間)	
	第10回	血管・血液・リンパ	

	(テキスト P. 405～P. 415, P. 433～P. 479) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間) 第11回 呼吸器系 (テキスト P. 481～P. 499) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間) 第12回 消化器系 (テキスト P. 503～P. 532) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間) 第13回 泌尿器および男性生殖器 (テキスト P. 533～P. 562) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間) 第14回 女性生殖器 (テキスト P. 562～P. 575) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間) 第15回 ヒトの発生 (テキスト P. 579～P. 591) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく (2時間) 事後学習：テキストと配布資料を通して授業内容を理解し復習するとともに、レポート課題を行う (2時間) 定期試験 定期試験は講義で使用した配布資料とテキストを中心に、レポート課題の内容を含めて筆記形式で行う。
テキスト	F. H. マティーニ他著 井上貴央監訳 カラー人体解剖学 構造と機能：ミクロからマクロまで 西村書店 2003年
参考書・参考資料等	配布資料
学生に対する評価	筆記試験80%, レポート課題20%
課題 (試験やレポート等) に対応するフィードバックの方法	講義中および講義終了時に個別に対応する。メールによる問い合わせ可能 (iinoso@u-fukui.ac.jp)
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業
担当教員			
鳥越 甲順			
演習	A T対象科目	020302S1POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	授業の到達目標及びテーマ 1. 人体を構成する骨・関節の基本構造と微細構造について専門用語で説明できる。 2. 発生、成長、老化にともなう骨の改変、骨折の修復過程について専門用語で説明できる。 3. 人体を構成する骨・関節について、各部位における構造の特徴を専門用語で言える。 4. 人体を構成する骨・関節について、体表から触知できる部位の特徴を専門用語で言える。 5. 人体を構成する骨・関節について、臨床医学で用いられる画像をみて概略を言える。		
授業の概要	授業の概要 理学・作業療法学は人間の各関節を動かし、治療する手段をもっている。各関節について理解するためには、骨の形態を記憶し、体表面から骨の形態を理解しながら関節を動かすことが重要である。脊柱・上下肢モデルのスケッチを行うことで複雑な関節構造の特徴と動きの制限がどのような原因により生じるか理解する。		
授業計画	第1回	骨の基本構造と微細構造（手稿本 序章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第2回	人体を構成する骨格を概観（手稿本 序章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第3回	骨の発生・成長・老化、骨折の修復過程（手稿本 序章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第4回	脳頭蓋（手稿本 第1章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第5回	顔面頭蓋（手稿本 第1章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第6回	脊柱を構成する骨（手稿本 第2、3章、） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第7回	胸郭を構成する骨（手稿本 第2、4章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第8回	骨盤を構成する骨（手稿本 第5章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第9回	上肢帯の骨（手稿本 第8章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第10回	上腕の骨（手稿本 第9章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	

第11回	前腕の骨（手稿本 第9章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第12回	大腿の骨（手稿本 第10章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第13回	下腿の骨（手稿本 第10章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第14回	手の骨（手稿本 第6、7章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第15回	足の骨（手稿本 第11、12章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第16回	人体を構成する骨について総括（手稿本 第13章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第17回	関節の基本構造と関節運動（手稿本 第14、15章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第18回	頭蓋の縫合（手稿本 第1章）、顎関節の構造と咀嚼運動（手稿本 第39章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第19回	椎間関節の構造と脊柱の生理学的弯曲、脊柱の運動（手稿本 第2、3章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第20回	肩関節（上肢帯を含む）の構造と関節運動（手稿本 第19章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第21回	肘関節の構造と関節運動（手稿本 第9章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第22回	手を構成する骨・関節の構造と関節運動（手稿本 第22章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第23回	股関節の構造と関節運動、肩関節との構造を比較（手稿本 第10、19、30章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第24回	膝関節と関節運動、肘関節との構造比較（手稿本 第9、10、31章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第25回	足を構成する骨・関節と関節運動（手稿本 第12、25章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。
第26回	骨と関節の体表観察1. 頭部と体幹（手稿本 第1、2、5章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。

	第27回 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 骨と関節の体表観察2. 上肢と下肢 (手稿本 第7、8、9、10章) 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 第28回 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 臨床医学で用いられる画像の読解 (手稿本 終章) 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 第29回 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 生の骨・関節の観察、晒骨との比較 (手稿本 第40章、終章) 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 第30回 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 骨・関節の光学顕微鏡像 (手稿本 終章) 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 定期試験
テキスト	鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：運動器編 2021年 鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：運動器編・付録 演習問題集(解答付き) 2022年
参考書・参考資料等	F. H. マティーニ他著 井上貴央監訳 カラー人体解剖学 構造と機能：ミクロからマクロまで 西村書店 2003年 適時、資料を配布する。
学生に対する評価	数回の小テスト（実物試験と筆記試験）と定期試験（筆記試験）を合わせて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	随時、受け付けます。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業
担当教員			
鳥越 甲順			
演習	A T対象科目	020303S1POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	授業の到達目標及びテーマ 1. 骨格筋・腱の基本構造と微細構造について専門用語で説明できる 2. 人体の各部位における骨格筋について、起始、停止、運動作用、支配神経を言える。 3. 各関節における運動について、主動筋を踏まえて、説明できる。 4. 体表から触知できる骨格筋、腱、骨との付着部について、名称を言え、筋の運動を説明できる。		
授業の概要	授業の概要 人の動きの基本は、骨、関節を動かすことである。その動力源としての筋について、走行・働き・収縮状態を理解することが重要である。ここでは筋の付着部位、筋の収縮によって起こる運動、筋を支配している神経について理解することを目的としている。		
授業計画	第1回	骨格筋（筋と以下略）の基本構造と微細構造、運動の原理（手稿本 第13、14、15章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第2回	背部の筋（起始、停止、運動作用、支配神経、以下略）（手稿本 第36、37章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第3回	胸部の筋（手稿本 第38章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第4回	腹部の筋（手稿本 第33、34、35章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第5回	上肢帯の筋、上腕の筋（手稿本 第16、17、18、19章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第6回	前腕前面の筋（手稿本 第20、21章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第7回	前腕後面の筋（手稿本 第21、22章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第8回	手の筋（手稿本 第23、24章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第9回	寛骨の筋（手稿本 第28章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第10回	大腿前面および内側の筋（手稿本 第28、29章） 事前学習（0.5時間）：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習（0.5時間）：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。	
	第11回	大腿後面の筋（手稿本 第30、31、32章）	

	第27回 たうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 足の運動に関わる筋（手稿本 第25、26章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 第28回 骨と骨格筋の体表観察1. 頭部と体幹（手稿本 第33、36、37、39章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 第29回 骨と骨格筋・腱の体表観察2. 上肢と下肢（手稿本 第16、17、20、21、22、23、29、31章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 第30回 骨格筋、腱、運動終板の光学および電子顕微鏡像（手稿本 第13、14、15章） 事前学習(0.5時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(0.5時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の小テストに備えてください。 定期試験
テキスト	鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：運動器編 2021年 鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：運動器編 付録 演習問題集(解答付き) 2022年 鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：神経編 2021年
参考書・参考資料等	F. H. マティーニ他著 井上貴央監訳 カラー人体解剖学 構造と機能：ミクロからマクロまで 西村書店 2003 年 適時、資料を配布する。
学生に対する評価	数回の小テスト（実物試験と筆記試験）と定期試験（筆記試験）を合わせて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	随時、受け付けます。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】理学, 作業
担当教員			
鳥越 甲順			
演習		020304S1P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1 中枢神経系と末梢神経系の基本構造と微細構造について専門用語で言える。 2 中枢神経系の構造について、臨床医学で用いられている画像をみて概略を言える。 3 脳神経について、名称と主な機能を言える。 4 運動路、知覚路について、脊髄神経の走行も含めて、専門用語で言える。 5 交感神経と副交感神経について、経路、機能を専門用語で言える。		
授業の概要	リハビリテーションにおいて重要な位置を占める運動器(骨格・関節・靱帯・筋肉等)と深く関与する神経系を学習し、それらの形態と機能を理解し、専門科目の学習のための基礎知識を修得する。さらに人体そのものの理解に努めることを目指す。また、生体反応に深く関わる自律神経系についての理解を深め、その障害によりどのような症状が現われるのかについて考える。		
授業計画	第1回	神経の概観（手稿本 第1章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第2回	脊髄の概観（手稿本 第1章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第3回	脊髄と脊髄神経、神経叢（手稿本 第1章）、脳の概観（手稿本 第2章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第4回	大脳基底核（手稿本 第3章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第5回	間脳（手稿本 第5章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第6回	脳幹その1 中脳（手稿本 第2章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第7回	脳幹その2 橋（手稿本 第2章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第8回	脳幹その3 延髄（手稿本 第2章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第9回	運動路と運動調整系（手稿本 第3章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第10回	知覚路（手稿本 第4章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。	
	第11回	知覚受容器（手稿本 第4章） 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。	

	第12回 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。 自律神経系 副交感神経(手稿本 第5章) 第13回 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。 自律神経系 交感神経(手稿本 第5章) 第14回 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。 辺縁系(手稿本 第6章)、脳室系と脳脊髄液(手稿本 第6章) 第15回 事前学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。 脳の血管系(手稿本 第7章) 事後学習(2時間)：本日の授業内容について、手稿本の指定した章の図を見て、あらかじめイメージを高めておく。 事後学習(2時間)：授業を聞いて得た知識を確かめる目的で、手稿本の指定した章の図を理解したうえで、指定した演習問題を解いてください。そして、次回の中テストに備えてください。 定期試験
テキスト	鳥越甲順著 手稿本 臨床解剖学：神経編 2021年
参考書・参考資料等	解剖学演習III 演習問題を随時、配布 井上貴央 監訳：カラー人体解剖学、西村書店、2003年 適時、資料を配布する。
学生に対する評価	数回の中テスト(手稿本の図、供覧する資料、および、演習問題)と定期試験(筆記試験)を合わせて評価する。
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	随時、応じます。
備考	ヒト脳の観察と臨床医学への橋渡しを重視した神経解剖学の長年の教育経験を踏まえて講義する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
猪口 徳一			
講義	A T対象科目	020305LIP0SA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	生理学とは「生きていること、生きるための体の機能」を理解する学問分野である。人体を構成する60兆個の細胞は一定の機能を持つ細胞が集まり、組織や器官を形成している。さらに、それらが協働し、循環器系、神経系などの生きるための機能を発揮している。これら生命機能について分子・細胞・組織・器官といった個々のレベルで理解し説明できること、個々の生命機能が如何にして相互作用し、集約・統合されて、正常な体の機能とその恒常性維持に働いているかについて理解・説明できることを目標とする。		
授業の概要	人体を構成する細胞の機能に始まり、細胞が集まって構成される器官、臓器の機能、それらの相互作用や統合によって支えられる正常な体の機能とその恒常性維持の仕組みについて解説する。本講義において特に、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、代謝・体温、の働きについて解説する。また、普段、われわれの体で起きている生理現象についての事例や、病態における生理現象についてグループワークで問題に取り組み、科学的思考能力や発表能力を養う。		
授業計画	第1回	〈生理学とは〉生体の恒常性とは何かが説明できる。細胞の機能を説明できる。(教科書 p1～9) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 専用のノートを作り、授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第2回	〈血液と体液〉血液と体液の働きについて説明できる。(p11～27) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第3回	血液と体液に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (4.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第1回～2回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと	
	第4回	〈循環1〉心臓の働きについて説明できる。(p29～40) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第5回	〈循環2〉血管系の働きについて説明できる。(p40～53) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第6回	循環系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (4.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第4回～5回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと	
	第7回	〈呼吸1〉呼吸運動、換気量について説明できる。(p55～63) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第8回	〈呼吸2〉血液ガス運搬、呼吸調節について説明できる。(p63～75) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第9回	呼吸器系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (4.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第7回～8回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと	
	第10回	〈消化と呼吸〉食物を消化、吸収する働きについて説明できる。(p77～98) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第11回	〈尿の生成と排泄〉腎臓と膀胱の働きについて説明できる。(p99～118) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第12回	消化器系、泌尿器系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (4.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第10回～11回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと	
	第13回	〈代謝・体温〉エネルギー代謝と体温調節について説明できる。(p119～149) 事前学習 (2.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (2.0時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	

	と 第14回 エネルギー代謝と体温調節に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習（4.0時間）：教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第13回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと 第15回 第1回から第14回までの講義の内容を統合的に理解し、説明できる 事前学習（2.0時間）：これまでの学修で解いてきた教科書のstarter questionと、自身のノートを見て、重要事項の確認をしておくこと 事後学習（2.0時間）：これまでの学修で作成してきたノートを完成させること 定期試験
テキスト	彼末一之・能勢博 著：やさしい生理学 第7版、南江堂
参考書・参考資料等	毎回事前に配信する講義資料ファイル カラー図解 人体の正常構造と機能 第4版、日本医事新報社 シンプル生理学 第8版、南江堂 カスタム明解生理学 原著第6版、エルゼビア・ジャパン株式会社 ギャノン生理学、丸善
学生に対する評価	問題演習・発表への取り組み20%、筆記試験80%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	面談、メールにて随時可能
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
猪口 徳一			
講義		020306L1P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	生理学とは「生きていること、生きるための体の機能」を理解する学問分野である。人体を構成する60兆個の細胞は一定の機能を持つ細胞が集まり、組織や器官を形成している。さらに、それらが協働し、循環器系、神経系などの生きるための機能を発揮している。これら生命機能について分子・細胞・組織・器官といった個々のレベルで理解し説明できること、個々の生命機能が如何にして相互作用し、集約・統合されて、正常な体の機能とその恒常性維持に働いているかについて理解・説明できることを目標とする。		
授業の概要	人体を構成する細胞の機能に始まり、細胞が集まって構成される器官、臓器の機能、それらの相互作用や統合によって支えられる正常な体の機能とその恒常性維持の仕組みについて解説する。本講義において特に、内分泌系、運動器系、神経系、感覚系、生殖系、の働きについて解説する。また、普段、われわれの体で起きている生理現象についての事例や、病態における生理現象についてグループワークで問題に取り組み、科学的思考能力や発表能力を養う。		
授業計画	第1回	〈内分泌1〉 ホルモンの働きについて説明できる。 視床下部・下垂体ホルモンについて説明できる。(教科書 p 151～162) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 専用のノートを作り、授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第2回	〈内分泌2〉 副腎、膵臓、甲状腺と上皮小体のホルモンについて説明できる。(p 162～170、p 301～310) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第3回	〈生殖〉 生殖系の働きについて説明できる。(p 171～187) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第4回	内分泌・生殖に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (1.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第1回～3回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと	
	第5回	〈筋収縮〉 筋収縮について説明できる。(p 189～202) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第6回	〈神経系の基礎〉 神経を介する信号の伝わり方について説明できる。(p 203～217) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第7回	〈自律神経系〉 自律神経系の働きについて説明できる。(p 219～240) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第8回	神経伝達と自律神経系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (1.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第5回～7回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと	
	第9回	〈脳〉 脳の高次機能について説明できる。(p 241～258) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第10回	〈運動の調節〉 運動調節に関わる脳部位の機能について説明できる。(p 283～299) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第11回	脳の高次機能、運動系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習 (1.0時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第9回～10回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめておくこと	
	第12回	〈感覚1〉 感覚の一般的性質と視覚の働きについて説明できる。(p 259～267) 事前学習 (0.5時間) : 教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習 (0.5時間) : 授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと	
	第13回	〈感覚2〉 聴覚、平衡感覚、皮膚感覚、味覚、嗅覚について説明できる。(p 267～281)	

	事前学習（0.5時間）：教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと 事後学習（0.5時間）：授業で学習した範囲の教科書各章にあるstarter questionを解いておくこと 第14回 感覚系に関する問題演習・発表を行い理解を深める。 事前学習（1.0時間）：教科書の該当範囲を事前に通読し不明な点を明確にしておくこと、第12回～13回の授業範囲のグループワークの準備としてstarter questionの解答をノートにまとめること 第15回 第1回から第14回までの講義内容を統合的に理解し、説明できる。 事前学習（0.5時間）：これまでの学修で解いてきた教科書のstarter questionと、自身のノートを見て、重要事項の確認をしておくこと 事後学習（0.5時間）：これまでの学修で作成してきたノートを完成させること 定期試験
テキスト	彼末一之・能勢博 著：やさしい生理学 第7版、南江堂
参考書・参考資料等	毎回事前に配信する講義資料ファイル カラー図解 人体の正常構造と機能 第5版、日本医事新報社 シンプル生理学 第8版、南江堂 コストanzo明解生理学 原著第7版、エルゼビア・ジャパン株式会社 ギャノン生理学 第26版、丸善
学生に対する評価	問題演習・発表への取り組み20%、筆記試験80%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	面談、メールにて随時可能
備考	

講義科目名称： 運動学

授業コード： 200700A

英文科目名称： Kinematics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】理学, 作業
担当教員			
村田 寛一郎			
講義		020307L1P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	身体運動の理解に必要な物理学や生体力学の知識を習得して生体の構造や機能について理解を深め、理学療法 の専門科目を学ぶ基礎とする。		
授業の概要	身体運動メカニズムを理解する上で必要な運動学を学習する。まず、生体力学の基礎を学び、それを元に、生体の構造と機能、四肢と体幹の運動へと学習を進める。理学療法学、作業療法学においては、障害者の異常動作を運動学に基づいて解析することで、メカニズムを理解し治療に応用する。運動動作分析の基礎を学ぶとともに障害者の体力を評価する手法、運動処方についても知る。 運動学の定義と領域を理解し、力学的視点で身体運動を捉える。神経筋骨格系の基本構造および機能を理解する。頭部、体幹の運動学的特徴を理解する。四肢の運動学的特徴を理解する。姿勢制御と歩行の運動学および運動力学的特徴を理解する。運動学習の概念と基礎を理解する。		
授業計画	第1回	運動学の定義、運動学と理学療法、骨の運動と関節副運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p1~16、基礎運動学テキスト：p3~10）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第2回	生体力学、力とは、力の釣り合い、テコとモーメント 事前学習：テキスト（基礎運動学：p159~192、基礎運動学テキスト：p10~30）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第3回	力と速度、加速度、仕事、仕事率 事前学習：テキスト（基礎運動学：p159~192、基礎運動学テキスト：p10~30）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第4回	関節の構造と種類、骨格筋の構造と種類、収縮のメカニズム、筋線維タイプ 事前学習：テキスト（基礎運動学：p36~58、基礎運動学テキスト：p31~45）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第5回	神経系の構造と機能と反射 事前学習：テキスト（基礎運動学：p36~58、基礎運動学テキスト：p31~45）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第6回	顔面・咀嚼・嚥下の運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p275~278、基礎運動学テキスト：p63~76）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第7回	脊柱の運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p253~275、基礎運動学テキスト：p77~94）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第8回	頭部と頸椎の運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p253~266、基礎運動学テキスト：p77~94）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第9回	胸椎および腰椎の運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p266~275、基礎運動学テキスト：p77~94）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第10回	胸郭と呼吸運動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p266~271、基礎運動学テキスト：p95~106）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第11回	肩複合体の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p194~206、基礎運動学テキスト：p107~120）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第12回	肩複合体の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p194~206、基礎運動学テキスト：p107~120）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	
	第13回	肘および前腕の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p206~210、基礎運動学テキスト：p121~130）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）	

	第14回	肘および前腕の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p206~210、基礎運動学テキスト：p121~130）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第15回	手根および手の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p210~227、基礎運動学テキスト：p131~149）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第16回	手根および手の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p210~227、基礎運動学テキスト：p131~149）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第17回	骨盤および股関節の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p227~236、基礎運動学テキスト：p151~164）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第18回	骨盤および股関節の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p227~236、基礎運動学テキスト：p151~164）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第19回	膝関節の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p237~241、基礎運動学テキスト：p165~178）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第20回	膝関節の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p237~241、基礎運動学テキスト：p165~178）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第21回	下腿、足根および足部の機能解剖 事前学習：テキスト（基礎運動学：p242~252、基礎運動学テキスト：p179~194）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第22回	下腿、足根および足部の運動と運動に作用する筋 事前学習：テキスト（基礎運動学：p242~252、基礎運動学テキスト：p179~194）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第23回	姿勢とは、姿勢の安定性の要因、姿勢の分類 事前学習：テキスト（基礎運動学：p176~179・p299~332、基礎運動学テキスト：p227~238）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第24回	立位姿勢の安定性と筋活動 事前学習：テキスト（基礎運動学：p176~179・p299~332、基礎運動学テキスト：p227~238）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第25回	立位姿勢における重心動揺と安定性限界 事前学習：テキスト（基礎運動学：p299~332、基礎運動学テキスト：p227~238）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第26回	歩行周期および歩行における各体節の運動（各関節の角度変化） 事前学習：テキスト（基礎運動学：p363~388、基礎運動学テキスト：p246~259）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第27回	歩行の運動力学的特徴（床反力、関節モーメント、筋活動） 事前学習：テキスト（基礎運動学：p363~388、基礎運動学テキスト：p246~259）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第28回	小児および高齢者の歩行の特徴 事前学習：テキスト（基礎運動学：p388~392）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第29回	運動学習およびその特徴 事前学習：テキスト（基礎運動学：p455~488）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分）
	第30回	運動学習と運動技能の関係、運動学習に影響する要因とその効果 事前学習：テキスト（基礎運動学：p455~488）を読み、講義内容について調べておく（30分） 事後学習：ノートおよび配布資料等で講義内容を振り返り理解を深める（30分） 定期試験
	テキスト	・細田多穂監修，藤縄理他編：シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ 基礎運動学テキスト，南江堂，2025 ・中村隆一他：基礎運動学 第7版，医歯薬出版，2025。 ・配布資料
	参考書・参考資料等	・D. A. Neuman(著)，P. D. Andrew，有馬慶美，日高正巳(監訳)：筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版. 医歯薬出版，2018 ・A. I. Kapandji (著)，塩田 悦仁(翻訳)：カラー版 カパンジー機能解剖学 I 上肢 原著第6版. 医歯薬出版，2006 ・A. I. Kapandji (著)，塩田 悦仁(翻訳)：カラー版 カパンジー機能解剖学 II 下肢 原著第6版. 医歯薬出版，2010

	・A. I. Kapandji (著), 塩田 悦仁 (翻訳): カラー版 カパンジー機能解剖学 III 脊柱・体幹・頭部 原著第6版. 医歯薬出版, 2007 ・その他、解剖学の教科書、解剖学参考書
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	病院での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

講義科目名称： 運動学演習(バイオメカニクス)OT

授業コード： 200800B

英文科目名称： Seminar in Kinematics (Biomechanics)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
佐々木 孝次			
演習		020308S2POA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	この演習を通して、上肢、下肢、体幹の関連した動きを理解する。		
授業の概要	四肢・体幹の運動学を基礎として、人間の動きを運動・動作分析の手法を用いて解析する。運動・動作課題にともなう身体の動きを目で確かめ、手で触れ、さらに種々の動作分析機器を用いて計測を行い記録分析する。		
授業計画	第1回	生体力学の基礎（身体運動の面と軸、運動法則、仕事とエネルギー、身体とてこ） 事前学習（30分）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験に関する模範解答を作成すること	
	第2回	生体の構造と機能①（関節の構造と機能、骨格筋の構造と機能、筋収縮の様式） 事前学習（30分）：基礎運動学P67～88を読んでおく 事後学習（30分）：基礎運動学P67～88と配布資料と見直す	
	第3回	生体の構造と機能②（運動の中枢神経機構：反射運動、随意運動、運動学習） 事前学習（30分）：基礎運動学P117～154を読んでおく 事後学習（30分）：基礎運動学P117～154と配布資料と見直す	
	第4回	姿勢の種類および特長座位姿勢、立位姿勢、重心、立位姿勢と筋活動 事前学習（30分）：基礎運動学P347～378を読んでおく 事後学習（30分）：基礎運動学P347～378と配布資料と見直す	
	第5回	上肢帯と上肢の運動①（上肢帯と肩関節の運動） 事前学習（30分）：基礎運動学P215～224を読んでおく 事後学習（30分）：基礎運動学P215～224と配布資料と見直す	
	第6回	上肢帯と上肢の運動②（肘と前腕の運動） 事前学習（30分）：基礎運動学P224～228を読んでおく 事後学習（30分）：基礎運動学P224～228と配布資料と見直す	
	第7回	上肢帯と上肢の運動③（手関節と手の運動） 事前学習（30分）：基礎運動学P229～245を読んでおく 事後学習（30分）：基礎運動学P229～245と配布資料と見直す	
	第8回	下肢帯と下肢の運動①（下肢帯と股関節の運動） 事前学習（30分）：基礎運動学P246～256を読んでおく 事後学習（30分）：基礎運動学P246～256と配布資料と見直す	
	第9回	下肢帯と下肢の運動②（膝関節の運動、足関節と足の運動） 事前学習（30分）：基礎運動学P256～271を読んでおく 事後学習（30分）：基礎運動学P256～271と配布資料と見直す	
	第10回	体幹の運動①（頭部の運動、体幹の運動） 事前学習（30分）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験に関する模範解答を作成すること	
	第11回	体幹の運動②（呼吸器） 事前学習（30分）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験に関する模範解答を作成すること	
	第12回	歩行①（歩行周期、重心移動、関節運動、床反力） 事前学習（30分）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験に関する模範解答を作成すること	
	第13回	歩行②（異常歩行） 事前学習（30分）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験に関する模範解答を作成すること	
	第14回	歩行③（異常歩行） 事前学習（30分）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験に関する模範解答を作成すること	
	第15回	運動学習 事前学習（30分）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験に関する模範解答を作成すること	
	定期試験		
テキスト	・中村隆一他：基礎運動学 第7版，医歯薬出版，2025年出版		
参考書・参考資料等	・藤縄理他：運動学テキスト 改訂第2版，南江堂，2015年出版 ・月城慶一他：観察による歩行分析，医学書院，2005年出版		
学生に対する評価	筆記試験100% 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する		
課題（試験やレポート）	月～金曜の午前9時から午後5時まで随時受け付けます。		

	事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第14回 競技特性を含め、様々な環境や状況に合わせたトレーニング計画立案ができる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第15回 競技特性を含め、様々な環境や状況に合わせたトレーニング効果の検証方法が説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） レポート試験
テキスト	①アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト②スポーツ科学概論
参考書・参考資料等	①Reference Book（公益財団法人日本スポーツ協会 発刊）
学生に対する評価	レポート試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 病院およびクリニック等で、理学療法の実務経験を有し、その経験を踏まえ、授業を実施していく

講義科目名称： 人間発達学

授業コード： 200900A

英文科目名称： Human Development

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
青井 利哉・蓑輪 千帆			
講義	AT&初級障がい者スポーツ指導員 対象科目(理学・作業・言語)	020309LIPOSA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	人間の発達とは、受胎、胎生期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老人期、死というライフステージに分けられる。障害のある人への支援を行う専門職には、そうしたライフステージの特徴を踏まえつつ、支援を行うことが求められている。そのため、各ライフステージを身体的・心理的・社会的諸相が全体としてダイナミックに変化していくプロセスとして説明できることを到達目標とする。		
授業の概要	人間を生涯にわたり発達する存在としてとらえ、生命の誕生から小児期、青年期、成人期(老年期)を経て死に至るまでの量的・質的变化について学ぶ。ライフステージの各時期に発現する行動を広く、深く理解し、各時期に生じやすい発達上あるいは健康上の課題とその解決法について考える。		
授業計画	第1回	総論（担当：青井利哉） 人間発達について、発達要因、発達の基本原則、臨界期、発達段階の各視点から説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp2-6に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第2回	発達の要因（担当：青井利哉） 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp15-30に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第3回	発達理論（担当：青井利哉） 運動発達の理論（神経成熟理論）を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp12-14に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第4回	人間発達の見方（担当：青井利哉） 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp15-30に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第5回	発達検査の進め方（担当：青井利哉） 発達評価の視点や進め方を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp248-259に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第6回	胎児期・新生児期の発達（担当：蓑輪 千帆） 胎児期、新生児期の正常発達について、その発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp15-30に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第7回	乳児期の発達（担当：蓑輪 千帆） 乳児期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp31-50に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第8回	幼児期前期・後期の発達（担当：蓑輪 千帆） 幼児期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp51-68に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第9回	学童期の発達（担当：蓑輪 千帆） 学童期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp69-84に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第10回	青年期の発達（担当：蓑輪 千帆） 青年期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp85-102に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	
	第11回	成人期の発達（担当：蓑輪 千帆） 成人期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp103-116に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間）	

	第12回 老年期の発達（担当：蓑輪 千帆） 老年期の身体、運動、認知、言語、情緒および社会性の発達学的特徴を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp117-134に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間） 第13回 身体運動機能と構造の発達（担当：蓑輪 千帆） 身体構造の成長、発達の概要を理解し説明できる。 身体機能の獲得過程のうち、特に出生から歩行獲得までの粗大運動と手の巧緻機能の発達過程を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp175-194に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間） 第14回 知覚・認知機能の発達（担当：蓑輪 千帆） 知覚および認知機能の発達を、能力の変化と処理方略の変化の両面から理解し説明できる。 知覚および認知機能の下位領域の発達と、その障害の概要を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp195-214に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間） 第15回 情緒・社会性の発達（担当：蓑輪 千帆） 各発達段階における情緒、社会性の発達を理解し説明できる。 情緒、社会性の発達の特性に応じた評価法を理解し説明できる。 事前学習：教科書（リハビリテーションのための人間発達学 第3版）pp231-246に目を通しておくこと（2時間） 事後学習：授業で示した重要ポイントの学習（2時間） 定期試験
テキスト	大城昌平（編集）：リハビリテーションのための人間発達学 第3版，株式会社メディカルプレス，2021
参考書・参考資料等	福田恵美子編著：人間発達学(コメディカルのための専門基礎分野テキスト)、中外医学社、2012 鈴木光太郎著：ヒトの心はどう進化したのかー狩猟採集生活が生んだもの、筑摩書房、2013 細田多穂監修：人間発達学テキスト(シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ)、南江堂、2014 服部祥子著：生涯人間発達論、医学書院、2010 公益財団法人 日本スポーツ協会（編）：Reference Book, 2019 山田弘幸（編著）：言語聴覚士のための心理学、医歯薬出版、2012 （公財）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本，株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	筆記試験100%（蓑輪70%，青井30%）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	青井：月・木・金の9時から12時、火・水の13時から17時 蓑輪：月曜日～金曜日 研究室在室時、随時
備考	青井：小中学校でのスクールカウンセラー実務経験を基に、当講義を進める。 蓑輪：病院で発達障害児への作業療法を実践した経験を基に、当講義を進める。 ※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替

講義科目名称： 臨床心理学

授業コード： 201000A

英文科目名称： Clinical Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
青井 利哉			
講義		020401L3P0S	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	臨床心理学の実践的知識、カウンセリングや心理療法などの技能の体系的な学習を通して、医療機関や福祉施設で対人援助サービスを行うための基本的な態度や心構えを身に付ける。		
授業の概要	臨床心理学とは、心理学を中心とした知識や理論を用いて、こころの問題を抱えたり、さまざまな生活上の問題に苦しむ人たちの現状と背景を理解し、その援助について研究・実践する学問である。本講義では人間理解の手がかりとなる諸理論を学び、人が適応・成長するとはどういうことかを考える。また、心理検査、心理療法の基本的な成り立ちについて説明する。講義の後半では、基本的な心理的介入の技法について、演習も交えながらできる限り具体的に伝えたい。さらに臨床心理学の実践領域のいくつかを取り上げ、それぞれの対象者や留意点について学ぶ。		
授業計画	第 1 回	臨床心理学とはなにか 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 2 回	心理的問題とその影響 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 3 回	ライフサイクルに伴う心の問題 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 4 回	フロイトの精神分析学と力動的心理療法 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 5 回	クライアント中心療法 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 6 回	学習理論と行動療法 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 7 回	遊戯療法の原理と実際 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 8 回	心理学的アセスメントについての理解 ①診断 見立て 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第 9 回	心理学的アセスメントについての理解 ②心理検査（知能検査、発達検査） 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第10回	心理学的アセスメントについての理解 ③心理検査（性格検査） 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第11回	カウンセリングの基礎 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第12回	カウンセリングの実践 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第13回	臨床心理学が関連する領域 ①医療・福祉 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2 時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2 時間）	
	第14回	臨床心理学が関連する領域 ②教育	

	第15回 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 事例の紹介とまとめ 事前学習：前回の授業の最後に紹介した用語について、参考書などで意味を調べておく（2時間） 事後学習：事前学習で調べた用語を、授業で理解したことも含めまとめる。（2時間） 定期試験
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリントを配布する
参考書・参考資料等	松井豊(監修), 杉江征(編集), 青木佐奈枝(編集) スタンダード臨床心理学 サイエンス社 2015 本城秀次, 河野莊子, 永田雅子, 金子一史 心理臨床における多職種との連携と協働 岩崎学術出版社 2015
学生に対する評価	筆記試験80%、講義中に指示する課題20%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日、水曜日の午後 研究棟2階教員室
備考	小中学校でのスクールカウンセラー実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
供田 文宏			
講義		020402L2P0S	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	日常のリハビリテーション実施において不可欠な内科的疾患の医学的情報や病気の成り立ちを理解する。呼吸器疾患、消化器疾患、循環器疾患、血液疾患における病態の把握、検査と診断の進め方、治療について学習する。		
授業の概要	リハビリテーションに必要な内科的疾患の概要、病態、診断、治療を学習し、治療法に関しては、疾病の病態、症状と理学・作業・言語聴覚療法との関係を理解する。疾患としては、呼吸循環系、循環器系、血液・造血系、消化器系の各種疾患について学ぶ。		
授業計画	第1回 呼吸器の解剖と生理、呼吸器疾患の症候および検査 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第2回 閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患の病態および治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第3回 肺炎、気管支拡張症、肺癌の病態および治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第4回 サルコイドーシス、気胸、肺水腫の病態および治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第5回 心臓血管系の解剖と生理、循環器疾患の症候および検査、心不全の症候および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第6回 不整脈の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第7回 虚血性心疾患と心臓弁膜症の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第8回 先天性心疾患、心筋症、心内膜炎、肺高血圧、肺性心の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第9回 高血圧症、大動脈疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第10回 食道、胃の疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第11回 小腸、大腸の疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第12回 肝臓疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第13回 胆道、膵臓、腹膜の疾患の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第14回 貧血の病態および検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間) 第15回 白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫、血小板減少および凝固異常の検査と治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)		
テキスト	寺野 彰著：シンプル内科学 改定第2版、南江堂出版、2017年出版		
参考書・参考資料等	特になし		
学生に対する評価	筆記試験 100%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	14時から17時に研究室6で随時受けつける。 講義中および終了時に適宜返答する。		

備考	担当教員は富山大学附属病院で従事した内科診療、急性期医療、病理検討業務の経験を基に、当講義を進める。 また、担当教員は富山大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。
----	---

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
供田 文宏・林 浩嗣			
講義		020403L2POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	日常のリハビリテーション実施において不可欠な内科学的疾患の医学的情報や病気の成り立ちを理解する。内科学の総論および腎尿路系疾患、電解質および酸塩基平衡の異常、代謝・内分泌疾患、小児疾患における病態の把握、検査と診断の進め方、治療について学習する。		
授業の概要	リハビリテーションに必要な内科学的疾病の概要、病態、診断、治療を学習し、治療法に関しては、疾病の病態、症状と理学・作業・言語聴覚療法との関係を理解する。 (オムニバス方式全15回) (供田文宏/12回) 成人における腎尿路系疾患、電解質および酸塩基平衡の異常、代謝・内分泌疾患について学ぶ。 (林 浩嗣/3回) 小児疾患について学ぶ。		
授業計画	第1回	病気の成り立ち、生命徴候、検査と治療の概要 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第2回	腎臓の解剖と生理、腎臓疾患の検査 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第3回	急性腎障害と慢性腎不全の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第4回	糸球体腎炎、慢性腎臓病、ネフローゼ症候群の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第5回	間質性腎炎と全身性疾患による腎障害の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第6回	尿管・膀胱・前立腺の疾患の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第7回	水・電解質代謝および酸塩基平衡の異常における病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第8回	視床下部・下垂体疾患、甲状腺の疾患での病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第9回	副甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患での病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第10回	糖尿病の概念、病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第11回	糖尿病の急性合併症と慢性合併症の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第12回	脂質代謝異常と尿酸代謝異常の病態および検査、治療 (担当：供田 文宏) 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと (0.5時間) 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと (0.5時間)	
	第13回	小児の発達と成長、胎児医学と出生前医学 (担当：林 浩嗣) 事前学習：上記に該当する内容に関する資料を配布するので事前学習しておくこと (0.5時間)	

	第14回 事後学習：配布資料、課題で事後学習しておくこと（0.5時間） 周産期障害、脳性麻痺と運動器疾患、てんかんと痙攣性疾患の病態および治療 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容に関する資料を配布するので事前学習しておくこと（0.5時間） 事後学習：配布資料、課題で事後学習しておくこと（0.5時間） 第15回 小児の感染症、その他の疾患の病態および治療 （担当：林 浩嗣） 事前学習：上記に該当する内容に関する資料を配布するので事前学習しておくこと（0.5時間） 事後学習：配布資料、課題で事後学習しておくこと（0.5時間）
テキスト	寺野 彰著：シンプル内科学 改定第2版、南江堂出版、2017年出版
参考書・参考資料等	特になし
学生に対する評価	供田文宏：筆記試験のみ 80% 林 浩嗣：筆記試験のみ 20%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	供田文宏：14時から17時に研究室6で随時受けつける。講義中および終了時に適宜返答する。 林 浩嗣：講義中および終了時に適宜返答する。
備考	【実務経験について】 供田文宏：富山大学附属病院で従事した内科診療、急性期医療、病理検討業務の経験を基に、当講義を進める。 また、富山大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。 林 浩嗣：福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務(勤務)経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

講義科目名称： 臨床神経学

授業コード： 201300A

英文科目名称： Clinical Neurology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
佐藤 万美子			
		020404L1P0S	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	主要な神経症候の診かたと正確な神経学的検査法を学習する。		
授業の概要	神経疾患に関する正確な知識を得るために、神経解剖、局所解剖、病態生理をもとに神経症候について理解する。また、主要な神経症候の診かたと正確な神経学的検査法を学習することで、各種神経疾患の診断に結びつく基礎を身につける。		
授業計画	第1回	病歴のとりかた、診察の順序 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第2回	運動機能の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第3回	運動麻痺の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第4回	反射の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第5回	感覚・感覚障害の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第6回	脳神経の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第7回	脳神経障害の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第8回	精神状態の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第9回	意識障害患者の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第10回	小脳機能の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第11回	小脳障害の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第12回	不随意運動の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第13回	失語、失行、失認の診かた 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第14回	局在診断のすすめ方 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	

	第15回 重要点の補充 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 定期試験
テキスト	病気がみえるvol.7 脳・神経：メディックメディア
参考書・参考資料等	配布資料
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	【実務経験について】 大学病院、一般病院において、神経内科医・リハビリテーション科医としての実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

講義科目名称： 臨床神経学演習

授業コード： 201400A

英文科目名称： Seminar in Clinical Neurology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
佐藤 万美子			
演習		020405S2P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	各種神経疾患の病因、病理、病状、経過、検査診断、治療に至るまでを学習する。		
授業の概要	臨床神経学で学んだ神経症候の解剖学的背景や補助検査について理解する。さらに各種神経疾患の症状や特徴的所見について学び、神経学的診察から診断に至る過程を理解する。		
授業計画	第1回	解剖 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第2回	神経細胞、伝導路 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第3回	運動の調節 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第4回	大脳・脳幹 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第5回	高次脳機能障害 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第6回	遺伝 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第7回	脳血管障害 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第8回	頭部外傷・脳腫瘍 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第9回	感染症 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第10回	神経変性疾患 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第11回	認知症・頭痛・てんかん 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第12回	神経・筋接合部疾患 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第13回	末梢神経障害 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第14回	重要点の補充(1) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第15回	重要点の補充(2)	

	事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 定期試験
テキスト	病気がみえるvol.7 脳・神経：メディックメディア
参考書・参考資料等	配布資料
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	【実務経験について】 大学病院、一般病院において、神経内科医・リハビリテーション科医としての実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

講義科目名称： 整形外科学

授業コード： 201500A

英文科目名称： Orthopedics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
棚橋 瑛			
講義	A T 対象科目		020406L1POA
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	四肢外傷、脊椎疾患と外傷、脊髄疾患と脊髄損傷、末梢神経の疾患と損傷、神経筋疾患、膠原病、アレルギー・免疫疾患、内分泌・代謝・栄養疾患等のリハビリテーション医学と密接な関係にある整形疾患についての理解を深める。
授業の概要	整形外科の基礎を理解するために、整形外科的診断法、整形外科的治療手技、手術法、機能障害の回復を目的とした機能再建術等について学ぶ。
授業計画	第1回 整形外科疾患で必要な解剖を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第2回 肩関節疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第3回 肘関節疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第4回 手関節および手指の疾患、足関節および足部の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第5回 股関節疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第6回 膝関節疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第7回 骨折の性状、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第8回 腰椎疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第9回 頸椎・胸椎疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第10回 骨端症、骨系統疾患を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第11回 四肢切断・末梢循環障害を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第12回 骨代謝性疾患の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第13回 骨軟部腫瘍の病態、検査、治療法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 第14回 関節リウマチおよびリウマチ類縁疾患を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）

	第15回 まとめ・国家試験問題の演習など。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 定期試験
テキスト	鳥巢 岳彦・国分 正一編：標準整形外科学, 医学書院, 2005
参考書・参考資料等	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト2 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 日本スポーツ協会 2022発刊)
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 【実務経験について】 病院で急性期病棟や手術室で勤務した経験を基に、当講義を進める。 整形外科医での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

講義科目名称： スポーツ整形外科

授業コード： 201600A

英文科目名称： Sports Orthopedics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
小坂 正裕			
講義	A T 対象科目		020407L1POA
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	本講義では、理学療法士・作業療法士・アスレティックトレーナーが、臨床やスポーツの現場で活動を行う上で必要となるスポーツに伴う外傷・障害の基礎的知識について理解することを目標とする。		
授業の概要	上肢・下肢・体幹の主なスポーツ外傷・障害の病態・評価方法・治療の基本、重篤な外傷、および、性差や年齢によるスポーツ外傷・障害の特徴に関する知識を習得することをねらいとして授業を行う。		
授業計画	第1回	スポーツ医学・整形外科の総論について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp2～p27に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第2回	頸部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp62～p68に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第3回	腰部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp76～p80に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第4回	肩関節・上腕のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp81～p91に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第5回	肘関節のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp92～p96に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第6回	前腕・手・手指のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp97～p122に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第7回	骨盤・股関節のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp123～p127に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第8回	大腿部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp128～p132に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第9回	膝関節・下腿部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp133～p158に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第10回	膝関節・下腿のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp133～p158に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第11回	足関節・足部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp159～p175に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第12回	足関節・足部のスポーツ外傷・障害について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp159～p175に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第13回	頭部・胸腹部のスポーツ外傷について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp54～p61、p69～p75に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	
	第14回	顔面のスポーツ外傷について基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp176～p194に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間）	

	第15回 性別・年齢によるスポーツ外傷・障害の特性およびメディカルチェックについて基本的な知識を習得できる 事前学習：テキストp258～p275に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（0.5時間） 定期試験
テキスト	アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト3 スポーツ医学概論 監修 河野一郎 他 2024
参考書・参考資料等	鳥巢岳彦／国分正一：標準整形外科学第9版，医学書院 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト2 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防（日本スポーツ協会 2022発行）
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 【実務経験について】 大学病院や一般病院において、外来・病棟や手術室で勤務した経験をもとに当講義を進める。 整形外科での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
小俣 直人			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学・作業・言語)	020408L1POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	精神と行動の障害における病態、診断などに関する基本的な知識を習得し理解することを目的とする。		
授業の概要	精神医学の概念を学び、精神症状の特徴を理解する。疾患としては、統合失調症、躁うつ病、てんかんを中心にその評価診断法、治療法を学ぶ。 精神医学とは、精神疾患の診断・治療を担当すると同時に、精神症状で苦しんでいる人々のこころを理解し、必要な援助を行うことである。対象となる患者の身体のみならず精神状態や、おかれている社会的状況を正確に把握する資質を養うことも重要である。また精神障害者が地域社会で生活するうえでのリハビリテーションについても理解することが肝要である。		
授業計画	第1回	精神疾患の分類、精神症状学 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第2回	面接、精神療法 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第3回	認知症 1 (総論、変性性認知症) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第4回	認知症 2 (脳血管性認知症)、発達障害 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第5回	てんかん 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第6回	薬物・アルコール依存 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第7回	統合失調症 1 (症状、診断) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第8回	統合失調症 2 (治療) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第9回	気分障害 1 (うつ病) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第10回	気分障害 2 (双極性障害) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第11回	神経症 1 (不安障害など) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第12回	神経症 2 (解離性障害、身体表現性障害など) 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	
	第13回	睡眠障害、摂食障害 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。(30分) 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。(30分)	

	第14回 パーソナリティ障害、性同一性障害、自殺 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。（30分） 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。（30分） 第15回 精神保健福祉と司法精神医学 事前学習：参考書等を使用して学習テーマの概略を掴んでおくこと。（30分） 事後学習：プリントを、最後に記載した「まとめ」の内容を参照しながら見返して、学習テーマの要点を確認すること。（30分） 定期試験
テキスト	プリント
参考書・参考資料等	飯高哲也編：メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 精神医学、理工図書 （公益）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）（株）ぎょうせい
学生に対する評価	定期試験（筆記試験）90%、修学態度 10%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および講義終了後に適宜返答する。
備考	精神科病棟や精神科外来で勤務した経験を基に、当講義を進める。 精神科医での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

講義科目名称： 病理学

授業コード： 201800A

英文科目名称： Pathology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
供田 文宏			
講義		020409L1P0S	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	医療に関わる者として、疾病の原因（etiology）と発症機序（pathogenesis）について学び、患者の生活機能の欠落がどのようにして起こってきたのかを十分に理解し、理学療法・作業療法及び言語療法に役立てることを目標とする。		
授業の概要	病理学は疾病(病気)の特性を形態像から理論的に体系づけた学問であり、具体的には疾病の原因、病態、経過、予後などを学習する。病理学総論と各論に分けて行う。 総論では、萎縮、変性、壊死、代謝障害、肥大、再生、肉芽組織と創傷治癒、化生、移植、異物の処理、循環、貧血、充血、鬱血、出血、ショック、血栓症、塞栓症、梗塞症、体液循環障害、炎症、自己免疫疾患、炎症、腫瘍等について、理解を深める。 また、各論では、それぞれの症状がみられる疾患について学習し、診断と治療法について学ぶ。		
授業計画	第1回 刺激や障害に対する細胞・組織の病理変化 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第2回 出血、浮腫、血栓・塞栓症の病態と病理変化 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第3回 ショックと高血圧の病態と病理変化 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第4回 生体の免疫機構とその異常 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第5回 炎症と自己免疫性疾患 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第6回 感染症の発症機序、検査および治療 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第7回 細菌・ウイルス・結核菌の感染症の特徴と形態異常 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第8回 先天異常と腫瘍の発症機序と病理変化 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）		
テキスト	寺野 彰著：シンプル内科学 改定第2版、南江堂出版、2017年出版 小林正伸ら著：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的なしくみ、南山堂出版、2017年（第2版）出版		
参考書・参考資料等	特になし		
学生に対する評価	筆記試験 100%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	14時から17時に研究室6で随時受けつける。 講義中および終了時に適宜返答する。		
備考	担当教員は富山大学附属病院で従事した内科診療、急性期医療、病理検討業務の経験を基に、当講義を進める。 また、担当教員は富山大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。		

講義科目名称： リハビリテーション医学診断学

授業コード： 201900A

英文科目名称： Medical Diagnosis in Rehabilitation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学、作業、言語
担当教員			
林 浩嗣			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(言語)	020410L2POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	・障害の診断方法を理解し、評価できるようにする。 ・障害に関係する診断技術について理解する。		
授業の概要	リハビリテーション医学は様々な疾患により発生した、身体的、心理的障害に対して、正しい診断と評価を行い、早期の社会復帰を目標に行う医療である。リハビリテーションで行われている評価手技（医用画像を含む）を理解し、代表的疾患についてのリハビリテーション医学診断学の基礎的知識を獲得する。また日本におけるリハビリテーション専門医制度を理解し、急性期リハビリテーション、回復期リハビリテーション、維持期リハビリテーションにおける専門医とのかかわりについて学ぶ。		
授業計画	第1回 運動障害の仕組みについて理解する。疼痛の評価について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第2回 循環について理解する。呼吸について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第3回 小児の発達を評価できる。失語症と構音障害について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第4回 嚥下障害について理解する。患者の心理を理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第5回 高次脳機能障害について理解し評価できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第6回 排泄について理解し治療できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第7回 リハビリテーションに必要な画像を読影できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第8回 身体障がい・内部障がいについて理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）		
テキスト	配布資料		
参考書・参考資料等	千野直一監修：現代リハビリテーション医学 改訂第4版、金原出版、2017年 （公財）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本、株式会社ぎょうせい		
学生に対する評価	筆記試験 100%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。		
備考	【実務経験について】 福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。		

講義科目名称： リハビリテーション医学治療学

授業コード： 202000A

英文科目名称： Treatment of Rehabilitation Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】看護、理学、作業
担当教員			
林 浩嗣			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(看護)	020411L2PON	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	リハビリにおける基本的治療法について理解を深める。		
授業の概要	リハビリテーション医学における代表的疾患である脳卒中、脳性麻痺、脊髄損傷、慢性関節リウマチ、呼吸循環器障害に対する評価治療についての理解を深める。特に、それぞれの疾患に共通の合併症については、その発生機序、予防的観点（疾病及び障害の予防を中心とした第1次予防から第3次予防にかけての基礎を含む）について、症例を通して学習する。また虚弱老人に対する予防的側面を踏まえた転倒予防に関する取り組みについても学習する。		
授業計画	第1回 運動療法について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第2回 マッサージ・マニピュレーションの適応について理解する。物理的エネルギーを利用した治療を理解する。バイオフィードバックを理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第3回 牽引療法・水治療・電気治療について理解し実践できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第4回 神経ブロックについて理解する。基本動作訓練について理解し実践できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第5回 歩行障害について理解し治療できる。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第6回 作業療法・言語療法について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第7回 患者の心理について理解する。義肢装具療法の適応を理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間） 第8回 リハビリテーションに必要な機器について理解する。 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（2時間） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（2時間）		
テキスト	配布資料		
参考書・参考資料等	千野直一監修：現代リハビリテーション医学 改訂第4版、金原出版、2017年 （公財）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本、株式会社ぎょうせい		
学生に対する評価	筆記試験 100%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。		
備考	【実務経験について】 福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。		

講義科目名称： 臨床栄養学

授業コード： 206700A

英文科目名称： Clinical Nutrition

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】看護、理学、作業
担当教員			
大林 洋子・中島 有紀			
講義		020412L2PON	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	対象者の健康状態を把握し、その健康レベルに合わせて、健康生活の維持・増進・回復への援助について教授する。さらに、その中で必要となる栄養は、個人が抱える健康障害との関連も大きいため、多角的に栄養に関するアセスメントができるための基礎知識、療養生活と栄養、食事指導等について教授する。		
授業の概要	(オムニバス方式全8回) (中島有紀/4回) 栄養状態の評価と栄養摂取量、病院食の特徴と種類、摂食・嚥下障害や代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則と実際、高齢者の特徴と栄養の基本等について教授する。 (大林洋子/4回) 代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則と実際、妊産婦・小児の特徴と栄養の基本、褥瘡対策やNSTの活動等について教授する。		
授業計画	第1回	栄養状態の評価結果をもとに適切な改善策を考える事ができる。主な栄養素の働きと内容を理解できる。 (担当：中島 有紀) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中に行った問題の復習を行う（2時間）	
	第2回	高齢者の栄養管理の基本と摂食嚥下障害について理解できる。 (担当：中島 有紀) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中に行った問題の復習を行う（2時間）	
	第3回	病人食の分類と特徴、代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：中島 有紀) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中に行った問題の復習を行う（2時間）	
	第4回	代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：中島 有紀) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中に行った問題の復習を行う（2時間）	
	第5回	代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：大林 洋子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中に行った問題の復習を行う（2時間）	
	第6回	代表的な生活習慣病を含む各種疾患の栄養食事療法の原則を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：大林 洋子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中に行った問題の復習を行う（2時間）	
	第7回	術前・術後、癌患者の栄養管理、更年期・妊産婦・小児の栄養管理の基本を理解し、必要に応じて意義や特徴が説明できる。 (担当：大林 洋子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中に行った問題の復習を行う（2時間）	
	第8回	医療保険制度・介護保険制度と食事療養、NST活動について理解する。 (担当：大林 洋子) 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中に行った問題の復習を行う（2時間） 定期試験	
テキスト	・中村丁次他：系統看護学講座 別巻5 栄養食事療法, 医学書院		
参考書・参考資料等			

学生に対する評価	筆記試験：中島 有紀50%・大林 洋子50% (全ての教員の試験を受験した上で評価します。)
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	【実務経験について】 大林洋子：病院で急性期病棟などで勤務した経験を基に、当講義を進める。管理栄養士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。 中島有紀：管理栄養士での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

講義科目名称： 薬理学（リハ）

授業コード： 203000A

英文科目名称： Pharmacology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】理学, 作業
担当教員			
村松 郁延			
講義		020413L2P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	薬理学および薬物療法に関わる基本的な知識を習得し理解することを目標とする。		
授業の概要	医療において薬物療法は重要な治療法である。医療従事者は患者の状態をアセスメントし指導する上で、また、医療事故を防止するためにも薬物に関する知識が不可欠である。医療的ケアを行う上で必要な薬理の知識をまとめて学ぶ。 内容は、薬物の作用と体内動態、薬効に影響を及ぼす因子、薬物の相互作用と有害作用、末梢および中枢神経作用薬、循環器系作用薬、抗腫瘍薬、抗感染症薬 等である。		
授業計画	第1回 薬理学総論 — 薬理学の基本的考え方を理解する 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第2回 末梢神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第3回 末梢神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第4回 中枢神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第5回 中枢神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第6回 循環器神経作用薬の薬理 — 作用機序と臨床応用、副作用 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第7回 呼吸器作用薬、消化器作用薬、抗炎症薬の薬理 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第8回 抗感染症薬、抗腫瘍薬の薬理 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 定期試験		
テキスト	毎回、資料を提供する		
参考書・参考資料等	吉岡 充弘 他：系統看護学講座 薬理学, 医学書院, 2023		
学生に対する評価	レポート試験 100 %		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。		
備考			

講義科目名称： 救急処置

授業コード： 203600A

英文科目名称： Emergency Treatment

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】理学, 作業、言語
担当教員			
菅野 智也			
講義	A T対象科目	020414L1POSA	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	スポーツ現場における救急対応の考え方を理解し、外傷、障害の評価や基本的な救急対応について説明・実践できる。また、内科疾患に対する救急対応について説明・実践できる。		
授業の概要	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの役割における「救急対応」の位置づけを理解したうえで、医療資格保持者へ引き継ぐためにできる最高レベルの救急対応の実践的な知識、態度や技術を習得することをねらいとする。合わせて、スポーツ活動現場における救急対応の特性と意義を理解することをねらいとする。 具体的な目標を次のようにあげる。 スポーツ現場における救急対応の考え方を理解し、外傷、障害の評価や基本的な救急対応について説明・実践できる。 また、内科疾患に対する救急対応について説明・実践できる。		
授業計画	第1回 スポーツ現場と救急対応について 事前学習：テキストp2～p5を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第2回 救急対応の考え方について 事前学習：テキストp8～p11を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第3回 スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画について 事前学習：テキストp14～p19を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第4回 スポーツ現場における救急体制計画の実際について 事前学習：テキストp19～p27を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第5回 スポーツ現場での外傷・障害の初期評価について／スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画について 事前学習：テキストp30～p35を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第6回 スポーツ現場での外傷・障害における体位管理と保温、搬送法について 事前学習：テキストp36～p47を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第7回 スポーツ現場での外傷・障害における体位管理と保温、搬送法の実践 事前学習：テキストp36～p47を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第8回 創傷・出血における救急対応について 事前学習：テキストp50～p56を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第9回 創傷・出血における救急対応についての実践 事前学習：テキストp50～p56を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第10回 打撲・捻挫・肉離れの救急対応について 事前学習：テキストp57～p62を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第11回 心停止の病態と医学的留意事項・救急対応の意義について 事前学習：テキストp124～p129を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第12回 心停止の救急対応について 事前学習：テキストp129～p136を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第13回 心停止の救急対応の実践 事前学習：テキストp129～p136を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第14回 熱中症の救急対応について 事前学習：テキストp137～p150を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 第15回 スポーツでよくみられる内科的疾患の救急対応について 事前学習：テキストp151～p162を読んでおく。(時間30分) 事後学習：授業内容を復習し、ノート及び配布資料に整理する。(時間30分) 定期試験		
テキスト	配布資料		

参考書・参考資料等	Reference Book（公益財団法人日本スポーツ協会 発刊） ①公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第5巻 救急対応、2022
学生に対する評価	定期試験 レポート試験40%、筆記試験 60%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義前後に対応する
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 医療機関での実務経験を有しており、その経験を踏まえ講義で教授する。

講義科目名称： リハビリテーション概論

授業コード： 202700A

英文科目名称： Introduction to Rehabilitation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
堀 秀昭			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(理学・作業・言語)	020501LIP0S	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	リハビリテーションの概念について理解する。		
授業の概要	リハビリテーションの歴史、概念、理念および、その仕組みについて理解する。具体的にはリハビリテーションの定義から始まり、リハビリテーションの諸相である、医学的リハビリテーション（自立支援を含む）、教育的リハビリテーション、職業的リハビリテーション（就労支援を含む）、社会的リハビリテーション（地域包括ケアシステムを含む）の違いについて学習する。また、障害の分類については、ICFの分類を中心に、現在の患者の置かれている状況を把握する。その他、リハビリテーションチームの役割、QOL、保健医療制度、公的介護保険制度などについて学ぶ。		
授業計画	第1回 リハビリテーションの歴史及び概念 事前学習：講義資料を確認しリハビリテーションの歴史（古代～現代）を確認する（2時間） 事後学習：リハビリテーションの歴史を学び、その変遷を歴史的なキーポイントから整理する（2時間） 第2回 医学的リハビリテーションについて（障害者の自立支援を含む） 事前学習：医学的リハビリテーションとは何か。急性期、回復期、生活期に分けて確認する（2時間） 事後学習：医学的リハビリテーションの範囲を理解し、そこに生じる廃用症候群を整理し理解する（2時間） 第3回 国際生活機能分類（ICF）について 事前学習：ICFとICIDHの違いを確認する（2時間） 事後学習：ICFが制定された時代背景を理解し、ICFの求めている内容を整理する。（2時間） 第4回 教育的リハビリテーションについて 事前学習：教育的リハビリテーションとは何か確認する（2時間） 事後学習：統合教育の現状を整理し、教育的リハビリテーションがどのように進められているか整理する（2時間） 第5回 職業的リハビリテーションについて（就労支援を含む） 事前学習：職業的リハビリテーションとは何か確認する（2時間） 事後学習：職業的リハビリテーションの進め方を整理し、ビデオから現状を認識、レポートを作成し理解を深める（2時間） 第6回 社会的リハビリテーションについて（地域包括ケアシステムを含む） 事前学習：社会的リハビリテーションとは何か確認する（2時間） 事後学習：社会的リハビリテーションの進め方を整理し、自治体の進める地域包括ケアを確認する（2時間） 第7回 地域リハビリテーション（介護保険制度） 事前学習：地域リハビリテーションとは何か確認する（2時間） 事後学習：地域リハビリテーションの進め方を整理し、介護保険との関係性を確認する（2時間） 第8回 レポート発表 事前学習：障害の受容、インフォームドコンセント等について確認する（2時間） 事後学習：発表内容を理解し、リハビリテーションに対する関連知識を整理する（2時間） 定期試験		
テキスト	（公益）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本 株式会社ぎょうせい 配布資料		
参考書・参考資料等			
学生に対する評価	試験100%、レポート（加点方式）20% 発表（加点方式）20%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する		
備考	担当教員は、リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。		

講義科目名称： 保健医療論

授業コード： 202800A

英文科目名称： Health Care

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】理学, 作業, 言語
担当教員			
山口 明夫			
講義		020502L1P0S	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	将来医療職に携わる者として以下のことを理解し、判断できる知識の修得を目標とする。 医学概論として、医学・医療とはなにか、現代の医療・福祉の抱えている問題点を学ぶ。		
授業の概要	人々の健康を保持・増進するために、これまでの保健・医療・福祉に新しい発想が求められ、時代とともに制度改革がなされている。医療職として人々の健康を支援するには、保健・医療・福祉制度を総合的に理解し、それらを調整できる能力が求められている。 また、医療職は人の心に直接ふれる仕事である。医療の変遷から、生命倫理や患者の権利、価値観や人格を尊重した医学的ケアについての考えを深め、専門職としてのアイデンティティを形成する基盤とする。内容は、医学医療の歩み、保健・医療・福祉制度とその動向、現代医療の特性と医の倫理、医療安全、情報開示、終末期医療などである。		
授業計画	第1回	医学・医療の歩み、疾病の成り立ちや健康の概念を理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）	
	第2回	死因、疾病構造の変化や疫学、生活習慣と病気など生活と健康について理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）	
	第3回	疾病の診断と治療や患者の権利、医療人の義務などの医学と医療の実践を理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）	
	第4回	日本の医療制度を踏まえ、医療施設や医療保険制度などの医療供給体制を理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）	
	第5回	医療人として倫理規定を理解し、医療安全や感染症対策などに関する知識を会得し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）	
	第6回	医療における患者の権利、病状告知、インフォームド・コンセントなどを理解し、説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）	
	第7回	環境保健、脳死と臓器移植を理解し、問題点を説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間）	
	第8回	緩和医療や安楽死、尊厳死などを含めた終末期医療について理解し、問題点を説明できる 事前学習：学習テーマの概略をつかんでおく（0.5時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（1時間） 定期試験	
テキスト	なし		
参考書・参考資料等	・小阪樹徳編：新体系看護学12 現代医療論、メディカルフレンド社、平成26年度 ・過去の国家試験問題集		
学生に対する評価	1. 筆記試験（授業のプリントより出題する） 100% 2. レポートの提出を求める事もある。		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	授業担当日で、講義終了後。ただし原則としてアポイントメントを取ること。		
備考	【実務経験について】		

	大学病院で急性期病棟や手術室で勤務した経験を基に、当講義を進める。 消化器外科医での実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。 医学部長、病院長としての実務経験を基に、医療制度、医療安全、終末期医療などについて講義する。
--	--

講義科目名称： チーム医療論

授業コード： 202900A

英文科目名称： Team Care

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
浅井 智恵美			
講義		020503L3POSN	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	1、チーム医療の構成員として自身の専門性を活かし積極的に医療に参画する事ができるようになるために、チーム構成員の職能、医療倫理をはじめとするチーム医療の基礎知識を習得する。 2、関係職種と協働し、ともに地域社会の人々の保健・医療・福祉・教育に貢献できるような態度を身に付け職種間のコミュニケーションの重要性を理解する		
授業の概要	医療に携わる専門スタッフには、職能の発揮だけではなく、相互理解と綿密な連携によるチームアプローチが求められる。そのためには、各専門スタッフの職域を理解し、それぞれに課された役割を理解する必要がある。 内容は、チーム医療の歴史、必要性、実際、各専門職域と役割、医療現場、在宅現場における事例を提示し、それぞれの職種の関わりを教授する。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 医療のイメージ 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第2回 チーム医療とは チーム医療の起源 医療従事者の捉えるチーム医療 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第3回 チーム医療における患者医療者関係 患者参加 チームの中での医療者・患者・家族の役割 患者中心の協働的なチームアプローチ 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） チーム医療の倫理 チーム医療の倫理性 倫理的効用を高める民主的なチーム体制 インフォームドコンセント 各専門職の職能 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第4回 地域包括ケアシステム 地域包括ケアシステムの理解 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第5回 進行性の病気療養者の実態を知る 進行性の病気への支援を考える 事前学習：ALSの病気理解（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第6回 グループワーク「今後どのような支援が必要か 各専門職として考える」 事前学習：ALSを支える支援について（2時間） 事後学習：授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第7回 発表 「今後どのような支援が必要か 各専門職として考える」 事前学習：発表内容確認（2時間） 事後学習：発表内容の復習を行う（2時間） 第8回 コミュニケーション チームダイナミックス コミュニケーション論 チームダイナミックス論 事前学習：テキストに目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 定期試験		
テキスト	鷹野 和美編著 チーム医療論、医歯薬出版株式会社、2002年		
参考書・参考資料等	細田 満知子著：「チーム医療」とは何か 医療とケアに生かす社会学からのアプローチ、日本看護協会出版会、2012年出版 水本清久 岡本 牧人 石井 邦雄 土本 寛二編著：実践チーム医療論 実際と教育プログラム、医歯薬出版株式会社、2011年		
学生に対する評価	筆記試験 100%		

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了中に適宜返答する
備考	【実務経験について】 総合病院病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 看護師、保健師、訪問看護師、介護支援専門員、地域包括支援センターでの実務（勤務）経験を有しており、その経験を踏まえ、講義を教授する。

講義科目名称： 環境と健康

授業コード： 203100A

英文科目名称： Environment and Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1	【必修】看護、理学【選択】作業
担当教員			
出口 洋二			
講義	養護教諭対象科目	020504L1PONH	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	「環境」をあらゆる角度から捉え、健康に及ぼす影響と健康を保つための施策を理解し、医療技術に活用できる能力を修得する。		
授業の概要	環境の変化は人々の健康に影響し、社会的な問題となっている。また、人口動態の変化や疾病構造の変化も社会的な問題となっている。人々の健康な生活を支援する者として、これらに関する知識をもち広い視野で医療技術を考えなければならない。ここでは「環境」をあらゆる角度から捉え、健康に及ぼす影響と健康を保つための施策を理解し、医療技術に活用できる能力を養う。 内容は、生活環境と健康、教育環境と健康、労働環境と健康、人口動態と健康指標、疾病予防と健康管理、健康と衛生行政等である。		
授業計画	第1回 包括的医療と公衆性活動の特徴 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第2回 疫学の考え方と研究方法 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第3回 集団の健康指標と保健統計の意義 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第4回 健康施策の現状と課題（1）母子保健・学校保健 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第5回 健康施策の現状と課題（2）産業保健・老人保健 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第6回 環境施策の現状と課題（1）食品衛生 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第7回 環境施策の現状と課題（2）空気・水・廃棄物 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第8回 総まとめ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 定期試験		
テキスト	小山洋・辻一郎編 『シンプル衛生公衆衛生学 2026』（南江堂）		
参考書・参考資料等	厚生労働協会編 『国民衛生の動向 2025/26』		
学生に対する評価	評価点＝ 提出課題（20点）＋筆記試験（80点、持込なし）		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。		
備考			

講義科目名称： ナラティブ概論

授業コード： 203200A

英文科目名称： Narrative Report

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】理学【選択】作業
担当教員			
石田 圭二			
講義		020505L3P0	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	授業の到達目標及びテーマ ナラティブ理論の基礎を学習し、臨床場面で実践ができるように演習を行う。		
授業の概要	授業の概要 対象者の小さな言動の捉え方と、それらを積み重ねる作業のポイントをおさえ、対象者の気持ちに寄り添うアプローチを身につけられるように指導する。また、学生自身が人生の肯定感、その共有、自分の人生ストーリーへの影響、その物語の方向性などを考えられるように教授する。		
授業計画	第1回 オリエンテーション、ナラティブとは① 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること 第2回 ナラティブとは② 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること 第3回 医療の中のナラティブ① 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること 第4回 医療の中のナラティブ② 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること 第5回 医療対象者のナラティブ① 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること 第6回 医療対象者のナラティブ② 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること 第7回 医療者のナラティブ① 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること 第8回 医療者のナラティブ② 事前学習（2時間）：授業資料に示したテキストの関連ページを読んでおくこと 事後学習（2時間）：授業中に示した演習課題を完成させること		
テキスト	野口雄二 「物語としてのケア ナラティブアプローチの世界へ」（医学書院2002 年）		
参考書・参考資料等			
学生に対する評価	授業中に行う演習課題およびレポートの提出100% （① レポート課題そのものを理解している。② 課題にそって解答がなされている。③ 答えるべきことがらの内容について正確に理解しているなどについて評価する）		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00まで随時受け付けます。		
備考	病院での臨床経験をもとに当講義を進める。		

講義科目名称： 社会保障制度

授業コード： 203300A

英文科目名称： Social Security System

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【必修】言語【選択】作業、理学
担当教員			
堀 秀昭			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(言語)	020506L4POS	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	社会保障制度について理解する。
授業の概要	コミュニケーション障害者が置かれている様々な環境を理解し、言語聴覚士がコミュニケーション障害者に最善のサービスを行うために、社会保障制度の知識は必須である。現在の社会保障制度の構成と制度を学び、社会福祉の法律が運用どのように運用されているかを理解する。また、実際の障害者に関する施策と実施体制を理解する。さらに、介護保険を始めとする介護保障とその制度の運用を理解する。その上に、直接援助技術、間接援助技術、その他の関連専門援助技術を知る
授業計画	第1回 社会保障の概念と社会福祉について 事前学習：社会保障の目的、機能を確認する（2時間） 事後学習：ノーマライゼーション、自立支援を整理する（2時間） 第2回 社会保険の概要について① 事前学習：社会保険制度の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：社会保険制定の歴史的背景を整理する（2時間） 第3回 社会保険の概要について② 事前学習：医療保険と年金保険の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：医療保険と年金保険の対象範囲を整理する（2時間） 第4回 介護保険法について 事前学習：介護保険の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：介護保険の対象範囲を整理する（2時間） 第5回 高齢者福祉について 事前学習：高齢者福祉の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：高齢者福祉の対象範囲を整理する（2時間） 第6回 障害者福祉について 事前学習：高齢者福祉の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：高齢者福祉の対象範囲を整理する（2時間） 第7回 児童福祉について 事前学習：児童福祉の役割と変遷を確認する（2時間） 事後学習：児童福祉の対象範囲を整理する（2時間） 第8回 社会福祉援助技術について 事前学習：ケースワーク、グループワークを確認する（2時間） 事後学習：社会福祉援助技術の意義、役割を整理する（2時間） 定期試験
テキスト	西村淳著：健康支援と社会保障制度 3 社会福祉，メヂカルフレンド社 2021年
参考書・参考資料等	（公益）日本障がい者スポーツ協会（編）、障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）（株）ぎょうせい
学生に対する評価	筆記試験：堀 秀昭100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する
備考	担当教員は、リハビリテーション関連施設で、理学療法の実務経験を有し、その経験を生かし授業を実施している。

講義科目名称： スポーツ内科学

授業コード： 203500A

英文科目名称： Sports Internal Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【選択】作業、理学
担当教員			
林 浩嗣			
講義	A T 対象科目		020508L2POA
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	スポーツ内科学では、米国スポーツ医学会ACSMの提唱する運動処方ガイドラインに基づいて、安全且つ効果的な運動プログラムの作成法、メディカル・チェックの要点等について系統講義を通じて理解を深める。		
授業の概要	本講義では競技力向上ならびに健康管理の視点から主に内科的疾患の病態生理と臨牀所見、スポーツ現場における応急処置、予防措置等に学ぶことを目的とする。選手に対しては、主に運動誘発性突然死、オーバートレーニング症候群、運動性貧血、運動誘発性喘息等の病態は元より、感染症対策、摂食および減量問題、暑熱・低温環境下の生体順応、ドーピング・コントロール、ストレス・マネジメント等に関する知識を深める。また生涯スポーツを支えるA Tとしての視点から女性、高齢者、発育期の子供など各々の生理・心理的特徴、運動に対する応答、特異的な障害についても学習する。その他にメディカル・チェックの意義と実施手技等を学習する。		
授業計画	第1回	スポーツ内科学の基礎 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第2回	スポーツ内科学各論（循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第3回	スポーツ内科学各論（造血器疾患、腎・泌尿器系疾患、皮膚疾患） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第4回	スポーツ内科学各論（代謝性疾患、感染症） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第5回	スポーツ内科学各論（感染症） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第6回	オーバートレーニング症候群、突然死 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第7回	過換気症候群、摂食障害、減量により障害 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第8回	喫煙・飲酒の問題点、高所および低酸素環境下での身体への影響 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第9回	特殊環境のスポーツ医学、海外遠征時の諸問題 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第10回	女性・子供・高齢者のスポーツ医学 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第11回	内科的メディカル・チェック 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第12回	救急処置 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第13回	スポーツと心の健康 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第14回	アンチ・ドーピング（総論） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
	第15回	アンチ・ドーピング（各論） 事前学習：上記に該当する内容をテキストで事前学習しておくこと（30分） 事後学習：テキスト、配布資料で事後学習しておくこと（30分）	
テキスト	アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト3 スポーツ医学概論 監修 河野一郎 他 2024		
参考書・参考資料等	公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第4巻 健康管理とスポーツ医学、文光堂、2019 公益財団法人日本スポーツ協会：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第8巻 救急処置、文光堂、2019		

	公益財団法人日本スポーツ協会：Reference Book、2019
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜返答する。
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「専門科目」読替 【実務経験について】 福井大学医学部附属病院、基幹病院の急性期病棟で勤務した経験を基に、当講義を進める。 福井大学、福井医療短期大学、福井医療大学での実務(勤務)経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

講義科目名称： 作業療法概論

授業コード： 304100A

英文科目名称： Introduction to Occupational Therapy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】作業
担当教員			
川端 香・堀 敦志			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(作業)	042001L10	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	作業療法の対象、目標、手段について考察を深めるとともに、作業療法の歴史と各分野における実践を概観することにより、作業療法に対する理解を深め、関心を高める。		
授業の概要	作業療法の歴史、作業のもつ意味や治療的応用などの作業療法の概念、評価から治療に至るまでの作業療法過程、各分野における実践展開にあたる作業療法の実際について学習する。		
授業計画	第1回	作業療法の概要 (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP3-7 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第2回	作業の定義、作業マップ (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP8-16 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第3回	作業療法の起源と歴史、作業療法士に求められる資質と倫理 (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP45-70 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第4回	作業療法の対象 (人間理解) (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP29-44 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第5回	作業療法の対象 (障害理解) (堀敦志) 事前学習 (30分) : テキストP29-44 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第6回	作業分析① (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP17-28 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第7回	作業分析② (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP17-28 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第8回	作業療法の臨床過程① (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP81-102 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第9回	作業療法の臨床過程② (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP103-132 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第10回	作業療法の分野① (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP171-202 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第11回	作業療法の分野② (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP203-224 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第12回	作業療法の分野③ (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP225-258 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第13回	作業療法の実践 (臨床見学を通して) (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP171-258 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	
	第14回	作業療法の実践 (臨床見学を通して) (川端香) 事前学習 (30分) : テキストP171-258 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ	

	第15回 まとめ (川端香) 事前学習 (30分) : 授業資料 事後学習 (30分) : 授業資料のまとめ
テキスト	東登志夫監修・編集：シンプル作業療法学シリーズ 作業療法概論テキスト．南江堂，2023
参考書・参考資料等	能登真一編集：標準作業療法学 作業療法概論 第4版，医学書院，2012. ICF国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－．中央法規出版株式会社，2008
学生に対する評価	レポート試験50%、定期試験50%（全ての試験を受験した上で評価します。） 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜～金曜 9：00～17：00（在室時に対応します）
備考	病院での臨床経験、養成校での教員経験等を基に当講義を進める。

講義科目名称： 研究法

授業コード： 304200A

英文科目名称： Research Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【必修】作業
担当教員			
酒井 涼			
講義		042002L30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	研究の必要性を理解した上で、研究における倫理的配慮の必要性について理解する。		
授業の概要	作業療法における研究の必要性について論じ、研究の形態や、研究の目的と仮説、文献検索方法、研究方法の考案、結果分析の方法、考察の進め方について解説し、それぞれの研究例を紹介する。さらに研究実施の上で、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的配慮、インフォームドコンセント、プライバシーの概念を明らかにし、公正で責任ある研究活動を推進する等の研究倫理のポイントを理解する。		
授業計画	第1回	研究法総論 （研究とは） 事前学習（2時間）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第2回	研究法総論 （研究倫理） 事前学習（2時間）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第3回	研究法各論 （研究デザイン） 事前学習（2時間）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第4回	研究法各論 （文献研究） 事前学習（2時間）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第5回	研究法各論 （調査研究） 事前学習（2時間）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第6回	研究法各論 （実験研究） 事前学習（2時間）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第7回	研究法各論 （事例研究） 事前学習（2時間）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第8回	基本統計 （尺度の種類、検定の選択） 事前学習（2時間）：テキスト（4stepsエクセル統計）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第9回	基本統計 （パラメトリック検定） 事前学習（2時間）：テキスト（4stepsエクセル統計）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第10回	基本統計 （ノンパラメトリック検定） 事前学習（2時間）：テキスト（4stepsエクセル統計）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第11回	基本統計 （度数分析） 事前学習（2時間）：テキスト（4stepsエクセル統計）の該当範囲を確認する 事後学習（2時間）：配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う	
	第12回	基本統計	

	(相関係数) 事前学習 (2時間) : テキスト (4stepsエクセル統計) の該当範囲を確認する 事後学習 (2時間) : 配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う 第13回 基本統計 (分散分析) 事前学習 (2時間) : テキスト (4stepsエクセル統計) の該当範囲を確認する 事後学習 (2時間) : 配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う 第14回 基本統計 (多変量解析) 事前学習 (2時間) : テキスト (4stepsエクセル統計) の該当範囲を確認する 事後学習 (2時間) : 配布資料とテキストを見直す 併せて、自身の研究テーマの探索を行う 第15回 まとめ これまでの授業内容の復習および卒業研究計画書の作成 事前学習 (2時間) : これまでの授業の復習および卒業研究計画書を作成する 事後学習 (2時間) : 授業内容を踏まえ、卒業研究計画書を修正する 併せて、自身の研究テーマの探索を行う
テキスト	山田孝編：標準作業療法学 専門分野 作業療法研究法 第2版，医学書院，2012. 柳井久江：4stepsエクセル統計【第5版】，OMS，2023. 配布資料
参考書・参考資料等	内山靖：標準理学療法学 理学療法研究法 第3版，医学書院，2013. 竹田徳則・大浦智子：作業療法研究法．医歯薬出版株式会社，2017.
学生に対する評価	レポート試験 100% 課題に関しては、授業時に示したループブリックの評価基準ならびに配布資料に明記した基準を用いて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00
備考	大学院課程や科学研究費助成事業等での研究の経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

講義科目名称： 研究法演習

授業コード： 304300A

英文科目名称： Research Methodology: Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1	【必修】作業
担当教員			
堀敦志・石田圭二・川端香・蓑輪千帆・熊谷のぞみ・佐々木孝次・下川幸蔵・酒井涼・中島裕也			
演習		042003S30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	4年次の作業療法研究で実施可能な研究計画書を作成する。		
授業の概要	科学的根拠に基づく医療（EBM）が求められる中で、作業療法を科学的視点で検証し形作ることの意義は大きい。卒業論文を作成する中で学生が志向する分野における研究疑問の設定、文献レビューの作業を行い、作業療法専門職としての学術技能、知識の向上を図る。		
授業計画	第1回	文献検索 研究計画書の作成に必要な文献検索手法を学ぶ 事前学習（30分）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：自身の研究計画書に必要な文献を調査する	
	第2回	文献検索 研究計画書の作成に必要な文献検索手法を学ぶ 事前学習（30分）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：自身の研究計画書に必要な文献を調査する	
	第3回	文献レビュー 文献レビューの方法を学ぶ（日本語） 事前学習（30分）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：自身の研究計画書に必要な文献を調査・レビューを作成する	
	第4回	文献レビュー 文献レビューの方法を学ぶ（日本語） 事前学習（30分）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：自身の研究計画書に必要な文献を調査・レビューを作成する	
	第5回	文献レビュー 文献レビューの方法を学ぶ（英語） 事前学習（30分）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：自身の研究計画書に必要な文献を調査・レビューを作成する	
	第6回	文献レビュー 文献レビューの方法を学ぶ（英語） 事前学習（30分）：テキスト（作業療法研究法）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：自身の研究計画書に必要な文献を調査・レビューを作成する	
	第7回	研究計画書作成 研究計画書の作成方法について学ぶとともに、作成した研究計画書について指導を行う 事前学習（30分）：研究計画書を作成する 事後学習（30分）：研究計画書を修正する	
	第8回	研究計画書作成 研究計画書の作成方法について学ぶとともに、作成した研究計画書について指導を行う 事前学習（30分）：研究計画書を作成する 事後学習（30分）：研究計画書を修正する	
	第9回	研究計画書作成 研究計画書の作成方法について学ぶとともに、作成した研究計画書について指導を行う 事前学習（30分）：研究計画書を作成する 事後学習（30分）：研究計画書を修正する	
	第10回	研究計画書作成 研究計画書の作成方法について学ぶとともに、作成した研究計画書について指導を行う 事前学習（30分）：研究計画書を作成する 事後学習（30分）：研究計画書を修正する	
	第11回	プレゼンテーション 研究計画書のプレゼンテーション方法について学ぶ 事前学習（30分）：プレゼンテーション資料を作成する 事後学習（30分）：プレゼンテーション資料を修正する	
	第12回	プレゼンテーション 研究計画書のプレゼンテーション方法について学ぶ 事前学習（30分）：プレゼンテーション資料を作成する 事後学習（30分）：プレゼンテーション資料を修正する	
	第13回	プレゼンテーション 研究計画書のプレゼンテーションを行う 事前学習（30分）：プレゼンテーション資料の校正を行う 事後学習（30分）：プレゼンテーションにおける指導内容をもとに研究計画書を修正する	
	第14回	プレゼンテーション 研究計画書のプレゼンテーションを行う 事前学習（30分）：プレゼンテーション資料の校正を行う 事後学習（30分）：プレゼンテーションにおける指導内容をもとに研究計画書を修正する	

	第15回 研究計画書修正 研究計画書の修正を行う 事前学習（30分）：研究計画書を修正する 事後学習（30分）：研究計画書を修正する
テキスト	山田孝編：標準作業療法学 専門分野 作業療法研究法 第2版，医学書院，2012. 柳井久江：4stepsエクセル統計【第5版】，OMS，2023. 配布資料
参考書・参考資料等	内山靖：標準理学療法学 理学療法研究法 第3版，医学書院，2013. 竹田徳則・大浦智子：作業療法研究法．医歯薬出版株式会社，2017.
学生に対する評価	レポート試験 100%（発表および研究計画書から総合的に判断する） 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準ならびに配布資料に明記した基準を用いて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00
備考	大学院課程等での研究経験を有しており、その経験を踏まえ、演習形式で教授する。

講義科目名称： 作業療法研究

授業コード： 304400A

英文科目名称： Occupational Therapy Research

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	3	【必修】作業
担当教員			
堀敦志・石田圭二・川端香・蓑輪千帆・熊谷のぞみ・佐々木孝次・下川幸蔵・酒井涼・中島 裕也			
演習		042004S40	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	研究計画書に沿って研究を実施し、論文にまとめプレゼンテーションを実施する。		
授業の概要	科学的根拠に基づく医療（EBM）が求められる中で、作業療法を科学的視点で検証し形作ることの意義は大きい。卒業論文を作成する中で学生が志向する分野における研究計画書の作成、予備研究、研究の実施、データ収集、結果の処理・分析、執筆、報告発表までの一連の作業を行い、作業療法専門職としての学術技能、知識の向上を図る。		
授業計画	第1回	計画書再考 作成した研究計画書の修正点について指導を行う 事前学習（30分）：研究計画書を修正する 事後学習（30分）：研究計画書を修正する	
	第2回	計画書再考 作成した研究計画書の修正点について指導を行う 事前学習（30分）：研究計画書を修正する 事後学習（30分）：研究計画書を修正する	
	第3回	予備研究 修正した研究計画書に基づき予備研究を行う 事前学習（30分）：予備研究を行う 事後学習（30分）：予備研究の結果をまとめる	
	第4回	予備研究 修正した研究計画書に基づき予備研究を行う 事前学習（30分）：予備研究を行う 事後学習（30分）：予備研究の結果をまとめる	
	第5回	予備研究 修正した研究計画書に基づき予備研究を行う 事前学習（30分）：予備研究を行う 事後学習（30分）：予備研究の結果をまとめる	
	第6回	予備研究 修正した研究計画書に基づき予備研究を行う 事前学習（30分）：予備研究を行う 事後学習（30分）：予備研究の結果をまとめる	
	第7回	計画書再修正 予備研究の結果を基に研究計画書を修正する 事前学習（30分）：研究計画書を修正する 事後学習（30分）：研究計画書を修正する	
	第8回	計画書再修正 予備研究の結果を基に研究計画書を修正する 事前学習（30分）：研究計画書を修正する 事後学習（30分）：研究計画書を修正する	
	第9回	データ収集 研究計画書の基づき、実験を行う 事前学習（30分）：研究を実施する 事後学習（30分）：研究を実施する	
	第10回	データ収集 研究計画書の基づき、実験を行う 事前学習（30分）：研究を実施する 事後学習（30分）：研究を実施する	
	第11回	データ収集 研究計画書の基づき、実験を行う 事前学習（30分）：研究を実施する 事後学習（30分）：研究を実施する	
	第12回	データ収集 研究計画書の基づき、実験を行う 事前学習（30分）：研究を実施する 事後学習（30分）：研究を実施する	
	第13回	データ収集 研究計画書の基づき、実験を行う 事前学習（30分）：研究を実施する 事後学習（30分）：研究を実施する	
	第14回	データ収集 研究計画書の基づき、実験を行う 事前学習（30分）：研究を実施する	

	第34回 事後学習（30分）：研究・実験結果をまとめ、論文を作成する 論文作成 研究・実験結果をまとめ、論文を作成する 第35回 事前学習（30分）：研究・実験結果をまとめ、論文を作成する 事後学習（30分）：研究・実験結果をまとめ、論文を作成する 発表準備 研究発表の資料を作成する 第36回 事前学習（30分）：研究・実験結果をまとめ、論文をもとに研究発表の資料を作成する 事後学習（30分）：研究・実験結果をまとめ、論文をもとに研究発表の資料を作成する 発表準備 研究発表の資料を作成する 第37回 事前学習（30分）：研究・実験結果をまとめ、論文をもとに研究発表の資料を作成する 事後学習（30分）：研究・実験結果をまとめ、論文をもとに研究発表の資料を作成する 論文発表 研究発表を行う 第38回 事前学習（30分）：研究発表資料を作成する 事後学習（30分）：研究発表による指導内容をまとめる 論文発表 研究発表を行う 第39回 事前学習（30分）：研究発表資料を作成する 事後学習（30分）：研究発表による指導内容をまとめる 論文発表 研究発表を行う 第40回 事前学習（30分）：研究発表資料を作成する 事後学習（30分）：研究発表による指導内容をまとめる 論文発表 研究発表を行う 第41回 事前学習（30分）：研究発表資料を作成する 事後学習（30分）：研究発表による指導内容をまとめる 論文発表 研究発表を行う 第42回 事前学習（30分）：研究発表資料を作成する 事後学習（30分）：研究発表による指導内容をまとめる 論文発表 研究発表を行う 第43回 事前学習（30分）：研究発表資料を作成する 事後学習（30分）：研究発表による指導内容をまとめる 論文修正 研究発表による指導内容をもとに、論文を修正する 第44回 事前学習（30分）：論文を修正する 事後学習（30分）：論文を修正する 論文修正 研究発表による指導内容をもとに、論文を修正する 第45回 事前学習（30分）：論文を修正する 事後学習（30分）：論文を修正する 論文修正 研究発表による指導内容をもとに、論文を修正する
テキスト	山田孝編：標準作業療法学 専門分野 作業療法研究法 第2版，医学書院，2012. 柳井久江：4stepsエクセル統計【第5版】，OMS，2023. 配布資料
参考書・参考資料等	内山靖：標準理学療法学 理学療法研究法 第3版，医学書院，2013. 竹田徳則・大浦智子：作業療法研究法．医歯薬出版株式会社，2017.
学生に対する評価	レポート試験 100%（発表および研究論文を総合的に評価する） 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準ならびに配布資料に明記した基準を用いて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00 講義中および終了時に適宜返答する
備考	大学院課程等で研究経験を有しており、その経験を踏まえ、演習形式で教授する。

講義科目名称： 作業分析学

授業コード： 304500A

英文科目名称： Occupation Analysis

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必修】作業
担当教員			
酒井 涼・佐々木 孝次			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(作業)	042005L10	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	作業分析を理解し行うことができる。		
授業の概要	作業療法では、様々な作業活動を用いて対象者の治療・指導・援助を行う。ここでは作業遂行の構成要素、関連理論について学習する。また作業活動についての思考法である作業分析について、身体運動技能、認知技能、心理社会的技能、及び感覚統合技能などの枠組みで作業分析を実施し、同時に段階付けや教授法について理解を深める。		
授業計画	第1回	作業活動と作業分析（酒井：第1～8回） 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第2回	包括的・限定的作業分析 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第3回	心理・社会・文化システム生活環境一人システムから見た分析① 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第4回	心理・社会・文化システム生活環境一人システムから見た分析② 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第5回	基本動作の分析 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第6回	生物有機体システムからの分析① 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第7回	生物有機体システムからの分析② 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第8回	生物有機体システムからの分析③ 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第9回	作業活動と遊びの分析（佐々木：第9～15回） 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第10回	日常生活活動の分析 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第11回	生活行為向上マネジメントの作業と生活行為 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第12回	生活行為課題分析① 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第13回	生活行為課題分析② 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第14回	障害に合わせたスポーツ活動の分析① 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	第15回	障害に合わせたスポーツ活動の分析② 事前学習（120分）：教科書、参考書の確認、関連した国家試験問題を解くこと 事後学習（120分）：授業後の知識のまとめ、レポート課題	
	課題	レポート課題	
テキスト	・（一社）日本作業療法士協会 編：事例で学ぶ生活行為向上マネジメント 第2版，医歯薬出版株式会社，2021.		
参考書・参考資料等	・ひとと作業・作業活動 新版，三輪書店，2015. ・（公財）日本障がい者スポーツ協会 編：障がいのある人のスポーツ指導教本，株式会社ぎょうせい，2016. ・日常生活活動の分析 第2版，医歯薬出版株式会社，2021.		

学生に対する評価	レポート課題100%（配分 酒井：50%、佐々木：50%） （全ての教員の課題を提出した上で評価します。） 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時、適宜対応する。
備考	病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

講義科目名称： 作業技法（基礎）

授業コード： 304600A

英文科目名称： Activivty Method of Occupational Therapy (Basics)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
蓑輪 千帆・熊谷 のぞみ			
演習		042006S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	作業療法で用いられる作業活動に関し、基本的な作業技術を習得し理解することを目的とする。		
授業の概要	作業療法では、様々な手段を用いて対象者の治療・指導・援助を行う。ここでは臨床よく用いられる木工、革細工、編み物、籐細工、陶芸、マクラメ、タイルモザイク、金工、紙細工、織物、七宝焼きなどに関して作業技術を習得する。		
授業計画	第1回	作業技法によく用いられる作業種目について（担当 熊谷） 教科書をもとに、どのような作業種目があるか予習する。 事前学習：教科書等を使用して作業活動について理解する。（30分） 事後学習：教科書第1部を読み、作業活動の治療的応用について復習する。（30分）	
	第2回	編み物作業の作業技術（担当 熊谷） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部10を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第3回	七宝焼き作業の作業技術（担当 熊谷） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第4回	木工作業の作業技術（担当 熊谷） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部2を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第5回	金工作業の作業技術（担当 熊谷） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部9を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第6回	籐細工作業の作業技術（担当 熊谷） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部6を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第7回	マクラメ作業の作業技術（担当 熊谷） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部8を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第8回	紙細工作業の作業技術（担当 熊谷） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部7を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第9回	革細工作業の作業技術（担当 熊谷） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部1を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第10回	織物作業の作業技術（担当 熊谷） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部4を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第11回	モザイク作業の作業技術（特徴、道具）（担当 蓑輪） モザイク作業の特徴や道具についてテキストをもとに復習する。 事前学習：教科書第2部5を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第12回	モザイク作業の作業技術（作業工程）（担当 蓑輪） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部5を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第13回	陶芸作業の作業技術（特徴、道具）（担当 蓑輪） 陶芸作業の特徴や道具についてテキストをもとに復習する。 事前学習：教科書第2部3を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	
	第14回	陶芸作業の作業技術（作業工程）（担当 蓑輪） 実際に行った作業活動をもとに、作業特徴分析を作成する。 事前学習：教科書第2部3を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：実施した作業活動の分析と、材料についての分析を行う。（30分）	

	第15回 作業技術（その他の作業）（担当 蓑輪） 作業活動の特徴と、作業活動で使用される道具についてまとめる。 事前学習：教科書第2部を読み、作業活動について理解する。（30分） 事後学習：国家試験問題を解き、理解を深める。（30分） 定期試験
テキスト	日本作業療法士協会編：作業―その治療的応用― 第2版、共同医書出版社、2004年出版
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	筆記試験80%、課題・授業への参加状況20% 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。 蓑輪・熊谷担当分を併せて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 研究室在室時、随時受け付けます。
備考	病院の作業療法室で勤務した経験を基に、当講義を進める。

講義科目名称： 作業技法（編み物・陶芸）

授業コード： 304700A

英文科目名称： Activivty Method of Occupational Therapy (Knitting and Pottery)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【選択】作業
担当教員			
佐々木 孝次			
演習		042007S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	編み物と陶芸の作業技術を習得し、治療的応用について理解することを目標とする。		
授業の概要	作業療法では、様々な手段を用いて対象者の治療・指導・援助を行う。ここでは作業療法における編み物と陶芸の準備から完成までを体験し、基本的な知識・技術を習得する。また、作業工程、作業分析や治療的応用としての段階付け・教授法について理解を深める。		
授業計画	第1回	オリエンテーション、編み物（かぎ針編み：概論） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第2回	編み物（かぎ針編み：作業分析） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第3回	編み物（かぎ針編み：動作分析） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第4回	編み物（spool weaving：概論） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第5回	編み物（spool weaving：作業分析） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第6回	編み物（spool weaving：動作分析） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第7回	陶芸（概論） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第8回	陶芸（土練り） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第9回	陶芸（成形：手びねり） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第10回	陶芸（成形：ろくろ） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第11回	陶芸体験（道具・作業工程） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第12回	陶芸体験（乾燥・素焼き・窯） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第13回	陶芸体験（釉薬・上絵付け・下絵付け） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第14回	陶芸体験（本焼き・焼成技術・窯） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	第15回	編み物・陶芸の治療的応用、まとめ 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認、レポート提出準備	
	課題	レポート課題	
テキスト	古川宏 監：作業活動 実習マニュアル。医歯薬出版株式会社，2018		
参考書・参考資料等	日本作業療法士協会 編：作業―その治療的応用 改訂第2版。共同医書出版社，2003		
学生に対する評価	レポート課題100%（すべての課題を提出した上で評価します。）		

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	臨床活動を経た作業療法実践経験を有する教員が、その経験を踏まえ、演習形式で教授する。

講義科目名称： 作業技法（革細工・籐細工）

授業コード： 304800A

英文科目名称： Activivty Method of Occupational Therapy (Leather and Wisteria)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【選択】作業
担当教員			
熊谷 のぞみ・中島 裕也			
演習		042008S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	革細工と籐細工の作業技術を習得し、治療的応用について理解することを目的とする。		
授業の概要	（オムニバス方式/全15回） 作業療法では、様々な手段を用いて対象者の治療・指導・援助を行う。ここでは作業療法場面で治療として導入される代表的な作業種目である革細工と籐細工を体験し、作業技術を習得する。また作業工程および作業分析を実施し、同時に段階付けや教授法について理解を深める。 1～8回 革細工（担当：熊谷 のぞみ） 9～15回 籐細工（担当：中島 裕也）		
授業計画	第1回	革細工の作業工程、道具の使用方法 【1～8回：熊谷担当】 革細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第2回	染色（ふき染め） 革細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第3回	裏の始末、仕上げ 革細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第4回	カービング（トレーシング、カッティング、スタンピング） 革細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第5回	染色（アンティック染め、色さし） 革細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第6回	裏革の貼付け、かがり穴の穴あけ 革細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第7回	レーシング、仕上げ 革細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第8回	革細工の治療的応用 革細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第9回	籐細工の作業工程 【9～15回：中島担当】 籐細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第10回	籐細工の作業工程 籐細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第11回	底の組み方 籐細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第12回	編み方、つなぎ方 籐細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	
	第13回	縁止め 籐細工の作業工程の説明および実演 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題	

	第14回 籐細工の治療的応用 籐細工の作業工程の説明および実演、解説 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題 第15回 籐細工の治療的応用 籐細工の作業工程の説明および実演、解説 事前学習（30分）：テキスト（作業活動実習マニュアル）の該当範囲を確認する 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く、レポート課題 レポート課題
テキスト	古川宏 監修：作業活動実習マニュアル．第2版．医歯薬出版株式会社，2018．
参考書・参考資料等	日本作業療法士協会 編：作業－その治療的応用 改訂第2版．協同医書出版社，2003
学生に対する評価	レポート課題100%（すべての課題を提出した上で評価する。） 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。 また、授業態度や作品の完成度も加味する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	病院での実務経験を有しており、その経験を基に、当演習を進める。

講義科目名称： 作業療法管理学

授業コード： 304850A

英文科目名称： Occupational Therapy Management

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【必須】作業
担当教員			
石田 圭二			
講義		042101L10	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	作業療法の組織や業務に関する管理運営の重要性を理解し、組織の一員として作業療法士の活動するために必要なマネジメントの知識を身につける。
授業の概要	”質の高い作業療法を提供するためには、作業療法に関するマネジメントは重要である。本授業では職業倫理をはじめ、医療情報、医療サービス、医療安全のマネジメントおよび、作業療法部門（作業療法業務、作業療法教育）に関連するマネジメントを学習する。
授業計画	第1回 作業療法士とマネジメント 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第2回 組織とは 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第3回 情報管理① 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第4回 情報管理② 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第5回 リスク管理① 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第6回 リスク管理② 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第7回 感染防止① 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第8回 感染防止② 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第9回 職業倫理 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第10回 関連する諸制度① 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第11回 関連する諸制度② 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第12回 関連する諸制度③ 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第13回 作業療法業務のマネジメント 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第14回 セルフマネジメント 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 第15回 作業療法士の教育課程とキャリア開発 事前学習（30分）：授業資料で示したテキストの関連部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：配布した模擬試験の模範解答を作成すること 定期試験
テキスト	大庭潤平：作業療法管理学入門 第2版. 医歯薬出版, 2021
参考書・参考資料等	二木淑子, 能登真一：作業療法概論 第3版. 医学書院, 2018 亀田メディカルセンター：リハビリテーションリスク管理ハンドブック 第3版. メジカルビュー社, 2017
学生に対する評価	筆記試験90% レポート課題10% （レポート課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する）

課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	病院での臨床経験、県作業療法士会での役員経験、養成校での教員経験をもとに講義を進める。

講義科目名称： 作業療法評価学

授業コード： 304900A

英文科目名称： Occupational Therapy Evaluation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	【必修】作業
担当教員			
石田 圭二			
講義		042201L10	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	作業療法における評価の目的手段などについて理解する。評価の基礎技法である面接、観察を実施できるようになる。		
授業の概要	作業療法の評価の目的、手段、評価範囲などについて学習する。 まず、作業療法過程の中で評価を役割について理解し、評価結果の解釈から問題解決までの道筋について考察する。また、作業療法の対象理解のために現在作業療法の中で用いられている評価法（身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域、職業関連領域）について概観する。そして基礎機能である観察と面接について、見るべき、話すべき、聞くべきポイントや施行上の注意などについて理解を進める。		
授業計画	第1回	作業療法と評価の関係、評価の目的、手順、手段 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第2回	作業療法で用いられる評価法 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第3回	面接技法① 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第4回	面接技法② 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第5回	面接技法③ 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第6回	面接技法④ 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第7回	姿勢分析① 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第8回	姿勢分析② 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第9回	運動分析① 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第10回	運動分析② 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第11回	運動分析③ 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第12回	運動分析④ 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第13回	行動分析① 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第14回	行動分析② 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
	第15回	まとめ 事前学習（30分）：テキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成	
テキスト	能登真一ほか編：標準作業療法学 作業療法評価学，第3版医学書院，2021.		
参考書・参考資料等			
学生に対する評価	定期試験100%		
課題（試験やレポート等）に対応する時間	月曜日～金曜日 9：00～16：00		

トピックの方法	
備考	病院での臨床経験をもとに当講義を進める。

講義科目名称： 身体機能評価学演習Ⅰ

授業コード：

英文科目名称： Physical Evaluation: SeminarⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】作業
担当教員			
熊谷 のぞみ			
演習		042202S10	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	・作業療法における基礎的な技術である評価の知識・技術を習得し、得られた結果の解釈について理解できる。 ・バイタルサイン、形態測定、関節可動域測定、知覚検査、反射検査の評価手技を身につける。
授業の概要	・バイタルサイン、形態測定、関節可動域測定、知覚検査（表在感覚・深部感覚）、反射検査（表在反射・深部反射・病的反射）の目的と方法を習得し、得られた評価結果の解釈方法について学習する。 ・テキスト、配布資料を使用した講義を行い、その後の演習にて手技を身につける。 ・講義・演習後には、症例に対して評価を計画・実施し、実践的な評価手技を学ぶ。
授業計画	第1回 バイタルサイン、形態測定：講義・実技演習 バイタルサイン（体温・血圧・脈拍・呼吸・意識について）、形態測定とはバイタルサインの測定と形態測定の演習 事前学習（120分）：テキスト（作業療法評価学）P3～22を読み、作業療法評価について理解する テキスト（作業療法評価学）P53～「バイタルサイン」P66～「形態測定」を読む 事後学習（120分）：配布資料とテキストで授業内容を復習・理解する 検査や測定の演習を行い、手順・方法を理解する 第2回 感覚検査：講義 感覚とは、表在感覚・深部感覚とは 事前学習（120分）：テキスト（作業療法評価学）P23～33を読み、再評価や効果判定について理解する テキスト（作業療法評価学）P114～「感覚検査」を読む 事後学習（120分）：配布資料とテキストで授業内容を復習・理解する 第3回 感覚検査：実技演習 表在感覚・深部感覚の評価方法の演習 事前学習（120分）：テキスト（作業療法評価学）P114～「感覚検査」を読む 感覚検査の実施方法を読み、必要な検査用具を準備する 事後学習（120分）：配布資料とテキストで授業内容を復習・理解する 検査や測定の演習を行い、手順・方法を理解する 第4回 反射検査：講義 反射とは 表在反射、深部反射、病的反射、姿勢反射（バランス） 事前学習（120分）：テキスト（作業療法評価学）P130～「反射検査」「姿勢反射検査」を読む 事後学習（120分）：配布資料とテキストで授業内容を復習・理解する 第5回 反射検査：実技演習 表在反射・深部反射・病的反射・姿勢反射の評価方法の演習 事前学習（120分）：テキスト（作業療法評価学）P130～「感覚検査」を読む 反射検査の実施方法を読み、必要な検査用具を準備する 事後学習（120分）：配布資料とテキストで授業内容を復習・理解する 検査や測定の演習を行い、手順・方法を理解する 第6回 関節可動域測定：講義、実技演習① 関節可動域測定とは 母指・手指・手関節・前腕・肘の関節可動域測定の演習 事前学習（120分）：テキスト（作業療法評価学）P72～「関節可動域測定」を読む 特にP82～表3を見て、実施範囲の参考可動域・基本軸・移動軸・注意点を覚える 事後学習（120分）：配布資料とテキストで授業内容を復習・理解する 動画を参考にしながら検査や測定の演習を行い、手順・方法を理解する 第7回 関節可動域測定：実技演習② 肩関節・肩甲骨・頸部・体幹の関節可動域測定の演習 事前学習（120分）：テキスト（作業療法評価学）P72～「関節可動域測定」を読む 特にP82～表3を見て、実施範囲の参考可動域・基本軸・移動軸・注意点を覚える 事後学習（120分）：配布資料とテキストで授業内容を復習・理解する 動画を参考にしながら検査や測定の演習を行い、手順・方法を理解する 第8回 関節可動域測定：実技演習③ 股関節・膝関節・足関節・足部の関節可動域測定の演習 事前学習（120分）：テキスト（作業療法評価学）P72～「関節可動域測定」を読む 特にP82表3を見て、実施範囲の参考可動域・基本軸・移動軸・注意点を覚える 事後学習（120分）：動画を参考にしながら検査や測定の演習を行い、手順・方法を理解する

	国家試験問題の解答・解説を作成する 定期試験
テキスト	・能登真一 他：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版、医学書院、2023年出版 ・伊藤俊一 他：PT・OTのための測定評価シリーズ1 ROM測定 第3版、三輪書店、2023年出版
参考書・参考資料等	・隈元康夫 他：PT・OTのための測定評価シリーズ2 形態測定・感覚検査・反射検査 第2版、三輪書店、2014年出版 ・星文彦 他：PT・OTのための測定評価シリーズ5 バランス評価－観察と計測 第2版新装版、三輪書店、2024年出版
学生に対する評価	・筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	・月曜日～金曜日（8：30～17：00） 研究室在室時に随時対応する。
備考	総合病院での実務経験を有しており、その経験をふまえ、講義で教授する。

講義科目名称： 身体機能評価学演習Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： Physical Evaluation: Seminar Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
佐々木 孝次			
演習		042203S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	作業療法における基礎的な技能である評価の知識・技術を習得し、得られた結果の解釈について理解できる。徒手筋力検査法、筋緊張検査、協調性検査、上肢機能検査の評価手技を身につける。
授業の概要	徒手筋力検査法、筋緊張検査、協調性検査、上肢機能検査の目的と方法について学び、得られた評価結果の解釈方法について学習する。テキスト、配布資料を使用した講義を行い、その後の演習にて手技を身につける。講義・演習後には、実際の対象者に評価を計画・実施し、実践的な評価手技を学ぶ。
授業計画	第1回 筋力検査：握力検査、ピンチ力検査、徒手筋力検査 事前学習（120分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（120分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認 第2回 徒手筋力検査：頸・体幹 事前学習（120分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（120分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認 第3回 徒手筋力検査：肩甲帯・肩 事前学習（120分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（120分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認 第4回 徒手筋力検査：肘・前腕・手 事前学習（120分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（120分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認 第5回 徒手筋力検査：母指・手指 事前学習（120分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（120分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認 第6回 徒手筋力検査：股・膝・足・足趾 事前学習（120分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（120分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認 第7回 筋緊張検査・協調性検査 事前学習（120分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（120分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認 第8回 上肢機能検査 事前学習（120分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（120分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認 定期試験
テキスト	伊藤俊一 編：PT・OTのための測定評価DVD Series3 MMT―頭部・頸部・上肢 第3版. 三輪書店, 2023 伊藤俊一 編：PT・OTのための測定評価DVD Series4 MMT-体幹・下肢 第3版. 三輪書店, 2023 能登真一 編：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版. 医学書院, 2024
参考書・参考資料等	津山直一 訳：新・徒手筋力検査法 原著第10版. 共同医学出版社, 2020 伊藤俊一 編：PT・OTのための測定評価DVD Series7 片麻痺機能検査・協調性検査. 三輪書店, 2024 長崎重信 編：作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト3 作業療法評価学 改訂第3版. メジカルビュー社, 2022
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	臨床活動等での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、演習で教授する。

講義科目名称： 心理社会機能評価学演習Ⅰ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1	【必修】作業
担当教員			
下川 幸蔵			
演習		042204S10	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	観察と面接について学習し、作業療法士が行う心理社会機能に関する評価技術の基礎を学ぶ機会とする。		
授業の概要	作業療法評価技術の基礎となる、対象者との関係構築や導入面接の方法など、具体的な観察・面接の目的と方法について、演習を通して学習する。また観察・面接から得られた評価結果の解釈方法について学習する。		
授業計画	第1回	心理社会機能評価 総論 心理検査等 事前学習（2時間）：心理検査等について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	第2回 心理社会機能評価 総論 信頼関係・面接の基本等 事前学習（2時間）：信頼関係・面接の基本等について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 第3回 コミュニケーションを育もう 見る力とは 事前学習（2時間）：見る力について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 第4回 コミュニケーションを育もう 聞く力とは 事前学習（2時間）：聞く力について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 第5回 コミュニケーション技法 事前学習（2時間）：コミュニケーション技法について配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 第6回 コミュニケーションを育もう 伝える力 事前学習（2時間）：伝える力について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 第7回 作業療法評価の実際 観察の視点（チェックリストの活用） 事前学習（2時間）：観察の視点について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 第8回 作業療法評価の実際 作業面接 事前学習（2時間）：作業面接について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 定期試験
	第2回	心理社会機能評価 総論 信頼関係・面接の基本等 事前学習（2時間）：信頼関係・面接の基本等について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第3回	コミュニケーションを育もう 見る力とは 事前学習（2時間）：見る力について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第4回	コミュニケーションを育もう 聞く力とは 事前学習（2時間）：聞く力について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第5回	コミュニケーション技法 事前学習（2時間）：コミュニケーション技法について配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第6回	コミュニケーションを育もう 伝える力 事前学習（2時間）：伝える力について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第7回	作業療法評価の実際 観察の視点（チェックリストの活用） 事前学習（2時間）：観察の視点について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第8回	作業療法評価の実際 作業面接 事前学習（2時間）：作業面接について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（2時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 定期試験	
テキスト	山口美和 著：PT・OTのための これで安心 コミュニケーション実践ガイド 第2版．医学書院，2016 山根寛 著：精神障害と作業療法 新版．三輪書店，2017		
参考書・参考資料等	諏訪茂樹 著：援助者のためのコミュニケーションと人間関係 第2版．建帛社，1997		
学生に対する評価	筆記試験 100%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。 質問やフィードバックに関しては、在室時適宜対応する。		
備考	精神科作業療法での実務経験を有しており、その経験を踏まえ教授する。		

講義科目名称： 心理社会機能評価学演習Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： Psychosocial Evaluation: Seminar Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
中島 裕也			
演習		042205S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	高次脳機能障害に対する検査手技について学習することを目的とする。		
授業の概要	高次脳機能障害に対する検査として、視空間認知、注意、記憶、前頭葉機能、知的機能、職業適性に対する検査の目的と方法に習熟し、得られた評価結果の解釈方法について学習する。		
授業計画	第1回	視空間認知の評価 事前学習：半側空間無視について調べる（2時間） 事後学習：BITの方法について理解する（2時間）	
	第2回	注意機能の評価 事前学習：注意機能及び注意障害について調べる（2時間） 事後学習：CATの方法について理解する（2時間）	
	第3回	記憶の評価 事前学習：記憶の分類及び記憶障害について調べる（2時間） 事後学習：実施したRBMT及びWMS-Rの方法について理解する（2時間）	
	第4回	記憶の評価 事前学習：未実施のRBMT及びWMS-Rの方法について理解する（2時間） 事後学習：RBMT及びWMS-Rの方法について理解する（2時間）	
	第5回	遂行機能の評価 事前学習：前頭葉機能及び遂行機能障害について調べる（2時間） 事後学習：BADSの方法について理解する（2時間）	
	第6回	知的機能の評価 事前学習：知的機能検査について調べる（2時間） 事後学習：実施したWAIS-IVの方法について理解する（2時間）	
	第7回	知的機能の評価 事前学習：未実施のWAIS-IVの方法について調べる（2時間） 事後学習：WAIS-IVの方法について理解する（2時間）	
	第8回	職業適性の評価 事前学習：職業適性検査について調べる（2時間） 事後学習：GATBの方法について理解する（2時間）	
	第9回	定期試験	
テキスト	各検査のマニュアル		
参考書・参考資料等	能登真一 編：標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学 第2版、医学書院、2019		
学生に対する評価	レポート試験100% 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜～金曜 9：00～17：00 研究室在室時、適宜対応する。		
備考	病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ教授する。		

講義科目名称： 作業治療学の基礎

授業コード： 305400A

英文科目名称： Foundation of Occupational Therapy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【必修】作業
担当教員			
川端 香			
講義		042301L40	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	作業療法の主要な理論とモデルの特徴を説明できる。 作業に基づく支援の考え方と実践プロセスを理解し整理できる。 クライアント中心の視点から、適切な作業療法アプローチを選択できる。		
授業の概要	本授業では、作業療法の主要な理論やモデル（作業療法科学、CMOP、MOHO など）を学び、作業に基づく支援の考え方を理解する。作業療法のアプローチは、身体機能の改善、新たな生活技能の獲得支援、意味ある作業体験を通じた自己の再構築など、多面的である。これらの視点から理論と実践プロセスを整理し、クライアント中心の作業療法を展開するための基礎を身につける。		
授業計画	第1回 作業療法における理論の役割 事前学習（30分）：作業療法における理論について調べておくこと 事後学習（30分）：授業のまとめ作成 第2回 作業科学の応用 事前学習（30分）：作業科学について調べておくこと 事後学習（30分）：授業のまとめ作成 第3回 カナダ作業遂行モデルの理解 事前学習（30分）：カナダ作業遂行モデルについて調べておくこと 事後学習（30分）：授業のまとめ作成 第4回 カナダ作業遂行モデルの臨床応用 事前学習（30分）：授業資料を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業のまとめ作成 第5回 人間作業モデルの理解 事前学習（30分）：人間作業モデルについて調べておくこと 事後学習（30分）：授業のまとめ作成 第6回 人間作業モデルの臨床応用 事前学習（30分）：授業資料を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業のまとめ作成 第7回 プロセスモデル、リーズニングの理解 事前学習（30分）：プロセスモデル、リーズニングについて調べておくこと 事後学習（30分）：授業のまとめ作成 第8回 治療理論のまとめ 事前学習（30分）：授業資料を読んでおくこと 事後学習（30分）：授業のまとめ作成 第9回 定期試験		
テキスト	配布資料		
参考書・参考資料等			
学生に対する評価	課題レポート 100% 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜～金曜 9：00～17：00（在室時に対応します）		
備考	病院での臨床経験をもとに当講義を進める。		

講義科目名称： 身体障害作業療法学

授業コード： 305500A

英文科目名称： Occupational Therapy for Physical Disability

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
石田 圭二			
講義		042302L20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	身体障害の作業療法の概要について理解する。		
授業の概要	身体障害の作業療法分野で対象となる運動系障害(筋力、持久力、関節可動域、筋緊張、反射・反応、廃用症候群、全身的持久力)、感覚系障害(感覚、知覚、認知)などを理解し、よく用いられる評価手技や治療理論、実際の治療手段について理解を深める。また身体障害分野でよく用いられる装具療法および物理療法について学習する。		
授業計画	第1回	身体障害の対象疾患、身体障害の概要について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第2回	関節可動域制限の原因、最終域感、可動域障害の評価、関節可動域訓練について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第3回	筋力低下の原因、筋力訓練の構成要素、筋力訓練について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第4回	筋緊張のメカニズム、筋緊張異常、筋緊張の評価、筋緊張異常に対する治療について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第5回	不随運動の種類、不随運動の評価、不随運動の治療について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第6回	協調性を可能にするメカニズム、失調症の種類、失調症の評価、失調症の治療について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第7回	感覚・知覚のメカニズム、感覚・知覚の評価、知覚再教育の考え方について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第8回	廃用性症候群の原因、廃用性症候群の種類、廃用性症候群の予防及び治療について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第9回	物理療法①(温熱療法、寒冷療法)について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第10回	物理療法②(電気療法、その他)について 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第11回	装具療法①(装具療法の概要、体幹装具、下肢装具) 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第12回	装具療法②(上肢装具) 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第13回	上肢装具の作成① 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第14回	上肢装具の作成② 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
	第15回	上肢装具の作成③ 事前学習 (30分) : 授業資料で示したテキストの関連した部分を読んでおくこと 事後学習 (30分) : 配布した模擬試験の模範解答を作成すること	
テキスト	標準作業療法学 身体機能作業療法学第4版：医学書院 作業療法技術学9 義肢装具学改訂第3版：協同医書出版社		
参考書・参考資料等			
学生に対する評価	定期試験1000%		
課題(試験やレポート等)に対応する時期	月曜日～金曜日 9:00～17:00		

トピックの方法	
備考	病院での臨床経験をもとに当講義を進める。

講義科目名称： 身体障害作業療法学演習Ⅰ（脳血管障害・神経系疾患） 授業コード： 305600A

英文科目名称： Occupational Therapy for Physical Disability: SeminarⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2	【必修】作業
担当教員			
酒井 涼・熊谷のぞみ・堀 敦志			
演習		042303S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	身体障害作業療法学分野における対象疾患の中で多くを占める脳血管障害と頭部外傷および神経系疾患に関する作業療法プロセスを理解し、作業療法実施において必要な技能を学ぶことを目的とする。		
授業の概要	脳梗塞・脳出血などの脳血管障害について疾患の概要を理解する。脳血管障害に対して、作業療法で用いられる評価を理解し、評価から得られた結果を元に障害像を把握し、治療・指導・援助方法を理解し実施する。 神経系疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、脊髄小脳変性症、ギランバレー症候群、重症筋無力症など）の定義・特徴を把握し、OT評価やプログラムを理解し実施する。		
授業計画	第1回	オリエンテーション 講義予定、講義内容、授業の進め方等の説明（第1～20回 担当：酒井涼）	
		事前学習（30分）：身体障害作業療法学P176-178を読む 事後学習（30分）：身体障害作業療法学P176-178を読む	
	第2回	脳血管障害の原因疾患、脳血管	
		事前学習（30分）：脳の解剖、脳血管について調べる 事後学習（30分）：脳血管障害の原因疾患、脳血管について理解する	
	第3回	画像所見	
		事前学習（30分）：身体障害作業療法学P248-254（画像所見に関する項目）を読む 事後学習（30分）：脳血管障害の画像所見について理解する	
	第4回	病巣と症状、合併症	
		事前学習（30分）：作業療法評価学P248-257を読む 事後学習（30分）：病巣と症状、合併症について理解する	
	第5回	運動麻痺の回復過程、陽性兆候と陰性兆候	
		事前学習（30分）：運動麻痺（片麻痺）について調べる 事後学習（30分）：運動麻痺の回復過程、陽性兆候と陰性兆候について理解する	
	第6回	Brunnstrom test、上田式片麻痺機能テストー上肢	
		事前学習（30分）：作業療法評価学P257-264を読む 事後学習（30分）：上田式片麻痺機能テスト（上肢）の方法について理解する	
	第7回	上田式片麻痺機能テストー手指・下肢	
		事前学習（30分）：作業療法評価学P257-264を読む 事後学習（30分）：上田式片麻痺機能テスト（手指・下肢）の方法について理解する	
	第8回	作業療法評価	
		事前学習（30分）：身体機能作業療法学P182-184（作業療法評価に関する項目）を読む 事後学習（30分）：脳血管障害に関する評価方法について理解する	
	第9回	評価計画の立案ー身体機能・心身構造、活動	
		事前学習（30分）：身体機能作業療法学P182-184（作業療法評価に関する項目）を読む 事後学習（30分）：評価計画の立案について理解する	
	第10回	評価計画の立案ー参加、環境因子、個人因子	
		事前学習（30分）：身体機能作業療法学P182-184（作業療法評価に関する項目）を読む 事後学習（30分）：評価計画の立案について理解する	
	第11回	姿勢分析1	
		事前学習（30分）：姿勢反射および座位バランスについて調べる 事後学習（30分）：姿勢分析の記載方法及び結果の解釈について理解する	
	第12回	評価の実施	
		事前学習（30分）：評価方法について復讐する 事後学習（30分）：評価方法、結果の記載方法、判定について理解する	
	第13回	評価結果の統合と解釈	
		事前学習（30分）：身体機能作業療法学P182-184（作業療法評価に関する項目）を読む 事後学習（30分）：様々な評価結果から原因を考察する過程を理解する	
	第14回	障害像の把握	
		事前学習（30分）：評価結果と原因の考察を整理する 事後学習（30分）：ICF分類に基づき障害像を把握する過程を理解する	
	第15回	予後予測、作業療法の目標、概要ー急性期、回復期、維持期	
		事前学習（30分）：身体機能作業療法学P182-190（作業療法の目標、予後予測に関する項目）を読む 事後学習（30分）：予後予測、作業療法の目標について理解する	
	第16回	作業療法の目標設定	
		事前学習（30分）：身体機能作業療法学P182-190（目標の段階付けや例に関する項目）を読む 事後学習（30分）：作業療法の目標設定について理解する	

	第17回	作業療法のプログラム立案 事前学習（30分）：身体機能作業療法学P182-202（作業療法プログラムに関する項目）を読む 事後学習（30分）：作業療法のプログラムについて理解する
	第18回	作業療法の実践ーポジショニング、関節可動域訓練、筋力訓練 事前学習（30分）：身体機能作業療法学P182-202（作業療法プログラムに関する項目）を読む 事後学習（30分）：ポジショニング、関節可動域訓練、筋力訓練について理解する
	第19回	作業療法の実践ー運動麻痺に対する訓練、ADL訓練 事前学習（30分）：身体機能作業療法学P182-202（作業療法プログラムに関する項目）を読む 事後学習（30分）：運動麻痺に対する訓練、ADL訓練について理解する
	第20回	国家試験対策 事前学習（30分）：第1～19回までの講義内容に目を通す 事後学習（30分）：国家試験の過去問題について理解する
	第21回	オリエンテーション、疾患の概要説明①（第21～30回 担当：熊谷 のぞみ） 授業の進め方を説明する 授業内で取り上げる神経系疾患（多発性筋炎・皮膚炎）の概要について講義を行う
	第22回	事前学習（30分）：身体障害作業療法学の神経筋疾患、神経変性疾患の該当ページ（P255-260）を読んでおく 事後学習（30分）：授業資料や教科書を参考に疾患の理解を深める 疾患の概要説明② 多発性硬化症、ギランバレー症候群の概要について講義を行う
	第23回	事前学習（30分）：身体障害作業療法学の神経筋疾患、神経変性疾患の該当ページ（P336-346）を読んでおく 事後学習（30分）：授業資料や教科書を参考に疾患の理解を深める 疾患の概要説明③ 重症筋無力症、パーキンソン病の概要について講義を行う
	第24回	事前学習（30分）：身体障害作業療法学の神経筋疾患、神経変性疾患の該当ページ（P347-359）を読んでおく 事後学習（30分）：授業資料や教科書を参考に疾患の理解を深める 疾患の概要説明④ 脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症の概要について講義を行う
	第25回	事前学習（30分）：身体障害作業療法学の神経筋疾患、神経変性疾患の該当ページ（P360-374）を読んでおく 事後学習（30分）：授業資料や教科書を参考に疾患の理解を深める 調べ学習① 調べ学習についてオリエンテーションを行う 1つの疾患を担当し、作業療法評価、作業療法治療を調べる 書籍や論文、事例報告などを検索する
	第26回	事前学習（30分）：授業資料や教科書を参考に疾患の理解を深める 事後学習（30分）：調べ学習の延長として、文献を探す、まとめる作業を行う 調べ学習② 第25回の続きを行う
	第27回	事前学習（30分）：調べ学習の延長として、文献を探す、まとめる作業を行う 事後学習（30分）：調べ学習の延長として、文献を探す、まとめる作業を行う 調べ学習③ 第25.26回の続きを行う プレゼンテーションに向けた資料準備や発表練習を行う
	第28回	事前学習（30分）：調べ学習の延長として、文献を探す、まとめる作業を行う 事後学習（30分）：プレゼンテーション準備を行う プレゼンテーション① 調べ学習の内容を発表する（3疾患予定）
	第29回	事前学習（30分）：プレゼンテーション準備を行う 事後学習（30分）：担当以外の疾患について、資料等を参考に理解を深める プレゼンテーション② 調べ学習の内容を発表する（4疾患予定）
	第30回	事前学習（30分）：プレゼンテーション準備を行う 事後学習（30分）：担当以外の疾患について、資料等を参考に理解を深める 授業まとめ、国家試験対策 講義内容、調べ学習のまとめを行う。 国家試験問題対策として、過去問を配布し解答、解説を行う
	定期試験	事前学習（30分）：国試問題の解答・解説を作成する 事後学習（30分）：国試問題の解答・解説を理解する
テキスト	第1～20回 ・能登真一 編：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版、医学書院、2024年出版 ・山口昇 編：標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版、医学書院、2021年出版	

	第21～30回 ・山口昇 編：標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版. 医学書院, 2021年出版
参考書・参考資料等	第1～20回 ・榎間剛：リハビリPT・OT・ST・Dr. のための脳画像の新しい勉強本. 三輪書店, 2019年出版 ・林泰史 他：脳卒中のリハビリテーション 急性期・回復期・生活期のリハビリ訓練. インターメディカ, 2020年出版 第21～30回 ・田中裕次郎 他：改訂第2版 神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ. メジカルビュー社, 2019年出版
学生に対する評価	配分 酒井涼60%、熊谷のぞみ40% 酒井涼：筆記試験及び課題50%、実技試験10% 熊谷のぞみ：筆記試験30%、授業内課題10% 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9:00～17:00 研究室在室時は随時受け付ける。
備考	総合病院での実務経験を有しており、その経験をふまえ、講義で教授する。

講義科目名称： 身体障害作業療法学演習Ⅱ（脊髄損傷・関節リウマチ） 授業コード： 305700A

英文科目名称： Occupational Therapy for Physical Disability: Seminar Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】作業
担当教員			
佐々木 孝次			
演習	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(作業)	042304S30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	脊髄損傷、関節リウマチの作業療法プロセスを理解し、作業療法実践において必要な技能を習得することを目指す。		
授業の概要	脊髄損傷の原因・症状・合併症などを理解する。評価手技、評価から治療計画までの流れ、よく用いられる治療手技について学ぶ。関節リウマチの定義から症状や特徴を理解する。また、評価や治療プログラムについて学ぶ。		
授業計画	第1回	脊髄損傷の原因、症状（脊髄損傷：第1～8回） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第2回	完全麻痺と不全麻痺、高位診断 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第3回	不全損傷の種類、症状、合併症 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第4回	評価、排尿排便管理 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第5回	損傷レベル、残存機能 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第6回	治療、環境整備、福祉用具 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第7回	グループワーク 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第8回	グループワーク 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第9回	関節リウマチの病態、評価（関節リウマチ：第9～15回） 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第10回	基礎療法、薬物療法、手術療法 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第11回	運動療法、物理療法 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第12回	装具療法、術後管理 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第13回	生活指導、環境整備 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第14回	グループワーク 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	第15回	グループワーク 事前学習（30分）：学習範囲における教科書、参考書の確認、書見 事後学習（30分）：学習範囲における実技練習、国家試験問題の傾向確認	
	定期試験		
テキスト	神奈川リハビリテーション病院 編：脊髄損傷リハビリテーションマニュアル 第3版. 医学書院, 2021年（1～8回） 佐藤隆一 編：リハ実践テクニック 関節リウマチ 改訂第2版. メジカルビュー社, 2014年（9～15回）		

参考書・参考資料等	田中宏太佳 編：動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション．医学書院，2010年 中伊豆温泉病院 編：これでできるリウマチの作業療法．南江堂，2000年 (公財) 日本障がい者スポーツ協会 編：障がいのある人のスポーツ指導教本．株式会社ぎょうせい，2016年
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時、適宜対応します。
備考	病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

講義科目名称： 身体障害作業療法学演習Ⅲ（骨折・切断・内部 障害） 授業コード： 305800A

英文科目名称： Occupational Therapy for Physical Disability: Seminar Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】作業
担当教員			
酒井 涼・佐々木 孝次			
演習	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(作業)	042305S30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	身体障害の作業療法分野対象疾患で多くを占める骨折、切断、内部障害の作業療法プロセスを理解し、作業療法実施において必要な技術を学ぶ。		
授業の概要	内部障害 呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病およびターミナルケア、嚥下障害に関して内部障害の原因・症状・合併症などの理解、評価手技の理解と実施、症例検討を通しての評価から治療計画までの理解と実施、よく用いられる治療手技に関する理解と実施などが含まれる。 骨折・切断 骨折、切断の原因・症状・合併症などを理解する。また評価計画から作業療法実施までの流れ、よく用いられる治療手技について学び、実施する。		
授業計画	第1回	呼吸器疾患とは、定義、分類、一般的評価・治療について（第1～8回：担当 酒井 涼） 呼吸器疾患の定義、分類、一般的評価・治療について学ぶ	
	第2回	事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の該当範囲（呼吸器疾患）を見ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く 呼吸器疾患に対するOT評価・OTアプローチについて 呼吸器疾患に対するOT評価・OTアプローチについて学ぶ	
	第3回	事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の該当範囲（呼吸器疾患）を見ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く 循環器疾患とは、定義、分類、一般的評価・治療について 循環器疾患の定義、分類、一般的評価・治療について学ぶ	
	第4回	事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の該当範囲（循環器疾患）を見ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く 循環器疾患に対するOT評価・OTアプローチについて 循環器疾患に対するOT評価・アプローチについて学ぶ	
	第5回	事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の該当範囲（循環器疾患）を見ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く 糖尿病とは、定義、分類、一般的評価・治療について 糖尿病の定義、分類、一般的評価・治療について学ぶ	
	第6回	事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の該当範囲（糖尿病）を見ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く 糖尿病に対するOT評価・OTアプローチについて 糖尿病に対するOT評価・OTアプローチについて学ぶ	
	第7回	事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の該当範囲（糖尿病）を見ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く ターミナルケアの概要、ターミナルケアにおける作業療法士の役割について ターミナルケアの概要、ターミナルケアにおける作業療法士の役割について学ぶ	
	第8回	事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の該当範囲（がん疾患）を見ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く 嚥下障害、気管吸引について 嚥下障害、気管吸引の概要と作業療法士の役割について学ぶ	
	第9回	事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の該当範囲（嚥下障害、気管吸引）を見ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題を解く 骨関節疾患の分類と評価（第9～15回：担当 佐々木 孝次） 骨関節疾患の分類と評価について学ぶ	
	第10回	事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の骨折（概要、評価、治療）該当範囲を見ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す 骨関節疾患の合併症と治療 骨関節疾患におこる合併症と治療方法について学ぶ	

	第11回 事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の骨折（各部位の骨折概要）該当範囲を見 ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題の解答・解説を作成する 末梢神経損傷・絞扼性障害の評価・治療 末梢神経損傷・絞扼性障害に対する評価や治療について学ぶ 第12回 事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の末梢神経損傷・絞扼性障害（概要、評 価、治療）該当範囲を見 ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題の解答・解説を作成する 腱損傷の評価・治療 腱損傷に対する評価や治療について学ぶ 第13回 事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の腱損傷（概要、評価、治療）該当範囲を 見 ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題の解答・解説を作成する 熱傷の評価・治療 熱傷に対する評価や治療について学ぶ 第14回 事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の熱傷（概要、評価、治療）該当範囲を見 ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題の解答・解説を作成する 切断の基礎知識 切断についての基礎知識と評価・治療について学ぶ 第15回 事前学習（30分）：テキスト（身体機能作業療法学）の切断（切断、義肢、治療）該当範囲を見 ておく 事後学習（30分）：配布資料とテキストを見直す、国家試験問題の解答・解説を作成する 手の基礎知識とハンドセラピーの評価・治療 手部の基本的な知識と作業療法士が関わるハンドセラピーとは何か、評価や治療について学ぶ 定期試験 事前学習（30分）：配布資料の「ハンドセラピーの概論」「手指骨折」「ホームプログラム」該 当範囲を見 ておく 事後学習（30分）：配布資料を見直す、国家試験問題の解答・解説を作成する
テキスト	<第1～8回> ・能登真一 他：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版. 医学書院, 2021年出版 ・山口昇 他：標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版. 医学書院, 2021年出版 <第9～15回> ・能登真一 他：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版. 医学書院, 2021年出版 ・山口昇 他：標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版. 医学書院, 2021年出版
参考書・参考資料等	・（公財）日本障がい者スポーツ協会（編），障がいのある人のスポーツ指導教本，株式会社ぎょうせい <第1～8回> ・高橋哲也 他：ビジュアル実践リハ 呼吸・心臓リハビリテーション. 改訂第2版. 羊土社. 2021年出版 ・高橋仁美 他：動画でわかる呼吸リハビリテーション. 第5版. 中山書店. 2020年出版 ・上月正博：心臓リハビリテーション. 第2版. 医歯薬出版株式会社. 2019年出版 ・上杉雅之 他：PT・OT入門 イラストでわかる内部障害. 医歯薬出版株式会社. 2020年出版 <第9～15回> ・鎌倉矩子 他：作業療法士のためのハンドセラピー入門 第2版. 三輪書店, 2006年出版 ・斎藤慶一郎：リハ実践テクニック ハンドセラピー. メジカルビュー社, 2014年出版
学生に対する評価	配分 酒井 涼50%、佐々木 孝次50% 酒井 涼：筆記試験50% 佐々木 孝次：筆記試験50%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜～金曜日（8：30～17：00） 研究室在室時随時は随時受け付けます。
備考	総合病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

講義科目名称： 精神障害作業療法学

授業コード： 305900A

英文科目名称： Occupational Therapy for Mental Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
下川 幸藏			
講義		042306L20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	精神科作業療法の概論について理解する。		
授業の概要	精神科作業療法の概論と現代社会における精神障害とその特性の捉え方、治療理論、歴史的変遷からみえる精神科作業療法の現在の役割、精神医学的視点での障害の捉え方などについて学習する。		
授業計画	第1回	病いのとらえ方 事前学習（0.5時間）：病いのとらえ方について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第2回	精神障害作業療法を取り巻く歴史と現状 事前学習（0.5時間）：精神障害作業療法を取り巻く歴史と現状について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第3回	精神科作業療法の目的と役割 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の目的と役割について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第4回	精神科作業療法の治療・支援構造 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の治療・支援構造について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第5回	作業療法士の専門性と自己の治療的利用 事前学習（0.5時間）：作業療法士の専門性と自己の治療的利用について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第6回	精神科作業療法の対象関係と治療機序 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の対象関係と治療機序について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第7回	精神科作業療法が行われる場 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法が行われる場について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第8回	精神科作業療法を行う上での理論 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法を行う上での理論について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第9回	精神科作業療法に関連する薬物療法 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法に関連する薬物療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第10回	精神科作業療法に関連するその他療法 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法に関連するその他療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第11回	精神障害を考える 1 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、「精神障害」という言葉について考える 事後学習（0.5時間）：他の受講者とのディスカッションを通し、改めて「精神障害」という言葉を考える	
	第12回	精神障害を考える 2 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、「精神障害」という言葉について考える 事後学習（0.5時間）：他の受講者とのディスカッションを通し、改めて「精神障害」という言葉を考える	
	第13回	精神科作業療法の実際 1 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、精神科作業療法の概要を理解しておくこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第14回	精神科作業療法の実際 2 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、精神科作業療法の概要を理解しておくこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第15回	当事者研究という考え方 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、精神科作業療法の概要を理解しておくこと 事後学習（0.5時間）：当事者研究を通して、受講生が学習したことをまとめること 定期試験	
テキスト	山根寛 著：精神障害と作業療法 新版. 三輪書店，2017		

参考書・参考資料等	上野武治 編：標準理学療法・作業療法学 精神医学 第4版. 医学書院, 2015 長崎重信 監修：作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 精神障害作業療法学 改訂第2版. メジカルビュー社, 2015 香山明美, 小林正義, 鶴見隆彦 編：生活を支援する 精神障害作業療法 第2版. 医歯薬出版株式会社, 2014 早坂友成 編：精神科作業療法の理論と技術. メジカルビュー社, 2018
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。 質問やフィードバックに関しては、在室時適宜対応する。
備考	精神科作業療法での実務経験を有しており、その経験を踏まえ教授する。

講義科目名称： 精神障害作業療法学演習Ⅰ（作業治療法） 授業コード： 306000A

英文科目名称： Occupational Therapy for Mental Health：Seminar
Ⅰ (Mental Activity Treatment)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
下川 幸蔵			
演習		042307S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	精神障害をもつ人の生きづらさや社会生活の困難さに対する評価・支援方法を学ぶ機会とする。		
授業の概要	精神科作業療法分野の対象疾患の中で多くを占める、統合失調症と気分障害に対する作業療法について学び、事例検討を通して、症状、評価、治療について学習する。		
授業計画	第1回	精神科作業療法の基本的な流れ 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の基本的な流れについて教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第2回	精神科作業療法の評価 情報収集 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の評価 情報収集について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第3回	精神科作業療法の評価 検査 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の評価のうち検査について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第4回	精神科作業療法の評価 作業面接 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の評価のうち作業面接について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第5回	精神科作業療法の評価 観察 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の評価のうち観察について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第6回	精神科作業療法の評価 集団評価 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の評価のうち集団評価について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第7回	精神科作業療法の評価 評価結果の記録 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の評価のうち評価結果の記録について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第8回	精神科作業療法の治療目標及び計画 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の治療目標及び計画について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第9回	精神科作業療法の基本原則 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法の基本原則について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第10回	統合失調症スペクトラムの作業療法 診断基準・分類・治療機序 事前学習（0.5時間）：統合失調症スペクトラムの作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第11回	統合失調症スペクトラムの作業療法 思考の特徴と行動特性 事前学習（0.5時間）：統合失調症スペクトラムの作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第12回	統合失調症スペクトラムの作業療法 評価、支援 事前学習（0.5時間）：統合失調症スペクトラムの作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第13回	気分障害の作業療法 診断基準・分類・治療機序 事前学習（0.5時間）：気分障害の作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第14回	気分障害の作業療法 思考の特徴と行動特性 事前学習（0.5時間）：気分障害の作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第15回	気分障害の作業療法 評価、支援 事前学習（0.5時間）：気分障害の作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 定期試験	

テキスト	山根寛 著：精神障害と作業療法 新版．三輪書店，2017 山根寛 著：ひとと集団・場 新版．三輪書店，2018
参考書・参考資料等	上野武治 編：標準理学療法・作業療法学 精神医学 第4版．医学書院，2015 長崎重信 監修：作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 精神障害作業療法学 改訂第2版．メジカルビュー社，2015 香山明美，小林正義，鶴見隆彦 編：生活を支援する 精神障害作業療法 第2版．医歯薬出版株式会社，2014 早坂友成 編：精神科作業療法の理論と技術．メジカルビュー社，2018
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。 質問やフィードバックに関しては、在室時適宜対応する。
備考	精神科作業療法での実務経験を有しており、その経験を踏まえ教授する。

講義科目名称： 精神障害作業療法学演習Ⅱ（臨床関係論）

授業コード： 306100A

英文科目名称： Occupational Therapy for Mental Health：Seminar
Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】作業
担当教員			
下川 幸藏			
演習		042308S30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	現代社会におけるストレス関連障害の背景を考慮しながら、社会生活の困難さに対する支援方法を学ぶ機会とする。		
授業の概要	現代社会におけるストレス関連障害に対する作業療法について学び、症状、評価、治療について学習する。また、生活行為向上マネジメント等を用いて精神科作業療法における思考過程や臨床推論を学習する。		
授業計画	第1回	現代社会におけるストレス、個別での精神科作業療法 事前学習（0.5時間）：現代社会におけるストレス、個別での精神科作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第2回	神経症圏の精神認知機能の障害の作業療法 事前学習（0.5時間）：神経症圏の精神認知機能の障害の作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第3回	摂食に関する障害の作業療法 事前学習（0.5時間）：摂食に関する障害の作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第4回	物質関連障害の作業療法 事前学習（0.5時間）：物質関連障害の作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第5回	パーソナリティ障害の作業療法 事前学習（0.5時間）：パーソナリティ障害の作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第6回	その他精神認知機能の障害の作業療法 事前学習（0.5時間）：その他精神認知機能の障害の作業療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第7回	集団の治療的応用 事前学習（0.5時間）：集団の治療的応用について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第8回	認知行動療法 概論 事前学習（0.5時間）：認知行動療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第9回	認知行動療法 実践 事前学習（0.5時間）：認知行動療法について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第10回	精神障害者ケアアセスメント1 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、各疾患における精神科作業療法を理解しておくこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第11回	精神障害者ケアアセスメント2 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、各疾患における精神科作業療法を理解しておくこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第12回	事例検討1 生活行為向上マネジメント（MTDLP）を用いての事例検討 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、各疾患における精神科作業療法を理解し、また生活行為向上マネジメントについて復習をしておくこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第13回	事例検討2 生活行為向上マネジメント（MTDLP）を用いての事例検討 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、各疾患における精神科作業療法を理解し、また生活行為向上マネジメントについて復習をしておくこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第14回	事例検討3 生活行為向上マネジメント（MTDLP）を用いての事例検討 事前学習（0.5時間）：これまでの授業内容を見直し、各疾患における精神科作業療法を理解し、また生活行為向上マネジメントについて復習をしておくこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第15回	精神科作業療法における地域支援・就労支援の実際 事前学習（0.5時間）：精神科作業療法における地域支援・就労支援の実際について教科書を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること 定期試験	

テキスト	山根寛 著：精神障害と作業療法 新版．三輪書店，2017 山根寛 著：ひとと集団・場 新版．三輪書店，2018 一般社団法人日本作業療法協会 編著：事例で学ぶ生活行為向上マネジメント 第2版．医歯薬出版，2021
参考書・参考資料等	上野武治 編：標準理学療法・作業療法学 精神医学 第4版．医学書院，2015 長崎重信 監修：作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 精神障害作業療法学 改訂第2版．メジカルビュー社，2015 香山明美，小林正義，鶴見隆彦 編：生活を支援する 精神障害作業療法 第2版．医歯薬出版株式会社，2014 早坂友成 編：精神科作業療法の理論と技術．メジカルビュー社，2018
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。 質問やフィードバックに関しては、在室時適宜対応する。
備考	精神科作業療法での実務経験を有しており、その経験を踏まえ教授する。

講義科目名称： 発達障害作業療法学

授業コード： 306200A

英文科目名称： Occupational Therapy for Developmental Disorders

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
蓑輪 千帆			
講義	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(作業)	042309L20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	発達障害分野の代表疾患についての基礎知識および作業療法の実践を学ぶ。	
授業の概要	発達障害の作業療法実践に必要なとされる基礎知識および技術について理解する。疾患に対する理解を深め、発達障害分野の作業療法士に求められる役割などを評価や治療計画、対象児にかかわる人への支援方法などの治療技術を含めて学習する。 発達障害分野の運動機能疾患である脳性麻痺、重症心身障害、筋ジストロフィー、二分脊椎についての理解を深める。	
授業計画	第1回	発達障害分野の作業療法について 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第1章に目を通しておく(0.5時間) 事後学習：発達障害分野の作業療法の歴史や作業療法士の役割について整理する(0.5時間)
	第2回	正常発達、姿勢反射・反応 事前学習：テキスト「作業治療学3発達障害」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：反射・反応について整理する(0.5時間)
	第3回	粗大運動の発達 事前学習：テキスト「作業治療学3発達障害」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：粗大運動の発達の流れについて整理する(0.5時間)
	第4回	巧緻動作、口腔機能の発達 事前学習：テキスト「作業治療学3発達障害」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：巧緻動作、口腔機能の発達の流れについて整理する(0.5時間)
	第5回	認知機能、遊びの発達 事前学習：テキスト「作業治療学3発達障害」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：認知機能、遊びの発達の流れについて整理する(0.5時間)
	第6回	日常生活、言語、社会性の発達 事前学習：テキスト「作業治療学3発達障害」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：日常生活、言語、社会性の発達の流れについて整理する(0.5時間)
	第7回	脳性麻痺の概念・基礎知識① 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅱに目を通す(0.5時間) 事後学習：脳性麻痺の定義や病態について整理する(0.5時間)
	第8回	脳性麻痺の概念・基礎知識② 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅱに目を通す(0.5時間) 事後学習：脳性麻痺に対する治療について整理する(0.5時間)
	第9回	脳性麻痺の評価・治療 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅱに目を通す(0.5時間) 事後学習：脳性麻痺児に対する作業療法評価・治療理論について整理する(0.5時間)
	第10回	脳性麻痺の作業療法の実践 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅱに目を通す(0.5時間) 事後学習：日常生活支援を含めた脳性麻痺児の支援について整理する(0.5時間)
	第11回	重症心身障害児の作業療法の実践 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅴに目を通す(0.5時間) 事後学習：重症心身障害児の定義や病態について整理する(0.5時間)
	第12回	筋ジストロフィーの概念・基礎知識 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅷに目を通す(0.5時間) 事後学習：筋ジストロフィーの定義や病態について整理する(0.5時間)
	第13回	筋ジストロフィーの評価・治療 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅷに目を通す(0.5時間) 事後学習：筋ジストロフィーに対する作業療法評価・治療理論について整理する(0.5時間)
	第14回	筋ジストロフィーの作業療法の実践 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅷに目を通す(0.5時間) 事後学習：日常生活支援を含めた筋ジストロフィー児の支援について整理する(0.5時間)
	第15回	二分脊椎の作業療法の実践 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅸ、Ⅹに目を通す(0.5時間) 事後学習：二分脊椎の定義や病態について整理する(0.5時間) 定期試験
テキスト	加藤寿宏編：標準作業療法学 専門分野 発達過程作業療法 第3版、医学書院、2020年出版 田村良子編：作業療法学全書改訂第3版第6巻 作業治療学3 発達障害、共同医書出版社、2012年出版	
参考書・参考資料等	1) EVA BOWER編/上杉雅之監：脳性まひの家庭療育 第4版 医歯薬出版、2014年出版 2) 岩崎清隆・岸本光夫著：発達障害と作業療法 第2版 基礎編 実践編、三輪書店、2014年出版	

	3) (公財) 日本障がい者スポーツ協会(編), 障がいのある人のスポーツ指導教本, 株式会社ぎょうせい
学生に対する評価	筆記試験100%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 研究室在室時、随時受け付けます。
備考	病院で発達障害児に対する作業療法を実践した経験を基に、当講義を進める。

講義科目名称： 発達障害作業療法学演習

授業コード： 306300A

英文科目名称： Occupational Therapy for Developmental Disorders:
Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】作業
担当教員			
蓑輪 千帆			
演習		042310S30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	発達障害に対する作業療法の問題解決方法を理解し、実際の演習を通して具体的介入方法を学ぶことを目的とする。		
授業の概要	発達障害領域では障害が多岐にわたり、広範な年齢を対象とする。それらの対象に作業療法を行う際に必要とされる基礎知識および技術について理解する。特に自閉症スペクトラム、注意欠如多動性障害、学習障害を中心に理解を深める。 発達障害領域の評価の考え方、種類、方法、結果の解釈について実際の演習を通して学ぶ。さらに、発達障害に対する作業療法の問題解決方法を理解し、具体的な介入方法を学ぶ。		
授業計画	第1回 発達障害領域の作業療法の理念と目的、発達障害領域における作業療法士の役割と実施形態 事前学習：テキスト「作業治療学3 発達障害」第1章に目を通す(0.5時間) 事後学習：発達障害分野における作業療法士の具体的な役割について整理する(0.5時間) 第2回 発達障害領域の作業療法評価・治療および援助の実践課程 事前学習：テキスト「作業治療学3 発達障害」第2章に目を通す(0.5時間) 事後学習：発達障害分野における作業療法の具体的な流れを整理する(0.5時間) 第3回 発達障害領域における地域支援と支援制度 事前学習：テキスト「作業治療学3 発達障害」第4章、第6章に目を通す(0.5時間) 事後学習：地域における発達支援、特別支援教育制度について整理する(0.5時間) 第4回 感覚統合理論とは 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第1章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合理論の考え方について整理する(0.5時間) 第5回 感覚統合の基礎となる感覚の働きと発達過程 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第2章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合の基礎となる各感覚について整理する(0.5時間) 第6回 身体図式・両側統合・運動企画・注意・言葉の発達と読み書きについて 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第2章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合の発達過程について整理する(0.5時間) 第7回 感覚統合障害とは 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合障害について整理する(0.5時間) 第8回 感覚統合障害と関連疾患 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第4章Ⅳに目を通す(0.5時間) 事後学習：神経発達症群について疾患の定義や病態を整理する(0.5時間) 第9回 臨床観察の目的・実施方法 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第2章に目を通す(0.5時間) 事後学習：観察による評価のポイントについて整理する(0.5時間) 第10回 感覚統合評価の目的・実施方法 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合における評価を整理する(0.5時間) 第11回 感覚統合評価の実施 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合障害に対する評価について整理する(0.5時間) 第12回 感覚統合評価の結果の解釈 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合評価の解釈について整理する(0.5時間) 第13回 感覚統合障害をもつ子どもに対する作業療法支援 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合療法の具体的な支援方法について整理する(0.5時間) 第14回 感覚統合療法における支援の実際（触覚防衛・重力不安） 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合理論を用いた触覚防衛・重力不安に対する支援を整理する(0.5時間) 第15回 感覚統合療法における支援の実際（姿勢反応・両側統合・身体図式・運動企画） 事前学習：テキスト「みんなの感覚統合」第3章に目を通す(0.5時間) 事後学習：感覚統合理論を用いた姿勢反応・両側統合・身体図式・運動企画に対する支援を整理する(0.5時間) 定期試験		
テキスト	田村良子編：作業療法学全書〔改定第3版〕 第6巻 作業治療学3 発達障害、共同医書出版社、2010年出版 佐藤剛著：[みんなの感覚統合]その理論と実践、パシフィックサプライ社、1996年出版 加藤寿宏編：標準作業療法学 専門分野 発達過程作業療法学 第3版、医学書院、2020年出版		

参考書・参考資料等	土田玲子監：感覚統合Q&A改訂第2版子どもの理解と援助のために、共同医書出版社、2013年出版 岩崎清隆著：発達障害の作業療法[基礎編][実践編]第2版、三輪書店、2015年出版 上杉雅之監：イラストでわかる発達障害の作業療法、医歯薬出版株式会社、2016年出版
学生に対する評価	筆記試験100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 研究室在室時、随時受け付けます。
備考	病院で発達障害児への作業療法を実践した経験を基に、当講義を進める。

講義科目名称： 高次脳機能障害学

授業コード：

英文科目名称： Higher Brain Dysfunction

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
川端 香・中島 裕也			
講義		042311L20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	中枢神経系の障害で出現する高次神経障害における症状、評価、治療について概説し、それらを把握するために必要な評価法、治療手技などの技能について学ぶ。		
授業の概要	1. 脳の器質的障害でおこる高次神経障害は多岐にわたり複雑であるため、よりの確に判断するために各障害の概念、症状について学習する。 2. 各障害について、臨床場面でよく使用される基本的な検査法の目的・方法を理解し解釈ができるようにする。 3. 各障害に対する問題解決方法を理解し、具体的な介入方法を学習する。		
授業計画	第1回	失語、失認 (川端) 予習：教科書P68-80, 97-110 (0.5時間)	
	第2回	復習：付録web動画1-5, 13 (0.5時間) 失行（運動、行為の障害） (川端) 予習：教科書P81-97 (0.5時間)	
	第3回	復習：付録web動画6-11 (0.5時間) 半側空間無視、右半球損傷 (川端) 予習：教科書P112-128 (0.5時間)	
	第4回	復習：付録web動画12, 14-20 (0.5時間) まとめ1（失語、失認、失行、半側空間無視、右半球損傷） (川端) 予習：第1～4回の講義内容 (0.5時間)	
	第5回	復習：第1～5回の講義内容 (0.5時間) 注意障害 (川端) 予習：教科書P47-56 (0.5時間)	
	第6回	復習：教科書P47-56 (0.5時間) 記憶障害 (川端) 予習：教科書P56-68 (0.5時間)	
	第7回	復習：教科書P56-68 (0.5時間) 前頭葉障害 (川端) 予習：教科書P128-155 (0.5時間)	
	第8回	復習：付録web動画21 (0.5時間) まとめ2（注意障害、記憶障害、前頭葉障害） (川端) 予習：第6～9回の講義内容 (0.5時間)	
	第9回	復習：第6～10回の講義内容 (0.5時間) 事例検討 障害像の考察1 (中島) 予習：教科書26-39 (0.5時間)	
	第10回	復習：該当する障害に関する教科書ページ (P47-155) (0.5時間) 事例検討 障害像の考察2 (中島) 予習：該当する障害に関する教科書ページ (P47-155) (0.5時間)	
	第11回	復習：該当する障害に関する教科書ページ (P47-155) (0.5時間) 事例検討 評価計画の立案1 (中島)	

	予習：該当する障害に関する教科書ページ（P47-155）（0.5時間） 復習：該当する障害に関する教科書ページ（P47-155）（0.5時間） 事例検討 評価計画の立案2 （中島） 予習：該当する障害に関する教科書ページ（P47-155）（0.5時間） 復習：該当する障害に関する教科書ページ（P47-155）（0.5時間） 事例検討 治療プログラムの立案1 （中島） 予習：該当する障害に関する教科書ページ（P174～258）（0.5時間） 復習：該当する障害に関する教科書ページ（P174～258）（0.5時間） 事例検討 治療プログラムの立案2 （中島） 予習：該当する障害に関する教科書ページ（P174～258）（0.5時間） 復習：該当する障害に関する教科書ページ（P174～258）（0.5時間） 事例検討 発表 （中島） 予習：発表内容の確認、発表練習（0.5時間） 復習：発表内容の加筆・修正（0.5時間） 定期試験
テキスト	能登真一 編：標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学 第2版. 医学書院, 2019
参考書・参考資料等	石合純夫 著：高次脳機能障害 第3版. 医歯薬出版株式会社, 2022 長崎重信 監修, 鈴木孝治 編：第3版 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 高次脳機能障害学. 株式会社メジカルビュー社, 2022
学生に対する評価	筆記試験のみ100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9:00～17:00 研究室在室時、適宜対応します。
備考	病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

講義科目名称： 老年期障害作業療法学

授業コード： 306500A

英文科目名称： Occupational Therapy for Senile Disorders

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
堀 敦志			
講義		042312L20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	廃用症候群や認知症など高齢期に多い疾患、および高齢期に対する作業療法を理解する。		
授業の概要	高齢社会といわれる我が国の現状を踏まえ、対象者の身体機能・精神機能の変化やそれに伴って起こる生活上の動作・行動・行為への援助法などについて学習し、作業療法の役割や考え方などを学習する。また症例の問題を分析し、必要な医学的知識を獲得し、問題解決の方法を考える。老年期障害として、廃用症候群、認知症などを取り上げ、それらの作業療法および集団作業療法やその他の療法について学習する。		
授業計画	第1回	高齢社会 事前学習：テキストP3-13（0.5時間） 事後学習：高齢社会の問題点および老化と加齢の違いについて理解できる（0.5時間）	
	第2回	高齢者の課題 事前学習：テキストP14-27（0.5時間） 事後学習：高齢者の身体的・心理的特性について理解できる（0.5時間）	
	第3回	社会制度 事前学習：テキスト28-32（0.5時間） 事後学習：社会制度について理解できる（0.5時間）	
	第4回	高齢者像について考える 事前学習：テキストP33-65（0.5時間） 事後学習：高齢者の時代背景について理解する（0.5時間）	
	第5回	高齢期の作業療法 事前学習：テキストP81-101（0.5時間） 事後学習：高齢期作業療法およびリスクについて理解できる（0.5時間）	
	第6回	介護予防の作業療法 事前学習：テキストP102-140（0.5時間） 事後学習：病期・実施場所・介護予防について理解できる（0.5時間）	
	第7回	廃用症候群に対する対策 事前学習：テキストP41-52（0.5時間） 事後学習：廃用症候群の様々な症状について理解できる（0.5時間）	
	第8回	健康づくりと身体活動とは 事前学習：テキスト53-65（0.5時間） 事後学習：健康づくりのための運動指針について説明できる（0.5時間）	
	第9回	老年期うつ病とは 事前学習：テキストP63-64（0.5時間） 事後学習：老年期うつ病に対する対処法を理解できる（0.5時間）	
	第10回	認知症とは 事前学習：テキストP66-77（0.5時間） 事後学習：認知症について理解できる、記憶の過程について説明できる（0.5時間）	
	第11回	認知症を引き起こす疾患について 事前学習：テキストP66-77（0.5時間） 事後学習：アルツハイマー型認知症（AD）、脳血管性認知症（VD）、レビー小体型認知症（DLB）、前頭側頭型認知症（FTD）や軽度認知障害（MCI）などの疾患の違いについて理解できる、（0.5時間）	
	第12回	認知症の症状について 事前学習：テキストP141-156（0.5時間） 事後学習：中核症状と辺縁症状について理解できる、BPSDの発生原因について理解し、その対処法について説明できる（0.5時間）	
	第13回	認知症高齢者の作業療法 事前学習：テキストP144-156（0.5時間） 事後学習：認知症の作業療法の捉え方を理解できる（0.5時間）	

	第14回 認知症高齢者の薬物療法と非薬物療法 事前学習：テキストP185-217（0.5時間） 第15回 事後学習：認知症の作業療法の治療について理解できる（0.5時間） まとめ 事前学習：テキストP81-90（0.5時間） 事後学習：老年期作業療法について整理できる（0.5時間）
テキスト	松房利憲編：標準作業療法学 専門分野 高齢期作業療法学 第4版，医学書院，2024. 配布資料
参考書・参考資料等	小川敬之，竹田徳則 編：認知症の作業療法 ソーシャルインクルージョンをめざして 第2版，医歯薬出版株式会社，2016. 鈴木隆雄 監修：基礎からわかる軽度認知障害（MCI）－効果的な認知症予防を目指して，医学書院，2015.
学生に対する評価	定期試験（筆記試験100%）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00
備考	介護老人保健施設や訪問リハビリテーションおよび精神科デイケアでの実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。

講義科目名称： 老年期障害作業療法学演習

授業コード： 306600A

英文科目名称： Occupational Therapy for Senile Disorders: Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
堀 敦志			
演習		042313S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	高齢者に対する検査の目的を理解し、実施することができる。		
授業の概要	高齢社会といわれる我が国の現状を踏まえ、対象者の身体機能・精神機能の変化や、それに伴って起こる生活上の動作・行動・行為への援助法などについて学習し、作業療法の役割や考え方などを主に演習にて学習する。老年期障害領域において必要とされる知的機能検査（HDS-R、MMS、NMスケール）、QOL評価（老研式活動能力視標、PGCモラールスケール、WHO/QOL26）などの基本的な評価項目について学習する。		
授業計画	第1回	上肢機能とは 上肢機能（到達機能、把握・把持機能、物品操作機能）について説明できる 下肢機能、体幹機能について説明できる 事前学習：教科書等を使用して上肢機能について学習する。（30分） 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。（30分）	
	第2回	認知症の検査について 認知症の検査について理解できる 事前学習：教科書等を使用して認知症の評価について学習する。（30分） 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。（30分）	
	第3回	言語性検査（HDS-R）、言語・動作性検査（MMS、かなひろいテスト、JART） 言語性検査としてHDS-Rを実践し、解釈できる 言語・動作性検査（MMS、かなひろいテスト、JART） 事前学習：教科書等を使用してHDS-R、MMS、かなひろいテストについて学習する。（30分） 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。（30分）	
	第4回	観察式検査（障害老人・認知症高齢者の日常生活自立度判定基準） 観察式の評価について理解できる 障害老人・認知症高齢者の日常生活自立度判定を実践し、解釈できる 事前学習：教科書等を使用して観察式の検査について学習する。（30分） 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。（30分）	
	第5回	観察式検査（柄澤式、NMスケール、N-ADL） 観察式の評価について理解できる 柄澤式、NMスケール、N-ADLを実践し、解釈できる 事前学習：教科書等を使用して観察式の検査について学習する。（30分） 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。（30分）	
	第6回	観察式検査（CDR、FAST） 観察式の評価について理解できる CDR、FASTを実践し、解釈できる 事前学習：教科書等を使用して観察式の検査について学習する。（30分） 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。（30分）	
	第7回	観察式検査（NPI、DBD、J-ZBI、DASC） 観察式の評価について理解できる NPI-Q、DBD、J-ZBI、DASCを実践し、解釈できる 事前学習：教科書等を使用して観察式の検査について学習する。（30分） 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。（30分）	
	第8回	MCI検査（MoCA-J） MCIの検査について理解できる MoCA-Jを実践し、解釈できる 言語性、動作性、観察式の違いを説明できる 認知症の検査を必要に応じ選択できる 事前学習：教科書等を使用して認知症の検査について学習する。（30分） 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。（30分）	
	第9回	抑うつ検査（SDS、GDS、GDS-15） 抑うつ尺度について理解できる SDS、GDS、GDS-15を実践し、解釈できる 事前学習：教科書等を使用して抑うつ検査について学習する。（30分） 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。（30分）	
	第10回	QOL評価（老研式活動能力指標、基本チェックリスト）	

	QOLの構成要素について理解できる QOLの重要性について理解できる TMIG, 基本チェックリストを実践し、理解できる 第11回 事前学習：教科書等を使用してQOLの評価について学習する。(30分) 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。(30分) QOL評価 (PGCモラールスケール、生活満足度A、生活満足度K、VAS) QOLについて説明できる PGC、LSIA、LSIK、VASを実践し、解釈できる 第12回 事前学習：教科書等を使用してQOL評価について学習する。(30分) 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。(30分) QOL評価 (SF-36v2、WHO/QOL26、WHO/SUBI) QOLについて説明できる SF-36v2、WHO/QOL26、WHO/SUBIを実践し、解釈できる 第13回 事前学習：教科書等を使用してQOL評価について学習する。(30分) 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。(30分) 興味・役割評価 (興味関心チェックリスト、パラチェック老人評定尺度、役割チェックリスト) 興味の強さや方向性について理解できる NPI・高齢者版チェックリスト、興味・関心チェックリスト、パラチェック老人評定尺度、役割チェックリストを実践し、解釈できる 第14回 役割活動の重要性について理解できる 作業療法への応用について理解できる 事前学習：教科書等を使用して興味・役割評価について学習する。(30分) 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。(30分) 集団評価 (発達のグループ、ソシオメトリー、ソシオマトリックス) 集団評価の意味が理解できる 集団評価の手法が理解できる 第15回 事前学習：教科書等を使用して集団評価について学習する。(30分) 事後学習：実施した評価法を、教科書等を使用して確認する。(30分) まとめ (高齢者の特徴) それぞれの評価尺度について整理できる 事前学習：教科書等を使用して老年期障害分野の評価法について学習する。(30分) 事後学習：国家試験問題をもとに、老年期障害分野で実施する評価についてまとめる。(30分)
テキスト	大塚俊男編：高齢者のための知的機能検査の手引き，ワールドプランニング，2021. 岩崎テル子編：標準作業療法学 作業療法評価学 第4版，医学書院，2024. 配布資料
参考書・参考資料等	内山靖編：臨床評価指標入門 適応と解釈のポイント，協同医書出版社，2003.
学生に対する評価	定期試験(筆記試験100%)
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00
備考	介護老人保健施設や訪問リハビリテーションおよび精神科デイケアでの実務経験を有しており、その経験を踏まえ、演習形式で教授する。

講義科目名称： 日常生活活動学

授業コード：

英文科目名称： Activities of Daily Living

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
熊谷 のぞみ			
講義		042314L20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	・日常生活活動および手段的日常生活活動の概念・分類を理解できる ・日常生活活動の評価方法、また障害に対してのアプローチ方法を理解できる		
授業の概要	・日常生活活動および手段的日常生活活動の概念や分類について学ぶ。さらに食事動作などの各活動動作の特徴や活動構成要素について学び、各動作における障害や評価方法、アプローチ方法を学ぶ ・テキスト、配布資料を使用して講義を行う		
授業計画	第1回	日常生活活動および手段的日常生活活動について 日常生活活動および手段的日常生活活動について、概念・範囲・分類を学ぶ	
	第2回	事前学習（30分）：テキストP2～28を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 日常生活活動評価について 日常生活活動の評価について、その目的、種類を学ぶ	
	第3回	事前学習（30分）：テキストP29～47を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 脳血管障害患者の日常生活活動評価・治療について① 脳血管障害患者の日常生活活動について、起居動作・移動動作・食事動作の評価方法・治療方法を学ぶ	
	第4回	事前学習（30分）：テキストP62～103を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 脳血管障害患者の日常生活活動評価・治療について② 脳血管障害患者の日常生活活動について、整容動作・更衣動作の評価方法・治療方法を学ぶ	
	第5回	事前学習（30分）：テキストP104～138を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 脳血管障害患者の日常生活活動評価・治療について③ 脳血管障害患者の日常生活活動について、排泄動作・入浴動作の評価方法・治療方法を学ぶ	
	第6回	事前学習（30分）：テキストP139～170を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 脳血管障害患者の日常生活活動評価・治療について④ 脳血管障害患者の手段的日常生活活動の評価方法・治療方法を学ぶ	
	第7回	事前学習（30分）：テキストP171～227を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 運動障害・整形外科疾患患者の日常生活活動評価・治療について 運動障害・整形外科疾患患者の日常生活活動評価・治療について学ぶ	
	第8回	事前学習（30分）：テキストP228～258を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 精神障害患者の日常生活活動評価・治療について 精神障害患者の日常生活活動評価・治療について学ぶ	
	第9回	事前学習（30分）：テキストP592～268を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 発達障害者の日常生活活動評価・治療について 発達障害者の日常生活活動評価・治療について学ぶ	
	第10回	事前学習（30分）：テキストP269～277を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 装具・補装具について 装具・補装具の種類、名称、適応疾患について学ぶ	
	第11回	事前学習（30分）：テキストP284～291を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 福祉用具、車椅子について 福祉用具の種類や適応疾患について学ぶ、車椅子の構造名称や扱い方について学ぶ	
		事前学習（30分）：テキストP292～306を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する、車椅子の操作・介助方法を身につける	

	第12回 社会生活行為について 社会生活行為の支援方法について学ぶ 事前学習（30分）：テキストP307～352を読む 事後学習（30分）：配布資料・テキストで内容を理解する 第13回 FIMについて① 日常生活活動の評価である、FIM（運動項目）の評価方法を学ぶ 事前学習（30分）：配布資料を見る 事後学習（30分）：配布資料で内容を理解する、国家試験問題の解答・解説を作成する 第14回 FIMについて② 日常生活活動の評価である、FIM（運動項目）の評価方法を学ぶ 事前学習（30分）：配布資料を見る 事後学習（30分）：配布資料で内容を理解する、国家試験問題の解答・解説を作成する 第15回 FIMについて③、国家試験問題の解答・解説 日常生活活動の評価である、FIM（認知項目）の評価方法を学ぶ 事前学習（30分）：配布資料を見る 事後学習（30分）：配布資料で内容を理解する、国家試験問題の解答・解説を作成する 定期試験
テキスト	・濱口豊太：標準作業療法学 専門分野 日常生活活動・社会生活行為学 第2版. 医学書院, 2022年出版
参考書・参考資料等	・能登真一 他：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版. 医学書院, 2022年出版 ・千野直一 他：脳卒中患者の機能評価SIASとFIM. シュプリンガー・ジャパン株式会社, 2009年出版 ・芝 喜崇 他：PT・OTビジュアルテキスト ADL 第2版. 羊土社, 2021.
学生に対する評価	筆記試験 100%
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 8:30～17:00 研究室在室時に随時対応する
備考	総合病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する

講義科目名称： 日常生活活動学演習

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
蓑輪 千帆			
演習		042315S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	日常生活活動および手段的日常生活活動について必要な技能を習得し理解することを目的とする。
授業の概要	各領域におけるADL・IADL障害の特性について学び、臨床の実際場面を想定し必要な技能について学ぶ。 具体的には、生活関連機器として自助具を取り上げ、生活障害を想定し自助具製作計画を立て製作を行う。 また、生活関連動作として調理動作に着目し、生活障害を想定した上で調理実習を行う。
授業計画	第1回 自助具製作の計画① 事前学習：自助具適応となる疾患の基礎知識を復習する(0.5時間) 事後学習：自助具作成に必要な材料、道具を揃える(0.5時間) 第2回 自助具製作の計画② 事前学習：自助具適応となる疾患の基礎知識を復習する(0.5時間) 事後学習：自助具作成に必要な材料、道具を揃える(0.5時間) 第3回 調理実習の計画① 事前学習：テキスト「I・ADL第3版」第4章13に目を通す(0.5時間) 事後学習：調理に必要な材料、道具を揃える(0.5時間) 第4回 調理実習の計画② 事前学習：テキスト「I・ADL第3版」第4章13に目を通す(0.5時間) 事後学習：調理に必要な材料、道具を揃える(0.5時間) 第5回 調理実習実施(2グループ)、FIM評価演習(2グループ) 事前学習：作成した調理実習計画書に目を通す(調理実習 0.5時間) FIMの採点基準について確認する(評価演習 0.5時間) 事後学習：実施した調理活動をもとに評価表を作成する(調理実習 0.5時間) 症例の情報をもとに評価表を作成する(評価演習 0.5時間) 第6回 調理実習実施(2グループ)、FIM評価演習(2グループ) 事前学習：作成した調理実習計画書に目を通す(調理実習 0.5時間) FIMの採点基準について確認する(評価演習 0.5時間) 事後学習：実施した調理活動をもとに評価表を作成する(調理実習 0.5時間) 症例の情報をもとに評価表を作成する(評価演習 0.5時間) 第7回 調理実習実施(2グループ)、FIM評価演習(2グループ) 事前学習：作成した調理実習計画書に目を通す(調理実習 0.5時間) FIMの採点基準について確認する(評価演習 0.5時間) 事後学習：実施した調理活動をもとに評価表を作成する(調理実習 0.5時間) 症例の情報をもとに評価表を作成する(評価演習 0.5時間) 第8回 調理実習実施(2グループ)、FIM評価演習(2グループ) 事前学習：作成した調理実習計画書に目を通す(調理実習 0.5時間) FIMの採点基準について確認する(評価演習 0.5時間) 事後学習：実施した調理活動をもとに評価表を作成する(調理実習 0.5時間) 症例の情報をもとに評価表を作成する(評価演習 0.5時間) 第9回 基本動作の介助方法(寝返り・起き上がり・立ち上がり) 事前学習：テキスト「I・ADL第3版」第4章5-7に目を通す(0.5時間) 事後学習：実施した介助方法について実技練習を行う(0.5時間) 第10回 日常生活動作の介助方法(移乗動作・更衣動作) 事前学習：テキスト「I・ADL第3版」第4章4, 9に目を通す(0.5時間) 事後学習：実施した介助方法について実技練習を行う(0.5時間) 第11回 自助具の作製 事前学習：作成した自助具作成計画に目を通す(0.5時間) 事後学習：作成している自助具のテスト、修正を行う(0.5時間) 第12回 自助具の作製 事前学習：作成した自助具作成計画に目を通す(0.5時間) 事後学習：作成している自助具のテスト、修正を行う(0.5時間) 第13回 自助具の作製 事前学習：作成した自助具作成計画に目を通す(0.5時間) 事後学習：自助具発表の資料を作成する(0.5時間) 第14回 作製した自助具の発表 事前学習：自助具発表の資料を作成する(0.5時間) 事後学習：発表時の意見や指導をもとに、自助具を完成させる(0.5時間) 第15回 まとめ 事前学習：授業資料、作成した課題に目を通す(0.5時間) 事後学習：日常生活活動を支援するために必要な知識を整理する(0.5時間) 定期試験

テキスト	生田宗博著：I・ADL第3版―作業療法の戦略・戦術・技術、三輪書店、2012年出版
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	定期試験80%、課題および活動状況20% 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 研究室在室時随時対応します。
備考	病院の作業療法室で勤務した経験を基に、当講義を進める。

講義科目名称： 作業療法学演習

授業コード：

英文科目名称： Occupational Therapy: Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4年	1	【必修】作業
担当教員			
石田 圭二・堀 敦志・川端 香・下川 幸蔵・蓑輪 千帆・熊谷 のぞみ・佐々木 孝次・酒井 涼・中島 裕也			
演習		042316S40	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	授業の到達目標及びテーマ 4年間の授業および臨床実習で学んだ作業療法士として必要な基礎的知識・および技術の整理と統合を図る。		
授業の概要	授業の概要 4年間の授業および臨床実習で学んだ作業療法士として必要な基礎的知識・および技術の整理と統合を図る。解剖学や生理学をはじめとする基礎医学、整形外科や精神医学をはじめとする臨床医学について復習し、知識を整理する。さらに、作業療法が対象とする各疾患の評価・治療、職業関連活動、作業療法に関する法令、作業療法を行う上で必要な管理・運営について復習し、それぞれの知識および技術を統合し、作業療法における問題解決につなげる。		
授業計画	第1回	運動学 (熊谷のぞみ) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第2回	解剖学 (酒井涼) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第3回	生理学 (堀敦志) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第4回	臨床心理学・精神医学 (下川幸蔵) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第5回	人間発達学・病理学 (蓑輪千帆) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第6回	整形外科 (佐々木孝次) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第7回	臨床神経学・一般臨床医学 (川端香) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第8回	OT概論・作業学 (石田圭二) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第9~10回	身体障害の作業療法 (佐々木孝次・酒井涼) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第11~12回	精神障害の作業療法 (中島裕也) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第13回	発達障害の作業療法 (蓑輪千帆) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第14回	老年期障害の作業療法 (堀敦志) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ	
	第15回	日常生活活動	

	(熊谷のぞみ) 事前学習 (30分) : 関連した国家試験問題を解くこと 事後学習 (30分) : 授業後の知識のまとめ 定期試験
テキスト	なし
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	筆記試験100%
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	在室時随時質問を受け付けます。
備考	病院での臨床経験をもとに当講義を進める。

講義科目名称： 作業療法評価実習

授業コード： 307000A

英文科目名称： Seminar in Occupational Therapy Evaluation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2	【必修】作業
担当教員			
石田圭二・堀 敦志・川端 香・蓑輪 千帆・熊谷 のぞみ・下川幸蔵・佐々木孝次・酒井涼・中島 裕也			
実習		042317P20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	専門基礎科目、作業療法評価学などの授業を基に身体障害・精神障害・老年期障害の分野において実習を行い、学んだ知識や経験を整理することを目的とする。		
授業の概要	実際の対象者に小グループにて評価を適切に実施する。評価結果および情報を統合し、対象者の抱える問題の構造を明らかにする流れを学習する。		
授業計画	第1回	オリエンテーション、個人情報の取り扱い、守秘義務、リスク管理 (石田圭二)	
	第2回	身体障害領域①：症例治療見学、評価計画 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第3回	身体障害領域②：症例治療見学、評価計画 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第4回	身体障害領域③：情報収集、評価練習 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第5回	身体障害領域④：情報収集、評価練習 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第6回	身体障害領域⑤：症例評価①、結果分析、評価計画修正 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第7回	身体障害領域⑥：症例評価①、結果分析、評価計画修正 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第8回	身体障害領域⑦：症例評価②、結果分析、評価計画修正 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第9回	身体障害領域⑧：症例評価②、結果分析、評価計画修正 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第10回	身体障害領域⑨：症例評価③、結果分析、評価計画修正 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第11回	身体障害領域⑩：症例評価③、結果分析、評価計画修正 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第12回	身体障害領域⑪：症例評価④、結果分析、評価計画修正 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第13回	身体障害領域⑫：症例評価④、結果分析、評価計画修正 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第14回	身体障害領域⑬：ICF分類 (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第15回	身体障害領域⑭：レジュメ作成、まとめ (川端香・熊谷のぞみ・酒井涼・佐々木孝次)	
	第16回	精神障害領域①：非関与観察・情報収集 (下川幸蔵)	
	第17回	精神障害領域②：非関与観察・情報収集 (下川幸蔵)	
	第18回	精神障害領域③：評価計画立案・情報収集 (下川幸蔵)	
	第19回	精神障害領域④：評価計画立案・情報収集 (下川幸蔵)	
	第20回	精神障害領域⑤：症例評価①、結果分析、評価計画修正 (下川幸蔵)	
	第21回	精神障害領域⑥：症例評価①、結果分析、評価計画修正 (下川幸蔵)	
	第22回	精神障害領域⑦：症例評価②、結果分析、評価計画修正 (下川幸蔵)	
	第23回	精神障害領域⑧：症例評価②、結果分析、評価計画修正	

	(下川幸蔵) 第24回 精神障害領域⑨：症例評価③、結果分析、評価計画修正 (下川幸蔵) 第25回 精神障害領域⑩：症例評価③、結果分析、評価計画修正 (下川幸蔵) 第26回 精神障害領域⑪：症例評価④、結果分析、評価計画修正 (下川幸蔵) 第27回 精神障害領域⑫：症例評価④、結果分析、評価計画修正 (下川幸蔵) 第28回 精神障害領域⑬：ICFを利用した全体像のまとめ (下川幸蔵) 第29回 精神障害領域⑭：ICFを利用した全体像のまとめ (下川幸蔵) 第30回 発達障害領域①：正常発達のまとめ (荻輪千帆) 第31回 発達障害領域②：疾患理解、評価計画立案 (荻輪千帆) 第32回 発達障害領域③：児の発達評価（運動、社会性、遊び） (荻輪千帆) 第33回 発達障害領域④：評価結果のまとめ (荻輪千帆) 第34回 老年期障害領域①：集団の場とは (堀敦志) 第35回 老年期障害領域②：集団の場とは（認知症） (堀敦志) 第36回 老年期障害領域③：集団評価、集団内個人評価 (堀敦志) 第37回 老年期障害領域④：集団評価、集団内個人評価 (堀敦志) 第38回 老年期障害領域⑤：集団評価、集団内個人評価（認知症） (堀敦志) 第39回 老年期障害領域⑥：集団評価、集団内個人評価（認知症） (堀敦志) 第40回 地域領域①：地域作業療法・MTDLPについて、情報収集 (中島裕也) 第41回 地域領域②：MTDLPを用いた評価計画の立案 (中島裕也) 第42回 地域領域③：MTDLPを用いた評価実施 (中島裕也) 第43回 地域領域④：MTDLPを用いた評価実施 (中島裕也) 第44回 地域領域⑤：評価結果のまとめ (中島裕也) 第45回 地域領域⑥：評価結果のまとめ (中島裕也)
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	実習評価表で評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	病院での臨床経験を有した教員による学外実習や症例報告会での指導、評価を行う。

講義科目名称： 作業療法治療実習

授業コード：

英文科目名称： Occupational Therapy Treatment: Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【必修】作業
担当教員			
石田 圭二・堀 敦志・川端 香・下川 幸蔵・蓑輪 千帆・熊谷 のぞみ・佐々木 孝次・酒井 涼・中島 裕也			
実習		042318P30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	実施した治療に関して、治療的根拠や、対象者のナラティブにそって効果について検討を加え、実習で学んだ知識や経験を整理することを目的とする。
授業の概要	身体障害・精神障害・老年期障害の各分野において実習を行う。評価結果および情報を元に、対象者の抱える問題の構造を明らかにする。それらの問題を解決するための作業療法治療計画を立案し実施する。対象者の状況に応じて、実施内容の修正、追加を行い、実施内容の適否を判断する。
授業計画	第1回 オリエンテーション、実習予定、実習内容、実習の進め方等の説明 (石田圭二) 第2回 身体障害領域①：症例治療見学、治療計画 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第3回 身体障害領域②：症例治療見学、治療計画 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第4回 身体障害領域③：情報収集、治療練習 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第5回 身体障害領域④：情報収集、治療練習 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第6回 身体障害領域⑤：治療実施①、結果分析、治療計画修正、治療練習 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第7回 身体障害領域⑥：治療実施①、結果分析、治療計画修正、治療練習 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第8回 身体障害領域⑦：治療実施②、結果分析、治療計画修正、治療練習 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第9回 身体障害領域⑧：治療実施②、結果分析、治療計画修正、治療練習 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第10回 身体障害領域⑨：治療実施③、結果分析、治療計画修正 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第11回 身体障害領域⑩：治療実施③、結果分析、治療計画修正 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第12回 身体障害領域⑪：再評価実施、結果分析、ICF分類 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第13回 身体障害領域⑫：再評価実施、結果分析、ICF分類 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第14回 身体障害領域⑬：レジュメ作成 (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第15回 身体障害領域⑭：まとめ (川端香、熊谷のぞみ、酒井涼、佐々木孝次) 第16回 精神障害領域①：評価計画立案・情報収集（非関与観察含む） (下川幸蔵) 第17回 精神障害領域②：評価計画立案・情報収集（非関与観察含む） (下川幸蔵) 第18回 精神障害領域③：症例評価 (下川幸蔵) 第19回 精神障害領域④：症例評価 (下川幸蔵) 第20回 精神障害領域⑤：治療計画立案、情報収集 (下川幸蔵) 第21回 精神障害領域⑥：治療計画立案、情報収集 (下川幸蔵)

	第22回	精神障害領域⑦：治療実施①、結果分析、治療計画修正、治療練習 (下川幸蔵)
	第23回	精神障害領域⑧：治療実施①、結果分析、治療計画修正、治療練習 (下川幸蔵)
	第24回	精神障害領域⑨：治療実施②、結果分析、治療計画修正、治療練習 (下川幸蔵)
	第25回	精神障害領域⑩：治療実施②、結果分析、治療計画修正、治療練習 (下川幸蔵)
	第26回	精神障害領域⑪：治療実施③、結果分析、治療計画修正 (下川幸蔵)
	第27回	精神障害領域⑫：治療実施③、結果分析、治療計画修正 (下川幸蔵)
	第28回	精神障害領域⑬：経過をふまえてICFを利用した全体像のまとめ (下川幸蔵)
	第29回	精神障害領域⑭：経過をふまえてICFを利用した全体像のまとめ (下川幸蔵)
	第30回	発達障害領域①：全体像把握 (蓑輪千帆)
	第31回	発達障害領域②：目標設定、治療計画立案 (蓑輪千帆)
	第32回	発達障害領域③：治療実施 (蓑輪千帆)
	第33回	発達障害領域④：まとめ (蓑輪千帆)
	第34回	老年期障害領域①：治療計画 (堀敦志)
	第35回	老年期障害領域②：治療計画 (堀敦志)
	第36回	老年期障害領域③：レク参加・運営を通じた治療介入 (堀敦志)
	第37回	老年期障害領域④：レク参加・運営を通じた治療介入 (堀敦志)
	第38回	老年期障害領域⑤：レク参加・運営を通じた治療介入（認知症） (堀敦志)
	第39回	老年期障害領域⑥：レク参加・運営を通じた治療介入（認知症） (堀敦志)
	第40回	地域領域①：MTDLPを用いた評価実施 (中島裕也)
	第41回	地域領域②：MTDLPを用いた評価実施 (中島裕也)
	第42回	地域領域③：MTDLPを用いた治療計画立案 (中島裕也)
	第43回	地域領域④：MTDLPを用いた治療計画立案 (中島裕也)
	第44回	地域領域⑤：治療計画発表 (中島裕也)
	第45回	地域領域⑥：治療計画発表、まとめ (中島裕也)
テキスト	特になし	
参考書・参考資料等		
学生に対する評価	実習評価表で評価する。	
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。	
備考	病院での臨床経験を有した教員による学外実習や症例報告会での指導、評価を行う。	

講義科目名称： 作業療法特論(基礎)

授業コード： 307300A

英文科目名称： Occupational Therapy: Special Lecture (Basics)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【選択】作業
担当教員			
石田 圭二			
講義		042319L40	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	NBMに基づく作業療法実践について理解する。 ロボットセラピーの開発実践を通してEBMについて理解する。		
授業の概要	作業療法の臨床は日々発展している。また、社会的な動向も流動的で変化し続け、作業療法もこのような中、それに対応した変化を求められている。講義では作業療法における科学的根拠に基づく医療（EBM）および物語に基づく医療（NBM）の考え方や近年の実践を理解する。EBMの実践としてはエビデンスが実証され始めているロボット訓練を例に挙げ概説する。またNBMについては近年実践を提唱されている生活行為マネジメントと、それにつながったネラティブセラピー、作業科学、カナダ作業遂行モデルについて概説する。		
授業計画	第1回 EBMとNBM 事前学習（30分）：授業資料をあらかじめ読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成 第2回 カナダ作業遂行モデル 事前学習（30分）：授業資料をあらかじめ読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成 第3回 作業科学 事前学習（30分）：授業資料をあらかじめ読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成 第4回 生活向上マネジメント 事前学習（30分）：授業資料をあらかじめ読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成 第5回 ロボットセラピー① 事前学習（30分）：授業資料をあらかじめ読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成 第6回 ロボットセラピー② 事前学習（30分）：授業資料をあらかじめ読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成 第7回 ロボットセラピー③ 事前学習（30分）：授業資料をあらかじめ読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成 第8回 まとめ 事前学習（30分）：授業資料をあらかじめ読んでおくこと 事後学習（30分）：授業内容のまとめ作成		
テキスト	配布資料		
参考書・参考資料等			
学生に対する評価	レポート100% （レポート課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する）		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00		
備考	病院での臨床経験をもとに当講義を進める		

講義科目名称： 作業療法特論(身体障害)

授業コード： 307400A

英文科目名称： Occupational Therapy: Special Lecture (Physical Disability)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【選択】作業
担当教員			
酒井 涼			
講義		042320L40	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	脳の機能を可視化できる脳イメージングを用いた研究を経験する。将来身体障害分野を志向する学生が能動的に学習する機会を与えることを目的とする。		
授業の概要	1. 脳機能について、基礎的な知識を深めると共に、脳科学について学ぶ機会を与える。 2. 学生各々が興味ある分野について、英文抄読を行い、知識を深める。 3. 受動的な講義形式ではなく、学生主体の講義・演習を展開し、ディスカッション・実技を通して知識・技術を与える。		
授業計画	第1回	頭部画像解剖 概要 事前学習：脳の解剖と機能局在について調べる（2時間） 事後学習：画像所見の見方を再確認する（2時間）	
	第2回	頭部画像解剖 事例 事前学習：病巣と出現する症状について調べる（2時間） 事後学習：画像所見から病態を解釈する（2時間）	
	第3回	脳卒中上肢麻痺 事前学習：脳卒中上肢麻痺について調べる（2時間） 事後学習：脳卒中上肢麻痺について理解したことをまとめる（2時間）	
	第4回	リハビリテーションと脳科学 事前学習：リハビリテーションと脳科学に関連する先行研究について調べる（2時間） 事後学習：リハビリテーションと脳科学に関連する先行研究をまとめる（2時間）	
	第5回	英文文献を検索する 事前学習：興味ある分野の和文献を検索する（2時間） 事後学習：和文献の抄読し、関連する英文文献をいくつか検索する（2時間）	
	第6回	英文文献を翻訳する 事前学習：抄読する英文文献を決定する（2時間） 事後学習：英文文献を翻訳する（2時間）	
	第7回	英文文献を要約する 事前学習：英文文献を翻訳する（2時間） 事後学習：要点をまとめる（2時間）	
	第8回	文献抄読発表 事前学習：発表内容を確認し、発表の練習をする（2時間） 事後学習：要点をまとめる（2時間） 定期試験	
テキスト	特になし		
参考書・参考資料等	配布資料		
学生に対する評価	レポート試験のみ100% (英文抄読) 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00 研究室在室時、適宜対応します。		
備考	病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、講義で教授する。		

講義科目名称： 作業療法特論(精神障害)

授業コード： 307500A

英文科目名称： Occupational Therapy: Special Lecture (Mental Health)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【選択】作業
担当教員			
下川 幸藏			
講義		042321L40	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	精神科医療および精神科作業療法の現状やトピックスを理解し、精神障害分野を志向する学生が能動的に学習する機会を与えることを目的とする。		
授業の概要	精神科医療および精神科作業療法の現状やトピックスについて、理解を深め学ぶ機会とする。受動的な講義形式ではなく、学生主体の講義・演習を展開し、文献抄読やフィールドワーク、ディスカッションを通して、知識や技術を向上させる機会とする。		
授業計画	第1回 精神科医療と精神科作業療法のトピックス 概要 事前学習（2時間）：精神科医療と精神科作業療法の現状について現状調査をする 事後学習（2時間）：日本における精神科医療と精神科作業療法の現状について考察する 第2回 精神科医療と精神科作業療法のトピックス 文献（英文含む）検索 事前学習（2時間）：精神科医療と精神科作業療法について、学生の関心のあるトピックスを見出す 事後学習（2時間）：関心のあるトピックスについて文献検索を綿密に実施する 第3回 精神科医療と精神科作業療法のトピックス 文献（英文含む）抄読 事前学習（2時間）：検索した文献から自身のテーマに沿った文献を選出する 事後学習（2時間）：文献抄読した内容を、受講者にわかりやすく表現しレジュメをまとめる 第4回 精神科医療と精神科作業療法のトピックス 文献（英文含む）抄読発表 事前学習（2時間）：自身がまとめたレジュメを読み返し発表の準備をする 事後学習（2時間）：他の受講者の発表を聞き、自身の学びを深める 第5回 フィールドワーク 1 事前学習（2時間）：フィールドワークで学習すべき視点を列挙する 事後学習（2時間）：フィールドワークから得た知見を整理する 第6回 フィールドワーク 2 事前学習（2時間）：フィールドワークで学習すべき視点を列挙する 事後学習（2時間）：フィールドワークから得た知見を整理する 第7回 フィールドワーク 3 事前学習（2時間）：フィールドワークで学習すべき視点を列挙する 事後学習（2時間）：フィールドワークから得た知見を整理する 第8回 精神科医療と精神科作業療法の再考 事前学習（2時間）：これまで学習した内容を復習する 事後学習（2時間）：本講義を通して得た精神科医療と精神科作業療法に関する知見を整理する		
テキスト	配布資料		
参考書・参考資料等	配布資料		
学生に対する評価	レポート試験 100%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。 質問やフィードバックに関しては、在室時適宜対応する。		
備考	精神科作業療法での実務経験を有しており、その経験を踏まえ教授する。		

講義科目名称： 作業療法特論(発達障害)

授業コード： 307600A

英文科目名称： Occupational Therapy: Special Lecture
(Developmental Disorder)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【選択】作業
担当教員			
荻輪 千帆			
講義		042322L40	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	地域での発達障害への作業療法の実践について学ぶ。		
授業の概要	作業療法の臨床は日々発展している。また、社会的な動向も流動的で変化し続け、作業療法もそれに対応した変化を求められている。発達障害で課題となっている自閉症スペクトラムや注意欠如/多動性障害、学習障害などの子どもたちへの地域での支援や、特別支援教育の基礎を学ぶとともに、教育分野における作業療法士の役割についても学びを深める。		
授業計画	第1回 発達過程作業療法の地域支援について1 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第3章ⅠⅡに目を通す(2時間) 事後学習：地域支援のシステムについて整理する(2時間) 第2回 発達過程作業療法の地域支援について2 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第3章Ⅲに目を通す(2時間) 事後学習：支援場所の違いによる作業療法士の関わりについて整理する(2時間) 第3回 特別支援教育について 事前学習：テキスト「作業治療学3発達障害」第6章に目を通す(2時間) 事後学習：特別支援教育の制度について整理する(2時間) 第4回 幼児期の特別支援教育 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第2章に目を通す(2時間) 事後学習：幼児期の特別支援教育の特徴について整理する(2時間) 第5回 学童期の特別支援教育 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第2章に目を通す(2時間) 事後学習：学童期の特別支援教育の特徴について整理する(2時間) 第6回 特別支援教育と作業療法士の役割1 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第3章Ⅲに目を通す(2時間) 事後学習：特別支援教育における作業療法士の役割について整理する(2時間) 第7回 特別支援教育と作業療法士の役割2 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第3章Ⅲに目を通す(2時間) 事後学習：特別支援教育における作業療法士の役割について整理する(2時間) 第8回 発達障害領域の作業療法の課題 事前学習：テキスト「発達過程作業療法学」第1章Ⅵに目を通す(2時間) 事後学習：発達過程の子どもたちを支援する作業療法士としての、今後の課題について整理する(2時間)		
テキスト	加藤寿宏編：標準作業療法学 発達過程作業療法学 第3版、医学書院、2020年出版		
参考書・参考資料等			
学生に対する評価	レポート課題100%		
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 研究室在室時、随時受け付けます。		
備考	病院で発達障害児への作業療法を実施した経験を基に、当講義を進める。		

講義科目名称： 作業療法特論(老年期障害)

授業コード： 307700A

英文科目名称： Occupational Therapy: Special Lecture (Senile Disorders)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1	【選択】作業
担当教員			
堀 敦志			
講義		042323L40	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	老年期における作業療法の最新トピックスについて理解する。		
授業の概要	我が国は2025年には超高齢社会を迎えることが予測されており、それに伴い、認知症高齢者数も増加することが予測されている。そこで認知症医療に関する最新知識を学習することで、今後必要とされる認知症の予防法について検討する。また同時に地域で生活をしていく上で、認知症高齢者の生活環境面から権利擁護という観点についても学習する。		
授業計画	第1回 老年期作業療法の最新のトピックス 最新の作業療法の動向について理解できる 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第2回 認知症に対する最新のトピックス① （認知症の定義） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第3回 認知症に対する最新のトピックス② （MCIについて） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第4回 認知症に対する最新のトピックス③ （各種検査） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第5回 認知症予防プログラム① （治療的プログラムについて） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第6回 認知症予防プログラム② （予防的プログラムについて） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第7回 認知症の方に対する支援 （生活行為向上マネジメントを用いて） 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第8回 まとめ まとめ 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）		
テキスト	配布資料		
参考書・参考資料等	小川敬之、竹田徳則 編：認知症の作業療法 ソーシャルインクルージョンをめざして 第2版、医歯薬出版株式会社、2016. 鈴木隆雄 監修：基礎からわかる軽度認知障害（MCI）－効果的な認知症予防を目指して、医学書院、2015.		
学生に対する評価	レポート試験 100%		
課題（試験やレポート）	月曜日～金曜日 9：00～17:15		

等) に対応するフィードバックの方法	
備考	介護老人保健施設や訪問リハビリテーションおよび精神科デイケアでの実務経験を有しており、その経験を踏まえ、最新トピックスについて、講義で教授する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2	【必修】作業
担当教員			
堀 敦志、中島 裕也			
講義		042401L30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	地域における作業療法の実践について理解する。		
授業の概要	地域における作業療法の役割について学習し、地域リハビリテーションの種別、内容と特徴、各種専門職やその他の職員との役割分担などについて学習する。また、身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害などの領域に限らず、健康増進や介護予防の観点からも学習する。同時に生活行為向上マネジメントについて、演習を通して学習する。		
授業計画	第1回	地域リハビリテーションとは 地域リハビリテーション活動について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第2回	地域作業療法とは 地域包括ケアシステム、地域支援事業、地域における作業療法活動、多職種連携について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第3回	医学モデル・生活(社会)モデルとは 医療モデルと生活(社会)モデルの違いについて説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第4回	地域作業療法に関連する法律・制度 地域作業療法を实践する上で根拠となる法律や制度について理解する。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第5回	地域作業療法の実践① 介護保険制度下におけるサービス（通所介護施設、通所リハビリテーション、訪問作業療法、介護予防事業など）について理解する。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第6回	地域作業療法の実践② 社会資源について理解できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第7回	地域作業療法の実践③ 福祉用具機器、日用生活用具、車椅子、歩行補助具などを理解し、選定方法を説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第8回	地域作業療法の実践④ 精神障害者の地域支援（高次脳機能障害、発達障害、知的障害などを含む）について理解する。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第9回	生活行為向上マネジメントとは 生活行為向上マネジメント（Management Tool for Daily Life Performance:MTDLP）について説明できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第10回	事例検討① 生活行為向上マネジメント（MTDLP）の手法を用いて症例検討できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）	
	第11回	事例検討② 生活行為向上マネジメント（MTDLP）の手法を用いて症例検討できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間）	

	事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第12回 事例検討③ 生活行為向上マネジメント（MTDLP）の手法を用いて症例検討できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第13回 事例検討④ 生活行為向上マネジメント（MTDLP）の手法を用いて症例検討できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第14回 事例発表 生活行為向上マネジメント（MTDLP）の手法を用いて、アセスメント結果を踏まえた目標を設定し、プログラムを発表できる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間） 第15回 まとめ 地域作業療法の必要性・重要性について説明することができる。 事前学習：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく（2時間） 事後学習：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う（2時間）
テキスト	大熊明・根本悟子編集：標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学 第4版，医学書院，2023. 一般社団法人日本作業療法士協会：事例で学ぶ 生活行為向上マネジメント 第2版，医歯薬出版株式会社，2021. 配布資料
参考書・参考資料等	一般社団法人日本作業療法士協会編集：作業療法マニュアル66生活行為向上マネジメント第3版，一般社団法人日本作業療法士協会，2018.
学生に対する評価	定期試験（筆記試験80%）、課題（レポート20%） 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	講義中および終了時に適宜に返答する。
備考	高次脳機能障害支援普及事業（高次脳機能障害支援センター）、回復期・外来リハビリテーション、介護予防事業（福井大学共同研究）、地域支援事業、介護保険事業分野を通して、障害福祉・介護保険領域といった地域作業療法における実務経験を有している。その経験を踏まえ、講義形式で教授する。

講義科目名称： 地域作業療法学演習

授業コード： 307900A

英文科目名称： Community based Occupational Therapy: Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	【必修】作業
担当教員			
中島 裕也			
演習		042402S20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	地域における作業療法の手段について理解する。		
授業の概要	地域作業療法を実施する上で必要な作業活動やレクリエーションなどの治療手技などについて演習を行いながら学習する。前半では地域（在宅、施設）において、特に重要だと考えられる作業活動やレクリエーションなどの治療手技について、その概要を説明しながら演習を行う。後半では、地域作業療法関連施設において、実際の対象者や施設概要の把握、治療計画、治療実施を行う中で地域作業療法の役割や実践について学習していく。		
授業計画	第1回	地域作業療法の理念と役割 地域作業療法について理解できる 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第2回	貼り絵分析 地域での作業活動のひとつである貼り絵作業の効果について理解できる（作業分析の視点、治療的応用） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第3回	貼り絵実践 対象者に合った作業を選定することが出来る、集団での作業の効果について理解できる、集団と個人の作業の違いを理解できる（カレンダー） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第4回	貼り絵実践 段階付けについて説明できる活動分析表を用い分析できる、材料の性質について分析できる（材料分析） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第5回	塗り絵分析 準備の重要性について理解できる（活動分析） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第6回	塗り絵実践 左右差について理解できる、各々の分析表を用い、まとめることが出来る 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第7回	車椅子買物計画 実際の路面や状況を判断し、車椅子など様々な課題を有す対象者の設定を考慮したうえで買物をする計画を立案することができる（実践計画書作成） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第8回	車椅子買物実践 実際の路面や状況を確認しながら実践を行うことで、計画書との相違点を理解することができる 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第9回	車椅子買物実践 実践しての苦労や感想を共有することができる、計画との相違点を理解し、その対策を考えることができる（改善提案書作成） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第10回	ゲームとは 地域における活動について理解できる（定義、ルールなど） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第11回	ゲーム実践 ルールによる違いを理解できる（教授方法、環境設定） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第12回	レクリエーション分析 OTが実施するレクについて理解できる、レクの目的について説明できる（動作分析） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること	
	第13回	レクリエーション計画	

	OTが実施するレクについて、レクの目的を明確にした上で計画を立案することができる（実施計画書作成） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること レクリエーション実践 OTが実施するレクについて理解できる、レクの目的について説明できる（集団評価） 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること まとめ 活動の分析を実施でき、地域における活動を理解できる 事前学習（0.5時間）：授業範囲の配布資料を読み、授業に臨むこと 事後学習（0.5時間）：授業内容を教科書やノート、資料にまとめること
第14回	
第15回	
テキスト	配布資料
参考書・参考資料等	大熊明・根本悟子編集：標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学 第4版，医学書院，2023.
学生に対する評価	課題100%（レポート課題、作業分析課題など） 課題に関しては、授業時に示したルーブリックの評価基準を用いて評価する。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00
備考	高次脳機能障害支援普及事業（高次脳機能障害支援センター）、回復期・外来リハビリテーション、介護予防事業（福井大学共同研究）を通して、地域作業療法における実務経験を有しており、その経験を踏まえ、演習形式で教授する。

講義科目名称： 生活環境整備学演習

授業コード：

英文科目名称： Life Environment Design: Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1	【必修】作業
担当教員			
熊谷のぞみ・佐治 弘基			
演習		042403S30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	地域で生活する障害者や高齢者にとって望ましい福祉用具機器（テクノエイド）や居住空間のあり方（住環境整備）、義肢装具などの対象者を取り巻く物理的な環境について演習を中心に理解を深める。		
授業の概要	（オムニバス方式/全15回） （佐治 弘基/全7回） 1. 上肢の切断レベルと問題点を理解し、義手の適合と検査方法について学ぶ。 （熊谷 のぞみ/全8回） 2. テクノエイド、住宅改造については事例を通し理解を深めてゆく。また義肢装具・テクノエイド・住宅改造に関連した法規についても学ぶ。		
授業計画	第1回	切断者（前腕切断、上腕切断）の身体機能検査について （担当：佐治 弘基） 事前学習（30分）：テキストP6～P17、P70～P79に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく 事後学習（30分）：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う	
	第2回	前腕義手の構成と名称および機能について （担当：佐治 弘基） 事前学習（30分）：テキストP34～P55に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく 事後学習（30分）：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う	
	第3回	上腕義手、肩義手の構成と名称および機能について （担当：佐治 弘基） 事前学習（30分）：テキストP80～P103に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく 事後学習（30分）：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う	
	第4回	仮義肢の製作方法（実技を交えての指導） （担当：佐治 弘基） 事前学習（30分）：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく 事後学習（30分）：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う	
	第5回	義手（前腕義手、上腕義手）装着適合検査について 1（実技を交えての指導） （担当：佐治 弘基） 事前学習（30分）：テキストP56～P61、P104～P142に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく 事後学習（30分）：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う	
	第6回	義手（前腕義手、上腕義手）装着適合検査について 2（実技を交えての指導） （担当：佐治 弘基） 事前学習（30分）：テキストP62～P68、P131～P130に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく 事後学習（30分）：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う	
	第7回	切断および義手についてのまとめ （担当：佐治 弘基） 事前学習（30分）：配布資料に目を通し、学習テーマの概略をつかんでおく 事後学習（30分）：配布資料を通して授業内容を理解するとともに、授業中行った問題の復習を行う	
	第8回	生活環境とは 生活環境について理解することができる。（生活とは・環境とは、生活環境について） （担当：熊谷 のぞみ） 事前学習（30分）：テキスト「福祉用具の使い方・住環境整備」P1～12、153～155を読む 事後学習（30分）：テキスト・配布資料で講義内容を理解する	
	第9回	福祉用具とは 福祉用具機器について理解できる。 （担当：熊谷 のぞみ） 事前学習（30分）：テキスト「福祉用具の使い方・住環境整備」P12～32を読む	

	第10回 事後学習（30分）：テキスト・配布資料で講義内容を理解する 福祉用具適応チェックポイント 福祉用具機器の適応について説明できる。 （担当：熊谷 のぞみ） 第11回 事前学習（30分）：テキスト「福祉用具の使い方・住環境整備」P33～106を読む 事後学習（30分）：テキスト「福祉用具の使い方・住環境整備」P107～152を読む 住環境とは、住環境整備（家屋評価）とは 住環境の重要性について理解できる。住環境整備のポイントについて説明できる。 （担当：熊谷 のぞみ） 第12回 事前学習（30分）：テキスト「福祉用具の使い方・住環境整備」P156～160を読む 事後学習（30分）：テキスト・配布資料で講義内容を理解する 疾患別住環境整備グループワーク① 必要に応じて、生活をイメージしながら、家屋評価を実施できる （担当：熊谷 のぞみ） 第13回 事前学習（30分）：テキスト「福祉用具の使い方・住環境整備」P164～186を読む 事後学習（30分）：課題の続きを行う、必要な文献・資料を探す 疾患別住環境整備グループワーク② 疾患に応じた住環境整備案を検討できる。 （担当：熊谷 のぞみ） 第14回 事前学習（30分）：テキスト「福祉用具の使い方・住環境整備」P164～186を読む 事後学習（30分）：課題の続きを行う、必要な文献・資料を探す グループワーク発表 疾患に応じた住環境整備案を発表できる。 （担当：熊谷 のぞみ） 第15回 事前学習（30分）：プレゼンテーションの練習を行う 事後学習（30分）：必要な加筆・修正を行う まとめ 生活環境整備の重要性が理解でき、調整をすることができる。 （担当：熊谷 のぞみ） 定期試験 事前学習（30分）：今までの授業資料・テキストを見直し、理解を深める 不明点がある場合は列挙し、質問できるようにしておく 事後学習（30分）：国家試験問題の解答・解説を作成し、理解する
テキスト	・配布資料 ・日本義肢装具学会 監修：能動義手適合検査マニュアル 医歯薬出版株式会社2025 ・社団法人 日本作業療法士協会 監修：作業療法学全書 改訂第3版 第10巻 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備、協同医書出版社，2009.
参考書・参考資料等	・東京商工会議所編集：福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 改訂6版. 東京商工会議所, 2022. ・澤村 誠志：切断と義肢 第2版, 医歯薬出版株式会社, 2016. ・野村 歡：OT・PTのための住環境整備論 第3版. 三輪書店, 2021.
学生に対する評価	筆記試験：熊谷 のぞみ50%, 佐治 弘基50% （全ての教員の試験を受験した上で評価します）
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	月曜日～金曜日 9：00～17：00（熊谷） 講義中および終了時に適宜返答する（佐治）
備考	義肢装具士としての実務経験を有しており、その経験を踏まえ、演習形式で教授する。（佐治） 総合病院での実務経験を有しており、その経験を踏まえ、演習形式で教授する。（熊谷）

講義科目名称： 臨床見学実習 I

授業コード： 308010B

英文科目名称： Clinical Observation Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2	【必須】作業
担当教員			
石田 圭二・堀 敦志・川端 香・下川 幸蔵・蓑輪 千帆・熊谷 のぞみ・佐々木 孝次・酒井 涼・中島 裕也			
実習	初級障がい者スポーツ指導員対象科目(作業)	042501P10	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	作業療法士としての基本的な態度を身につけることと作業療法業務の流れを理解することを主な目的とする。
授業の概要	1年次のすべての授業終了後に臨床見学実習を行う。社会人としての適切な振る舞いは言うに及ばず、医療専門職である作業療法士としての基本的な態度を身につけることと作業療法業務の流れを理解することを主な目的とする。 具体的には臨床実習指導者(以下、臨床実習指導者)の指導のもと、作業療法が対象とする身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害分野での見学を行い、そこで行われている作業療法の目的、治療の実際、作業療法士の役割などを学習する。
授業計画	1 事前学習 1) オリエンテーション(臨床見学実習の目的、内容、課題、留意すべき点などについて理解する。) 2) 自己のコミュニケーション態度に関する学習 3) 客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination: OSCE) 2 学外実習 1) 作業療法業務の見学および一部実施 2) 実習記録(観察場面の記録およびデイリーノート) 3 事後学習(まとめ) 1) 実習報告会(レジュメ作成・報告) 2) 残された課題の整理 3) 客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination: OSCE)
テキスト	臨床実習要綱(配布資料)
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	各評価表等を用いて評価します。
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	病院での臨床経験を有した教員による学外実習や症例報告会での指導、評価を行う。

講義科目名称： 臨床見学実習Ⅱ

授業コード： 308010C

英文科目名称： Clinical Observation Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	1	【必須】作業
担当教員			
石田 圭二・堀 敦志・川端 香・下川 幸蔵・蓑輪 千帆・熊谷 のぞみ・佐々木 孝次・酒井 涼・中島 裕也			
実習		042502P30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する施設の概要とそこで行われている作業療法の目的、治療の実際、作業療法士の役割などを理解する。
授業の概要	3年次に臨床見学実習Ⅱを行う。学生は通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する施設で見学を行い、そこで行われている作業療法の目的、治療の実際、作業療法士の役割などを学習する。
授業計画	臨床実習要綱に従い実施する。 ・事前学習 ・臨床実習（1週間） ・まとめ
テキスト	臨床実習要綱（配布資料）
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	各評価表等を用いて評価します。
課題（試験やレポート等）に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	病院での臨床経験を有した教員による学外実習や症例報告会での指導、評価を行う。

講義科目名称： 臨床評価実習

授業コード： 308020A

英文科目名称： Clinical Evaluation Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	3	【必修】作業
担当教員			
石田 圭二・堀 敦志・川端 香・下川 幸蔵・蓑輪 千帆・熊谷 のぞみ・佐々木 孝次・酒井 涼・中島 裕也			
実習		042503P20	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	作業療法の検査を実施し、その統合と解釈を行う。その後問題点の抽出を学習する。
授業の概要	2年次後期に学内において作業療法評価実習終了後に臨床評価実習を行う。学内で学んだ基礎知識、技術および作業療法評価実習(学内実習)での経験をもとに、実習教育者の十分な指導・監督のもとに実習する。臨床実習施設において、学生は、作業療法評価の知識・技能だけでなく、全体像の把握までの一連の思考過程を学習する。
授業計画	実習計画 臨床実習要綱に従い実施する。 ・事前学習 ・臨床実習 (3週間) ・事後学習
テキスト	臨床実習要綱 (配布資料)
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	事前学習、学外実習、事後学習の結果を元に総合的に判断します。
課題 (試験やレポート等) に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	病院での臨床経験を有した教員による学外実習や症例報告会での指導、評価を行う。

講義科目名称： 臨床実習Ⅰ

授業コード： 308030A

英文科目名称： Clinical PracticeⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	8	【必修】作業
担当教員			
石田 圭二・堀 敦志・川端 香・下川 幸蔵・蓑輪 千帆・熊谷 のぞみ・佐々木 孝次・酒井 涼・中島 裕也			
実習		042504P30	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	評価過程(評価計画、評価実施、統合と解釈)に加え、目標設定、治療計画、治療実施を含む治療過程を学習する。
授業の概要	3年次に学内にて作業療法治療実習Ⅰ終了後に臨床実習Ⅰを行う。学生は臨床評価実習で獲得した評価過程(評価計画、評価実施)に加え、目標設定から治療実施に至る一連の臨床思考過程を学習する。
授業計画	実習計画 臨床実習要綱に従い実施する。 ・事前学習 ・臨床実習(8週間) ・事後学習
テキスト	臨床実習要綱(配布資料)
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	事前学習、学外実習、事後学習の結果を元に総合的に判断します。
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	病院での臨床経験を有した教員による学外実習や症例報告会での指導、評価を行う。

講義科目名称： 臨床実習Ⅱ

授業コード： 308040A

英文科目名称： Clinical Practice Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	8	【必修】作業
担当教員			
石田 圭二・堀 敦志・川端 香・下川 幸蔵・蓑輪 千帆・熊谷 のぞみ・佐々木 孝次・酒井 涼・中島 裕也			
実習		042505P40	
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	評価過程(評価計画、評価実施、統合と解釈)、治療過程(目標設定、治療計画、治療実施)に加え、再評価を行い治療の再検討や効果判定について学習する。
授業の概要	最終学年の4年次に総合的な臨床実習Ⅱを行う。学生は臨床実習Ⅰで獲得した評価過程(評価計画、評価実施、統合と解釈)、治療過程(目標設定、治療計画、治療実施)に加え、再評価を行い治療の再検討や効果判定に至る一連の臨床思考過程について学習する。
授業計画	実習計画 臨床実習要綱に従い実施する。 ・事前学習 ・臨床実習(8週間) ・事後学習
テキスト	臨床実習要綱(配布資料)
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	事前学習、学外実習、事後学習の結果を元に総合的に判断します。
課題(試験やレポート等)に対応するフィードバックの方法	研究室在室時は随時受け付けます。
備考	病院での臨床経験を有した教員による学外実習や症例報告会での指導、評価を行う。